子ども・子育て支援に関するアンケート調査

報　告　書

令和６年４月

岡山市

目次

Ⅰ　調査の概要 1
1　調査目的 1
2　調査方法 1
3　調査項目 1
4　回収結果 1
5　報告書の見方 1

Ⅱ　調査結果 2
1　属性 2
2　家族の状況 4
（1）主な養育者 4
（2）子どもをみてもらえる親族・知人の有無 5
3　保護者の就労状況 7
（1）母親の就労状況 7
（2）父親の就労状況 15
（3）共働きの状況 19
4　定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況 20
（1）定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況 20
（2）定期的な幼稚園・保育施設等の利用希望 28
5　地域の子育て支援事業の利用状況 31
（1）地域子育て支援センターの利用状況 31
（2）今後の地域子育て支援センターの利用希望 36
6　土日祝や長期休暇中の定期的な幼稚園・保育施設等の利用希望 38
（1）土日祝の土曜・休日や長期休暇中の定期的な幼稚園・保育施設等の利用希望 38
（2）長期休暇中の幼稚園・保育事業の利用希望 41
7　病気の際の対応 43
（1）病気等により幼稚園・保育施設等を利用できなかった経験 43
（2）病児・病後児保育施設の利用希望 45
8　不定期の保育事業 47
（1）不定期に利用している事業 47
（2）私用等の目的による事業の利用希望 50
9　放課後児童クラブ（就学前児童） 52
（1）子どもの世話をする人の有無 52
（2）放課後児童クラブの利用希望 53
（3）魅力を感じる児童クラブ 60
（4）放課後児童クラブを利用したくない理由 61
10　「こども誰でも通園制度（仮称）」について 62
（1）「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向 62

（2）「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したい理由 62
（3）「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したいと思わない理由 64
11　放課後児童クラブ（小学校児童） 65
（1）子どもの世話をする人の有無 65
（2）放課後児童クラブの利用状況 66
（3）小学校入学前の状況 77
（4）魅力を感じる児童クラブ 78
（5）放課後児童クラブを利用していない理由 79
12　育児休業 81
（1）育児休業取得状況 81
（2）育児休業取得後の職場への復帰状況 88
13　子育て支援サービス 91
（1）子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向 91
14　子育て全般 94
（1）子育てにおける楽しさと苦労の程度 94
（2）家事や子どもと関わる時間 98
（3）子どもとの外出時に困ること・困ったこと 106
（4）子育てに関する悩みやストレスの解消方法 108
（5）地域社会に望む支援 111
（6）隣近所（地域）との付き合い 113
（7）岡山市の子育てのしやすさの程度 117
（8）子育てしやすいまちにするために充実が必要だと思うこと 119
（9）子どもをもつことの理想と現実 123

Ⅲ　自由意見 128

Ⅰ　調査の概要

１ 調査目的

市内の子育てを行う世帯の現在の幼児教育・保育事業の利用状況や今後の利用希望、子育てについての要望等を把握し、岡山市子ども・子育て支援事業計画等の基礎資料とすることを目的とする。

２ 調査方法

(1)　調査地域　　岡山市全域
(2)　抽出方法　　市内に居住する、０歳から小学校６年生までの児童がいる家庭の中から無作為抽出
(3)　調査方法　　郵送による配付・回収（インターネットによる回答を併用）
(4)　調査対象　　5,000 世帯
(5)　調査時期　　令和６年１月 23 日～令和６年２月 13 日

３ 調査項目

- 保護者の就労状況
- 定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況
- 地域の子育て支援事業の利用状況
- 土日祝や長期休暇中の定期的な幼稚園・保育施設等の利用希望
- 病気の際の対応
- 幼稚園・保育施設等や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況・利用希望
- 放課後児童クラブの利用状況・利用希望
- 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望
- 育児休業の状況や子育ての感想、充実を望む施策など

４ 回収結果

	全体	郵送	インターネット
有効回収数	2,633	1,488	1,145
回収率	52.7%	29.8%	22.9%

５ 報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（％）で示してある。これらの数値は小数点以下第２位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が 100.0%とならない場合がある。
- ２つ以上の回答（複数回答）を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「ｎ」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

Ⅱ　調査結果

1 属性

（1） 居住区

	全体		就学前児童		小学校児童	
北区	934	35.5%	453	35.6%	481	35.3%
中区	632	24.0%	317	24.9%	315	23.1%
東区	349	13.3%	146	11.5%	203	14.9%
南区	540	20.5%	250	19.7%	290	21.3%
無回答 ※	178	6.8%	105	8.3%	72	5.3%
合計	2,633	100.0%	1,271	100.0%	1,361	100.0%

（2） 子どもの年齢（令和5年4月1日時点）

	全体		就学前児童		小学校児童	
0歳	307	11.7%	307	24.2%	–	–
1・2歳	373	14.2%	373	29.3%	–	–
3～5歳	588	22.3%	588	46.3%	–	–
6～8歳	712	27.0%	–	–	712	52.3%
9～11歳	641	24.3%	–	–	641	47.1%
無回答 ※	12	0.5%	3	0.2%	8	0.6%
合計	2,633	100.0%	1,271	100.0%	1,361	100.0%

（3） きょうだいの人数

	全体		就学前児童		小学校児童	
1人	671	25.5%	432	34.0%	239	17.6%
2人	1,229	46.7%	551	43.4%	678	49.8%
3人以上	718	27.3%	283	22.3%	435	32.0%
無回答 ※	15	0.6%	5	0.4%	9	0.7%
合計	2,633	100.0%	1,271	100.0%	1,361	100.0%

（4） 末子の年齢（令和5年4月1日時点）

	全体		就学前児童		小学校児童	
0歳	345	17.7%	298	35.7%	47	4.2%
1・2歳	340	17.5%	254	30.5%	86	7.7%
3～5歳	465	23.9%	222	26.6%	243	21.8%
6～8歳	406	20.9%	–	–	406	36.5%
9～11歳	255	13.1%	–	–	255	22.9%
無回答	136	7.0%	60	7.2%	76	6.8%
合計	1,947	100.0%	834	100.0%	1,113	100.0%

（5）回答者

	全体		就学前児童		小学校児童	
母親	2,272	86.3%	1,099	86.5%	1,173	86.2%
父親	345	13.1%	165	13.0%	180	13.2%
その他	8	0.3%	5	0.4%	3	0.2%
無回答 ※	8	0.3%	2	0.2%	5	0.4%
合計	2,633	100.0%	1,271	100.0%	1,361	100.0%

（6）回答者の配偶関係

	全体		就学前児童		小学校児童	
配偶者（夫または妻）がいる	2,438	92.6%	1,201	94.5%	1,237	90.9%
配偶者（夫または妻）はいない	186	7.1%	67	5.3%	119	8.7%
無回答 ※	9	0.3%	3	0.2%	5	0.4%
合計	2,633	100.0%	1,271	100.0%	1,361	100.0%

（7）世帯の状況

	全体		就学前児童		小学校児童	
両親世帯 ※	2,442	92.7%	1,204	94.7%	1,237	90.9%
母子世帯	169	6.4%	55	4.3%	114	8.4%
父子世帯	14	0.5%	9	0.7%	5	0.4%
その他の世帯	6	0.2%	3	0.2%	3	0.2%
無回答	2	0.1%	−	−	2	0.1%
合計	2,633	100.0%	1,271	100.0%	1,361	100.0%

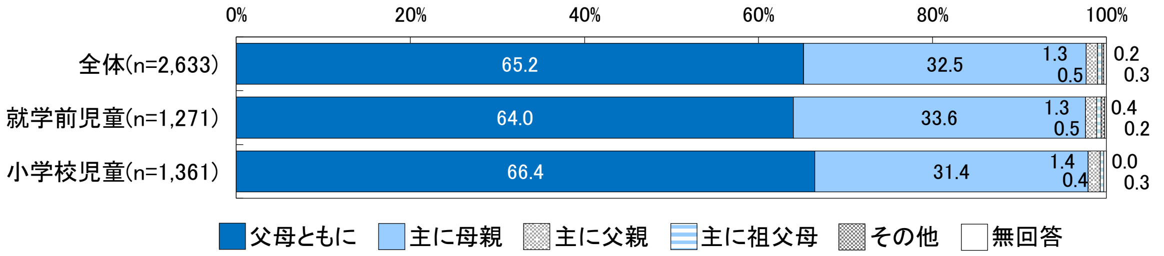
※就学前児童・小学校児童の内訳不明が１件あるため、合計が全体と一致しない。

２ 家族の状況

(1) 主な養育者

問６　宛名のお子さんの子育て（養育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（〇は１つ）

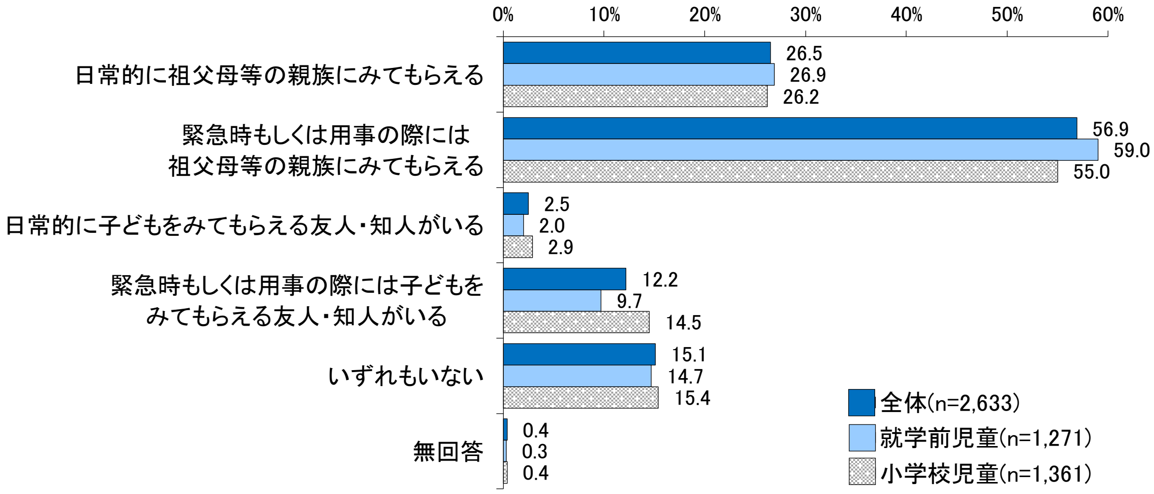
【主な養育者】



主な養育者について、「父母ともに」と回答した割合が全体で 65.2％、就学前児童で 64.0％、小学校児童で 66.4％となっている。

（2）子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問７　日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（○はいくつでも）



子どもをみてもらえる親族の有無について、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合が全体で 26.5%、就学前児童で 26.9%、小学校児童で 26.2%、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合が全体で 56.9%、就学前児童で 59.0%、小学校児童で 55.0%となっている。

また、子どもをみてもらえる知人の有無について、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した割合が全体で 2.5%、就学前児童で 2.0%、小学校児童で 2.9%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した割合が全体で 12.2%、就学前児童で 9.7%、小学校児童で 14.5%となっている。

一方、「いずれもいない」と回答した割合が全体で 15.1%、就学前児童で 14.7%、小学校児童で 15.4%となっている。

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無（前回調査結果との比較）】

		回答数	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもいない	無回答
全体	令和5年度	2,633	26.5%	56.9%	2.5%	12.2%	15.1%	0.4%
	平成30年度	2,869	26.7%	62.3%	3.9%	18.9%	11.8%	0.5%
就学前児童	令和5年度	1,271	26.9%	59.0%	2.0%	9.7%	14.7%	0.3%
	平成30年度	1,180	25.8%	64.8%	2.7%	12.2%	13.1%	0.6%
小学校児童	令和5年度	1,361	26.2%	55.0%	2.9%	14.5%	15.4%	0.4%
	平成30年度	1,689	27.4%	60.5%	4.7%	23.6%	10.8%	0.4%

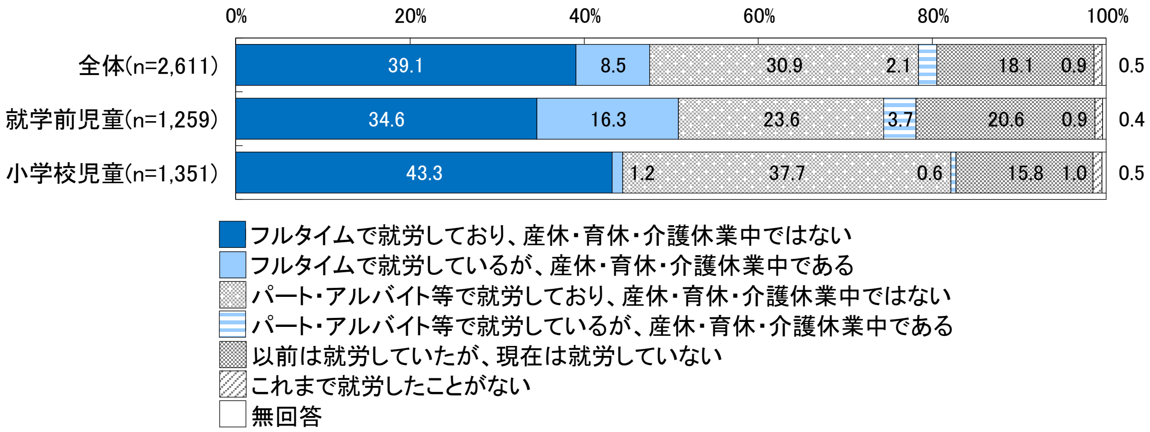
前回調査結果と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合は、全体で 5.4 ポイント、就学前児童で 5.8 ポイント、小学校児童で 5.5 ポイント低下している。

３ 保護者の就労状況

（1）母親の就労状況

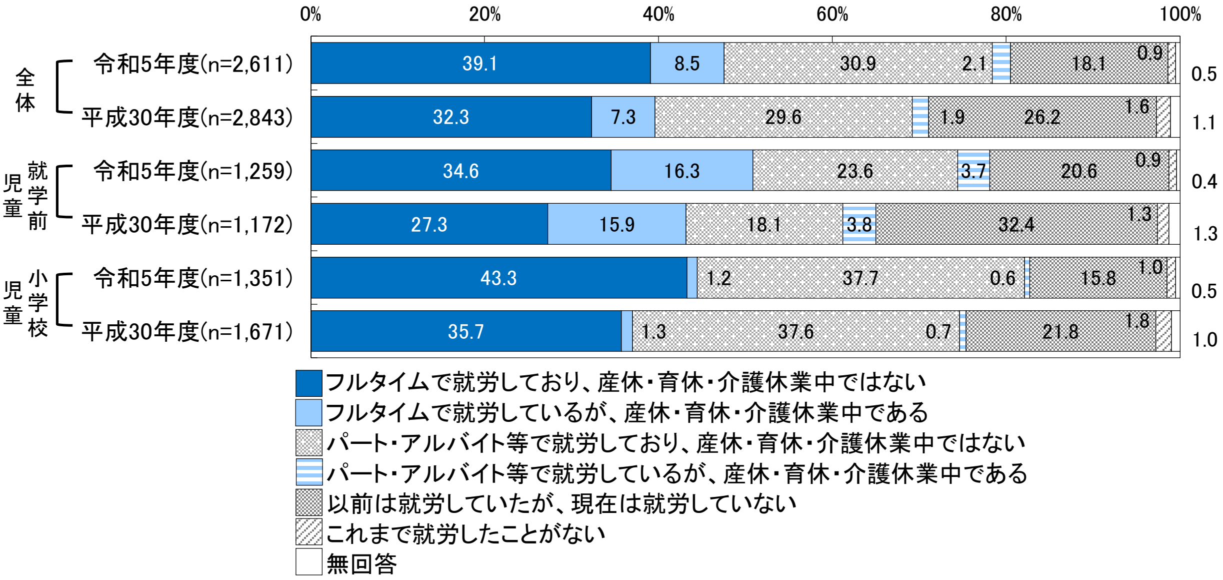
問８　宛名のお子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（○は１つ）

【就労状況（母親）】



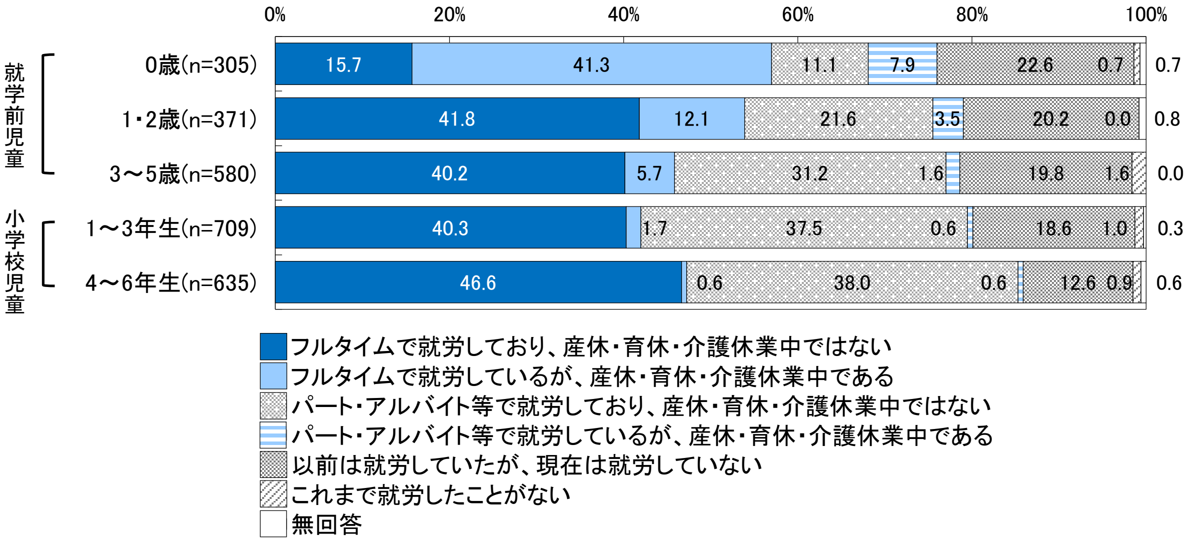
母親の就労状況について、『フルタイムで就労している』と回答した割合が全体で 47.6％、就学前児童で 50.9％、小学校児童で 44.5％、『パート・アルバイト等で就労している』と回答した割合が全体で 33.0％、就学前児童で 27.3％、小学校児童で 38.3％、『就労していない』（「以前は就労していたが、現在は就労していない」＋「これまで就労したことがない」）と回答した割合が全体で 19.0％、就学前児童で 21.5％、小学校児童で 16.8％となっている。

【就労状況（母親）（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、『フルタイムで就労している』と回答した割合は、全体で 8.0 ポイント、就学前児童で 7.7 ポイント、小学校児童で 7.5 ポイント上昇している。

【就労状況（母親）（年齢・学年別）】



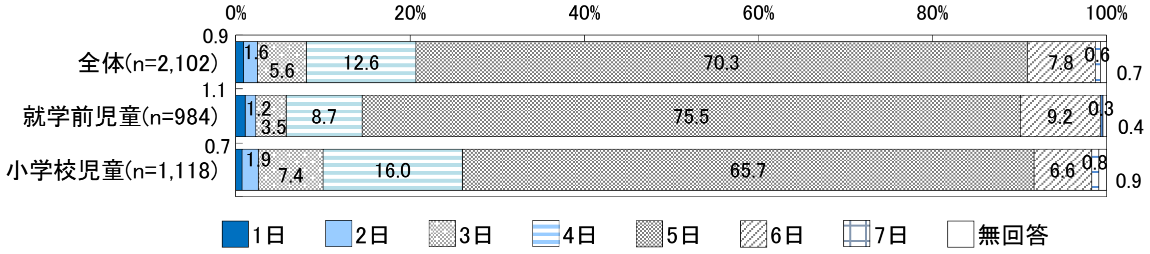
年齢・学年別にみると、『フルタイムで就労している』と回答した割合は、０歳、１・２歳で高くなっている。

また、『パート・アルバイト等で就労している』と回答した割合は、年齢・学年が上がるほど高くなっている。

問８で「１～４」（就労している）と回答した人のみ回答

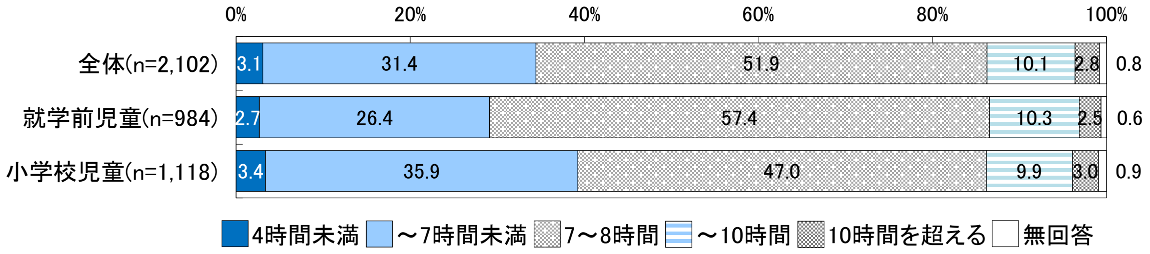
問８－１　母親の週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えいただき、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（数字を記入）

【１週当たりの就労日数（母親）】



母親の１週当たりの就労日数について、「５日」と回答した割合が全体で 70.3%、就学前児童で 75.5%、小学校児童で 65.7%、「４日」と回答した割合が全体で 12.6%、就学前児童で 8.7%、小学校児童で 16.0%となっている。

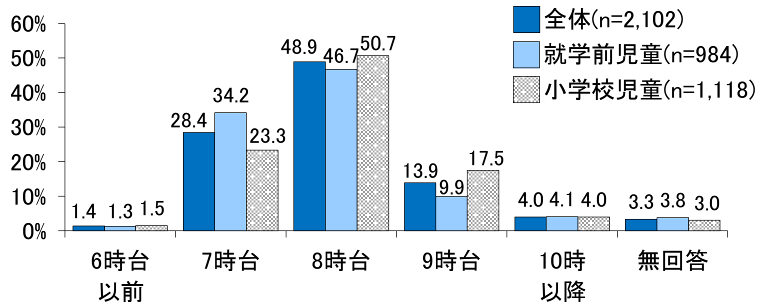
【１日当たりの就労時間（母親）】



母親の１日当たりの就労時間について、「７～８時間」と回答した割合が全体で 51.9%、就学前児童で 57.4%、小学校児童で 47.0%となっている。

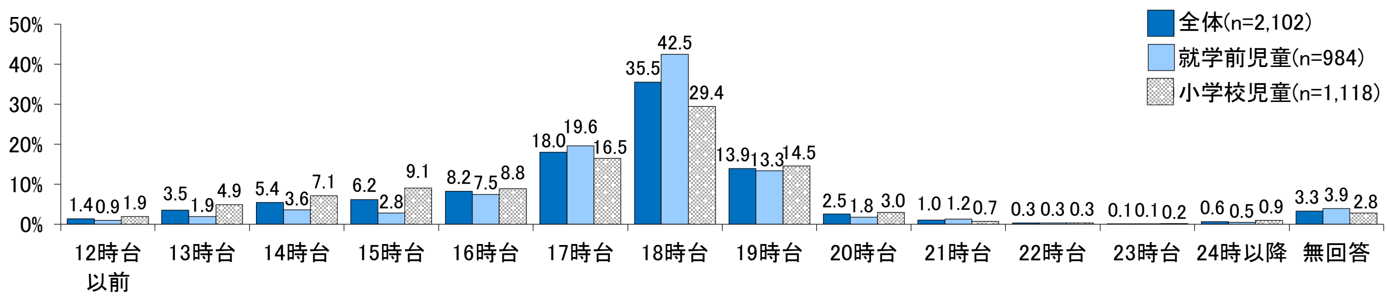
また、『８時間を超える』割合が全体で 12.9%、就学前児童で 12.8%、小学校児童で 12.9%となっている。

【出勤時間（母親）】



母親の出勤時間について、「８時台」と回答した割合が全体で 48.9%、就学前児童で 46.7%、小学校児童で 50.7%と最も高くなっている。

【帰宅時間（母親）】

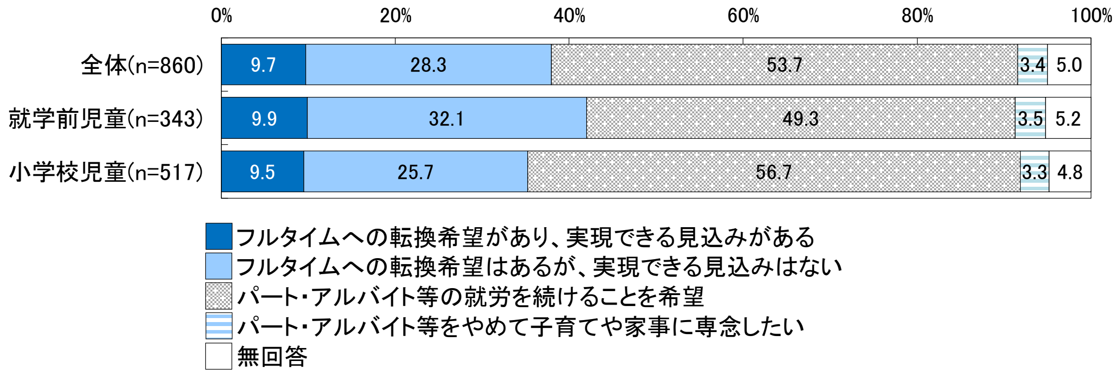


母親の帰宅時間について、「18 時台」と回答した割合が全体で 35.5%、就学前児童で 42.5%、小学校児童で 29.4%と最も高くなっている。

問８で「３」または「４」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した人のみ回答

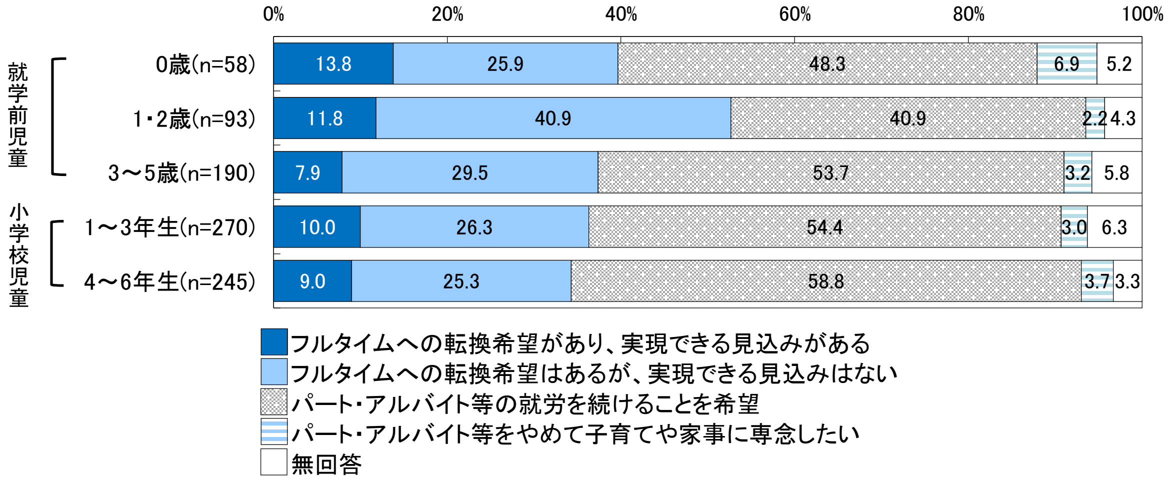
問８－２　母親はフルタイムへの転換希望はありますか。（○は１つ）

【フルタイムへの転換希望（母親）】



母親のフルタイムへの転換希望について、『フルタイムへの転換希望がある』と回答した割合が全体で 38.0%、就学前児童で 42.0%、小学校児童で 35.2%となっている。

【フルタイムへの転換希望（母親）（年齢・学年別）】

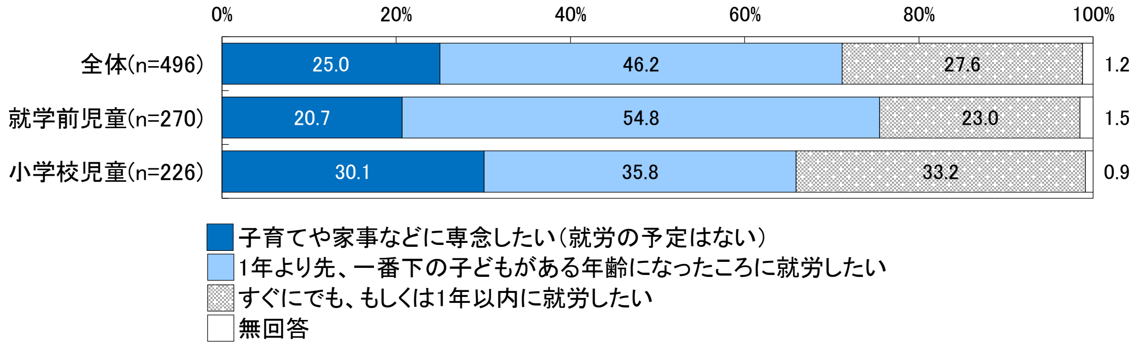


年齢・学年別にみると、『フルタイムへの転換希望がある』と回答した割合は、１・２歳で高くなっている。

問８で「５」または「６」（現在就労していない）と回答した人のみ回答

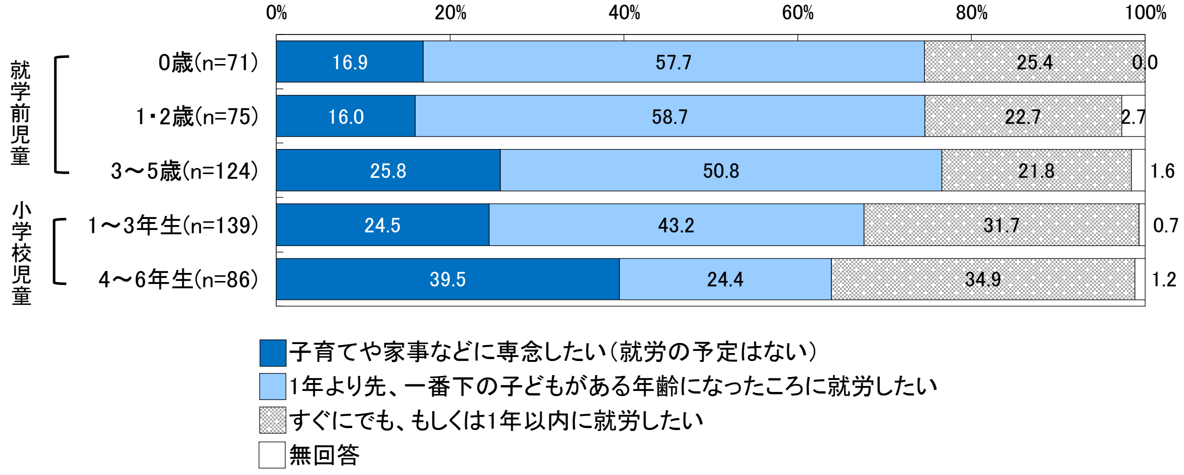
問８－３　母親は就労したいという希望はありますか。（○は１つ）

【就労希望（母親）】



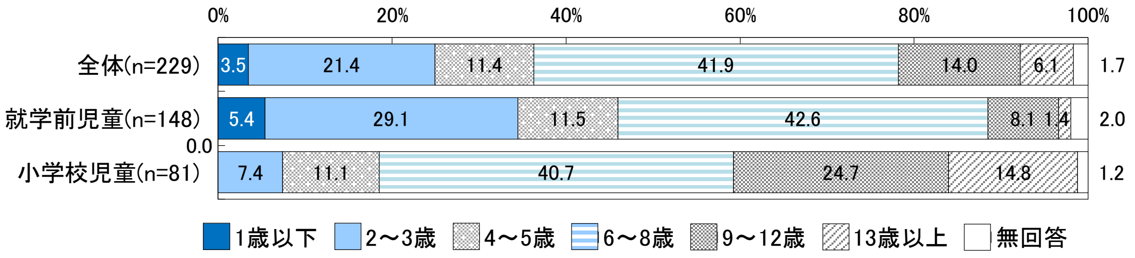
母親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」と回答した割合が全体で 27.6%、就学前児童で 23.0%、小学校児童で 33.2%、「１年より先、一番下の子どもがある年齢になったころに就労したい」と回答した割合が全体で 46.2%、就学前児童で 54.8%、小学校児童で 35.8%となっている。

【就労希望（母親）（年齢・学年別）】



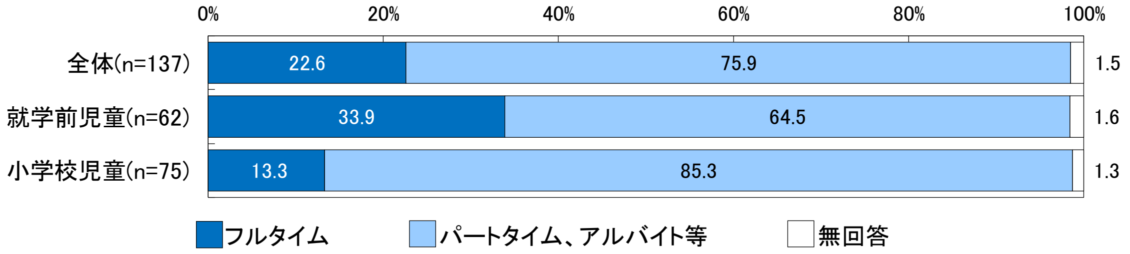
年齢・学年別にみると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」と回答した割合は、４～６年生で高くなっている。

【就労希望予定時の末子の年齢（母親）】



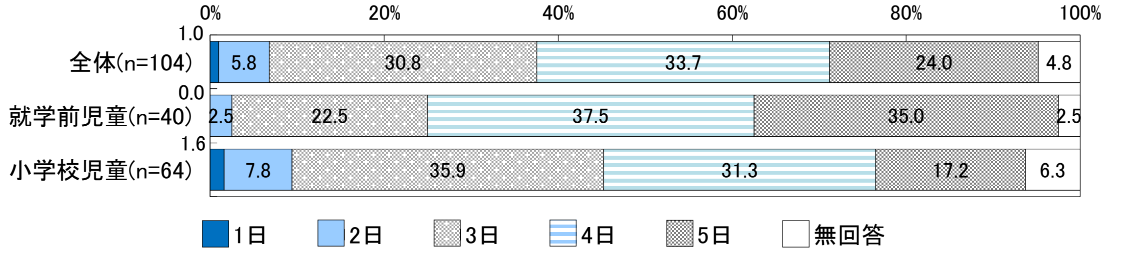
就労希望予定時の末子の年齢について、「６～８歳」と回答した割合が全体で 41.9%、就学前児童で 42.6%、小学校児童で 40.7%と最も高くなっている。

【希望就労形態（母親）】



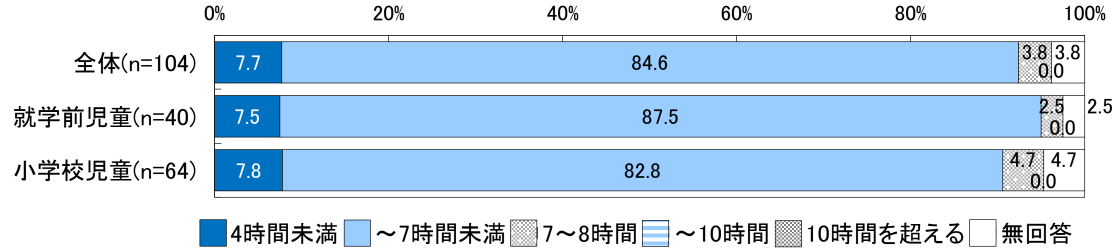
母親の希望就労形態について、「フルタイム」と回答した割合が全体で 22.6%、就学前児童で 33.9%、小学校児童で 13.3%、「パートタイム、アルバイト等」と回答した割合が全体で 75.9%、就学前児童で 64.5%、小学校児童で 85.3%となっている。

【１週当たりの希望就労日数（母親）】



パートタイム、アルバイト等を希望する母親の１週当たりの希望就労日数について、「４日」と回答した割合が全体で 33.7%、就学前児童で 37.5%、小学校児童で 31.3%、「３日」と回答した割合が全体で 30.8%、就学前児童で 22.5%、小学校児童で 35.9%となっている。

【１日当たりの希望就労時間（母親）】

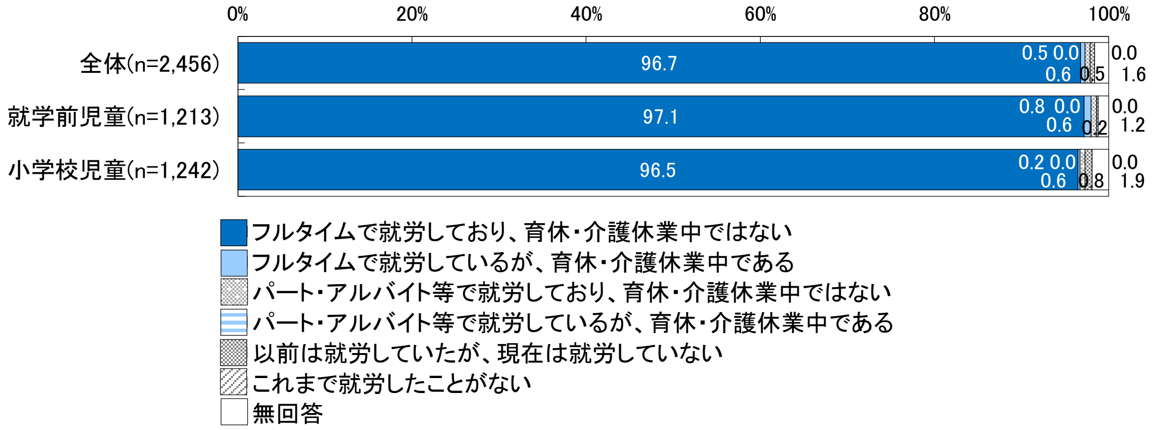


パートタイム、アルバイト等を希望する母親の１日当たりの希望就労時間について、「～７時間未満」と回答した割合が全体で 84.6%、就学前児童で 87.5%、小学校児童で 82.8%となっている。

（2）父親の就労状況

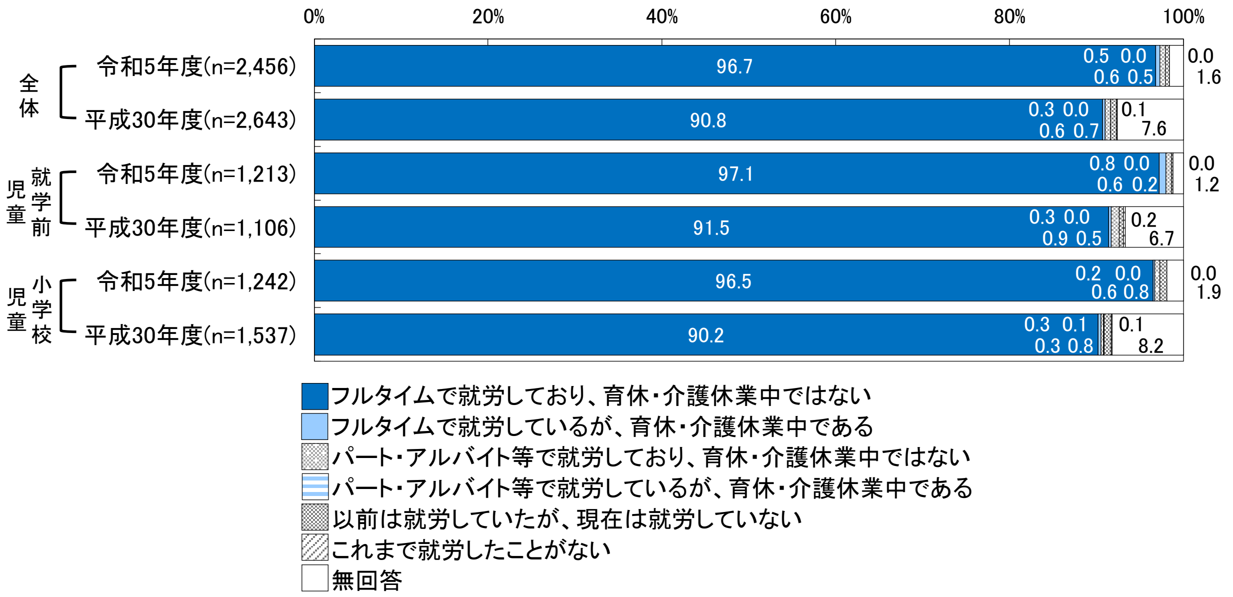
問９　宛名のお子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（〇は１つ）

【就労状況（父親）】



父親の就労状況について、『フルタイムで就労している』と回答した割合が全体で 97.2%、就学前児童で 97.9%、小学校児童で 96.7%となっている。

【就労状況（父親）（前回調査結果との比較）】

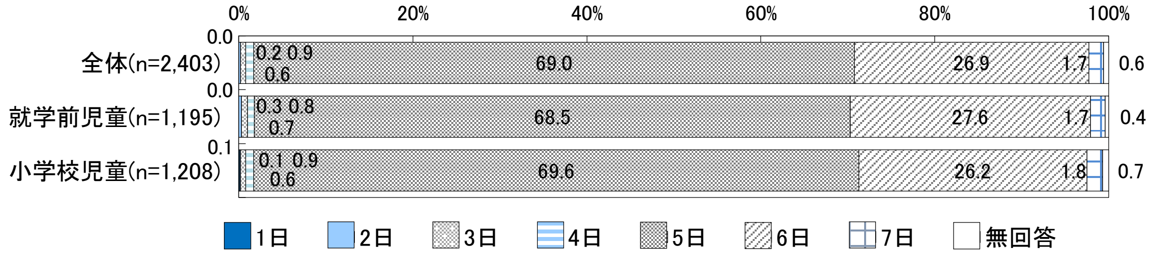


前回調査結果と比較すると、『フルタイムで就労している』と回答した割合は、全体で 6.1 ポイント、就学前児童で 6.1 ポイント、小学校児童で 6.2 ポイント上昇している。

問９で「１～４」（就労している）と回答した人のみ回答

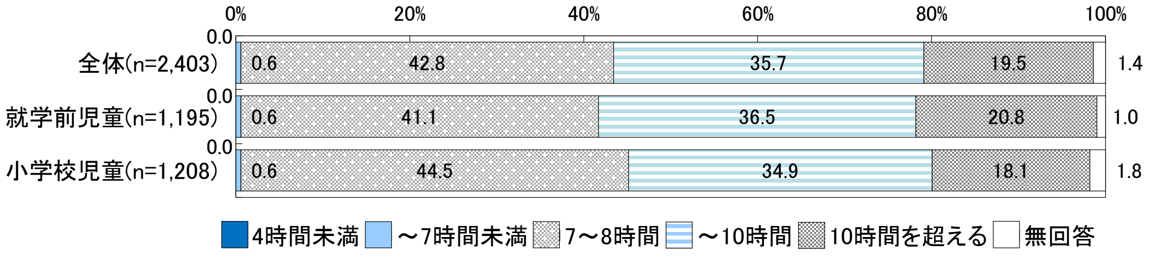
問９－１　父親の週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えいただき、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（数字を記入）

【１週当たりの就労日数（父親）】



父親の１週当たりの就労日数について、「５日」と回答した割合が全体で 69.0%、就学前児童で 68.5%、小学校児童で 69.6%、「６日」と回答した割合が全体で 26.9%、就学前児童で 27.6%、小学校児童で 26.2%となっている。

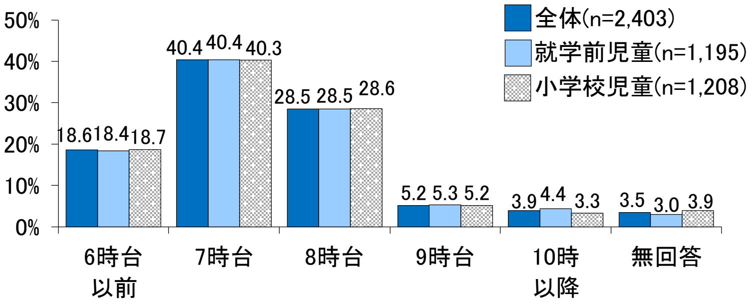
【１日当たりの就労時間（父親）】



父親の１日当たりの就労時間について、「７～８時間」と回答した割合が全体で 42.8%、就学前児童で 41.1%、小学校児童で 44.5%となっている。

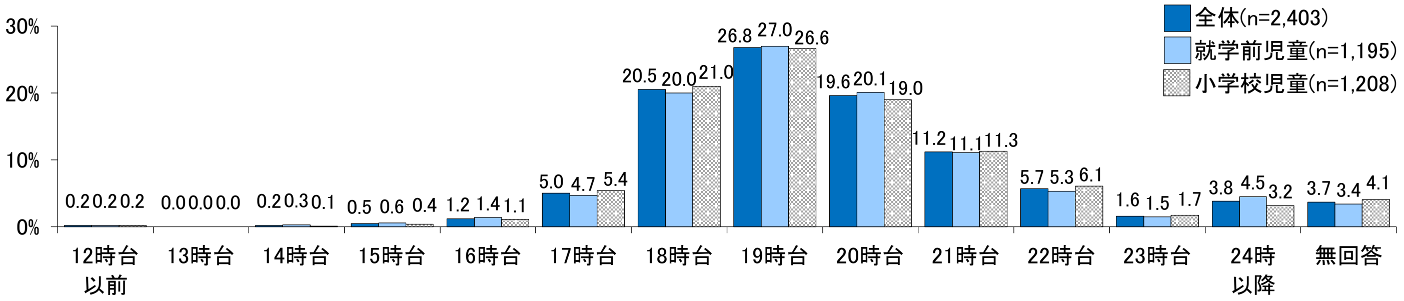
また、『８時間を超える』割合が全体で 55.2%、就学前児童で 57.3%、小学校児童で 53.0%となっている。

【出勤時間（父親）】



父親の出勤時間について、「７時台」と回答した割合が全体で 40.4%、就学前児童で 40.4%、小学校児童で 40.3%と最も高くなっている。

【帰宅時間（父親）】

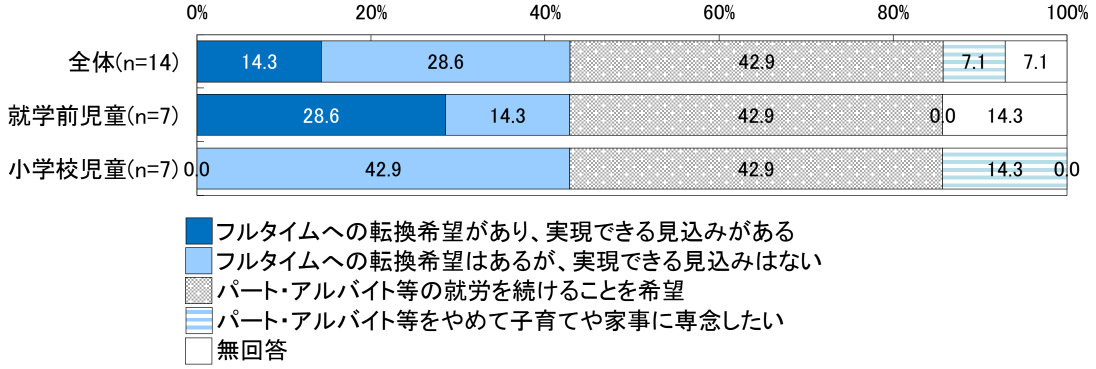


父親の帰宅時間について、「19 時台」と回答した割合が全体で 26.8%、就学前児童で 27.0%、小学校児童で 26.6%と最も高くなっている。

問９で「３」または「４」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した人のみ回答

問９－２　父親はフルタイムへの転換希望はありますか。（○は１つ）

【フルタイムへの転換希望（父親）】

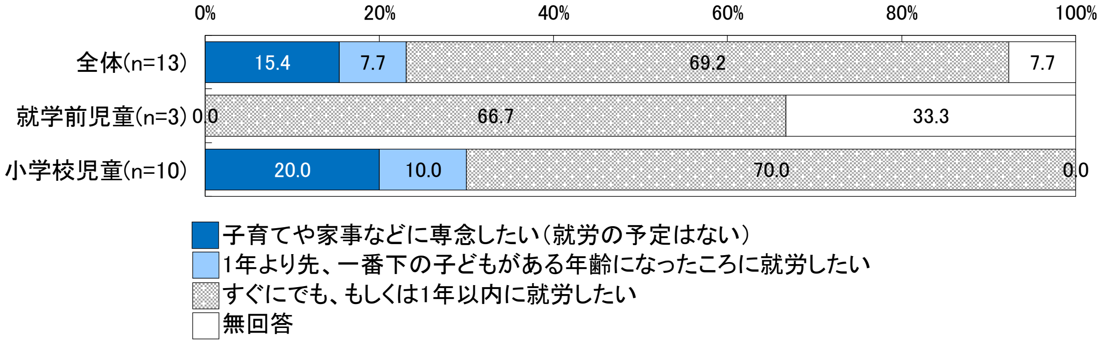


父親のフルタイムへの転換希望について、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と回答した割合が全体で 14.3%、就学前児童で 28.6%、小学校児童で 0.0%となっている。

問９で「５」または「６」（現在就労していない）と回答した人のみ回答

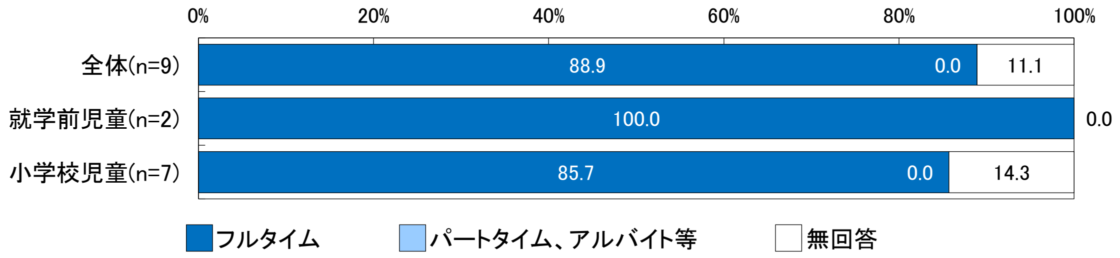
問９－３　父親は就労したいという希望はありますか。（○は１つ）

【就労希望（父親）】



父親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」と回答した割合が全体で 69.2%、就学前児童で 66.7%、小学校児童で 70.0%となっている。

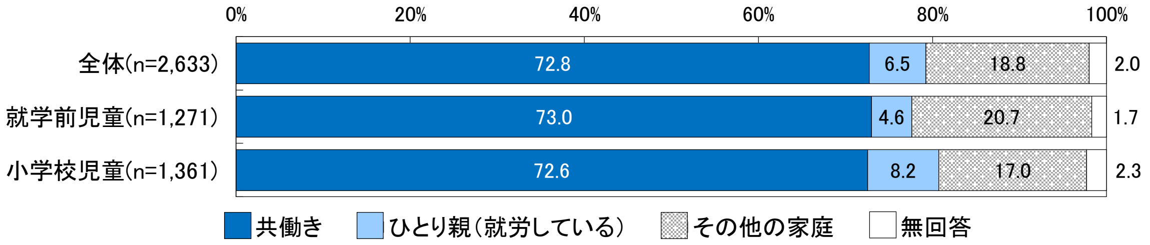
【希望就労形態（父親）】



父親の希望就労形態について、「フルタイム」と回答した割合が全体で 88.9%、就学前児童で 100.0%、小学校児童で 85.7%となっている。

(3) 共働きの状況

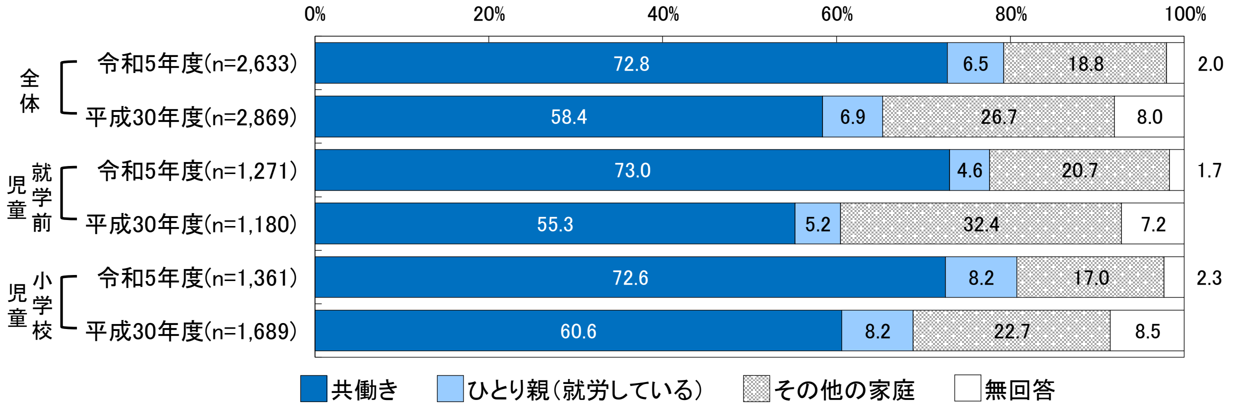
【両親の共働きの状況】



母親、父親の就労状況による共働きの家庭の割合が全体で 72.8%、就学前児童で 73.0%、小学校児童で 72.6%となっている。

また、ひとり親家庭で就労している家庭の割合が全体で 6.5%、就学前児童で 4.6%、小学校児童で 8.2%となっている。

【両親の共働きの状況（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、共働きの家庭の割合が全体で 14.4 ポイント、就学前児童で 17.7 ポイント、小学校児童で 12.0 ポイント上昇している。

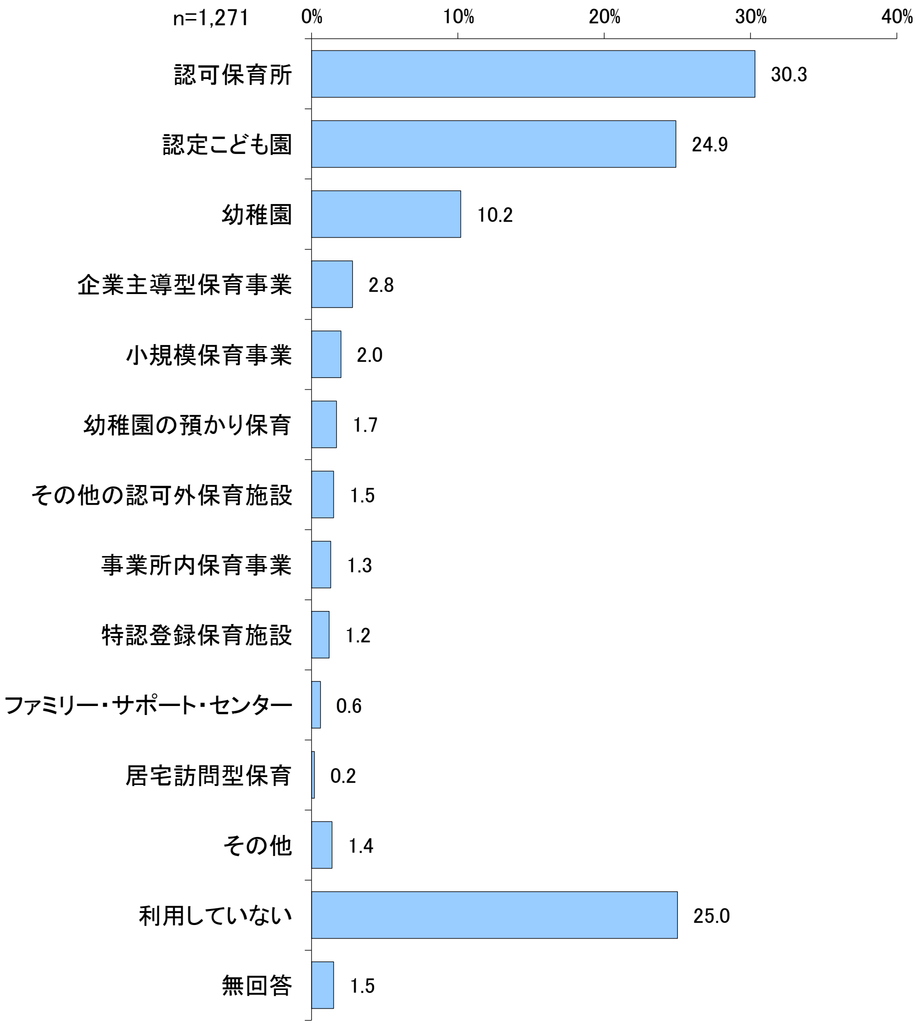
4 定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況

（1）定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況

宛名の子どもが０歳から小学校入学前の人のみ回答

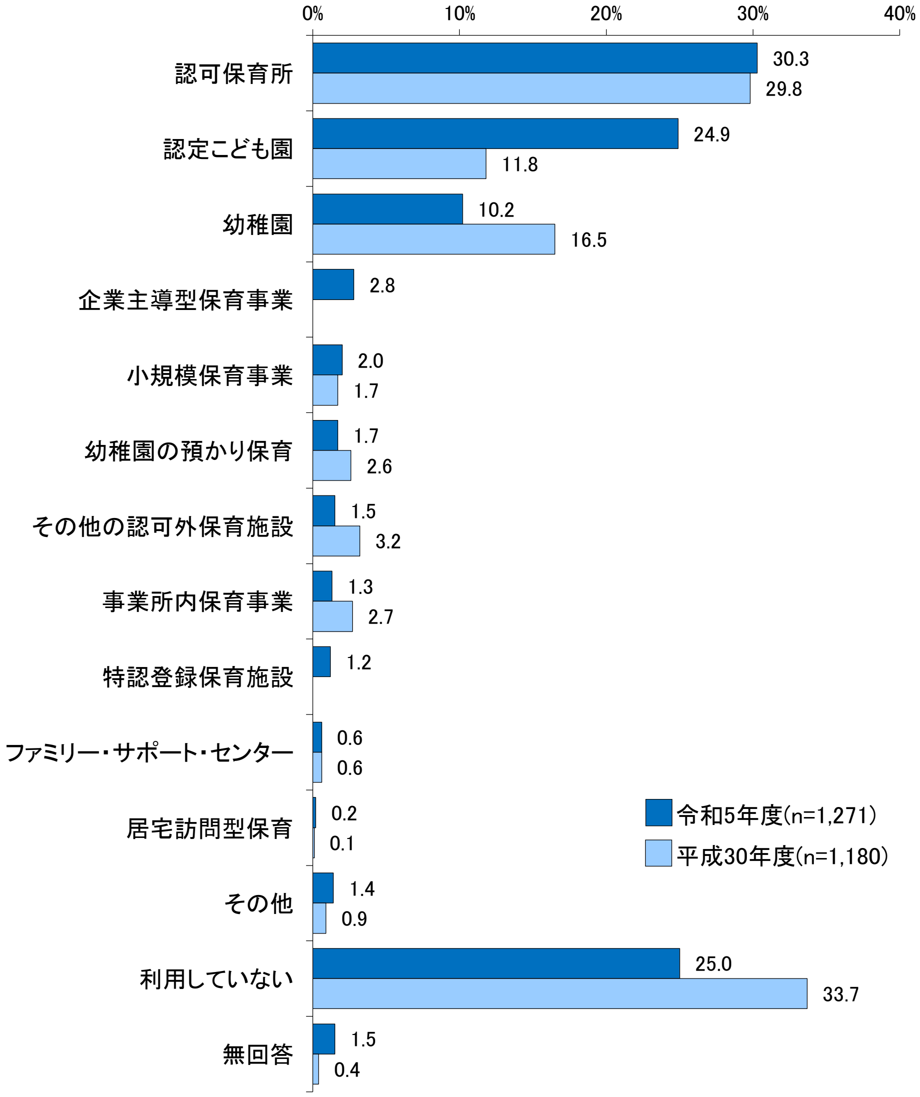
問 10　宛名のお子さんは現在、年間を通じて、幼稚園・保育所などの施設等（以下は「幼稚園・保育施設等」とします。）を定期的に利用していますか。（〇はいくつでも）

【定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況】



定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況について、「認可保育所」と回答した割合が 30.3%と最も高く、「認定こども園」（24.9%）、「幼稚園」（10.2%）が続いている。

【定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況（就学前児童・前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、「認定こども園」と回答した割合は、13.1 ポイント上昇している。

【定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況（就学前児童・年齢別）】

	回答数	認可保育所	認定こども園	幼稚園	企業主導型保育事業	小規模保育事業	幼稚園の預かり保育	その他の認可外保育施設	事業所内保育事業
0歳（令和5年度生まれ）	120	2.5%	4.2%	0.8%	−	0.8%	0.8%	−	0.8%
0歳（令和4年度生まれ）	187	20.9%	10.2%	1.1%	4.8%	3.7%	−	0.5%	0.5%
1歳	199	34.2%	18.1%	1.0%	5.5%	4.5%	0.5%	1.0%	2.5%
2歳	174	37.4%	25.9%	4.0%	3.4%	4.6%	0.6%	2.3%	1.7%
3～5歳	588	35.4%	36.1%	19.9%	1.5%	−	3.2%	2.0%	1.2%

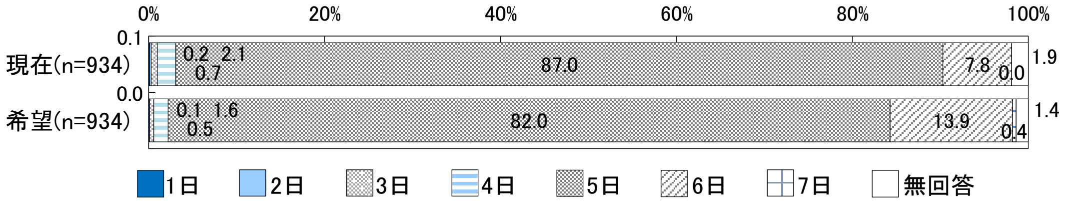
	回答数	特認登録保育施設	ファミリー・サポート・センター	居宅訪問型保育	その他	利用していない	無回答
0歳（令和5年度生まれ）	120	−	−	0.8%	2.5%	89.2%	2.5%
0歳（令和4年度生まれ）	187	−	−	−	0.5%	57.8%	1.1%
1歳	199	1.5%	−	−	2.0%	30.2%	0.5%
2歳	174	2.3%	2.9%	−	1.1%	19.0%	1.1%
3～5歳	588	1.4%	0.3%	0.3%	1.4%	1.7%	1.9%

年齢別にみると、「認可保育所」と回答した割合は、０歳（令和５年度生まれ）、３～５歳を除く年齢で最も高く、０歳（令和５年度生まれ）、３～５歳では「認定こども園」と回答した割合が最も高くなっている。

問 10 で定期的に幼稚園・保育施設等を利用していると回答した人のみ回答

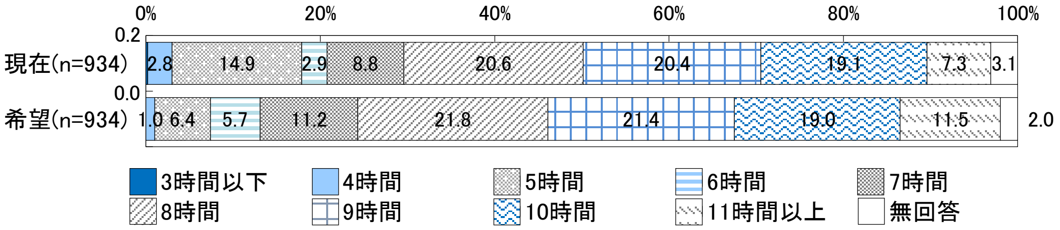
問 10-1　利用している幼稚園・保育施設等について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（数字を記入）

【利用日数】



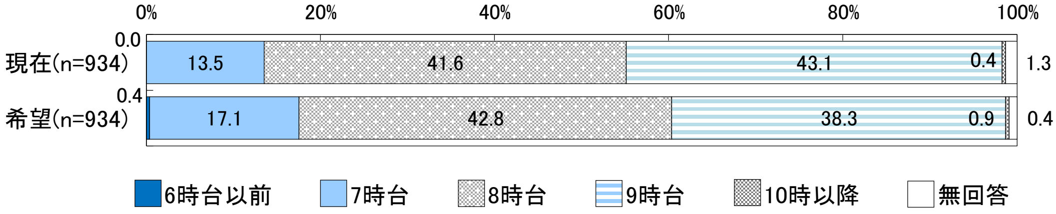
利用日数について、「５日」と回答した割合が現在で 87.0％、希望で 82.0％と最も高くなっている。

【１日当たりの利用時間】

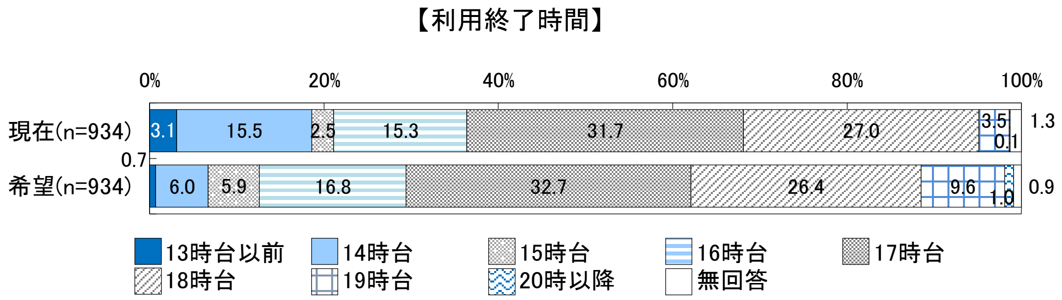


１日当たりの利用時間について、現在、希望ともに「８時間」と回答した割合が最も高くなっている。

【利用開始時間】

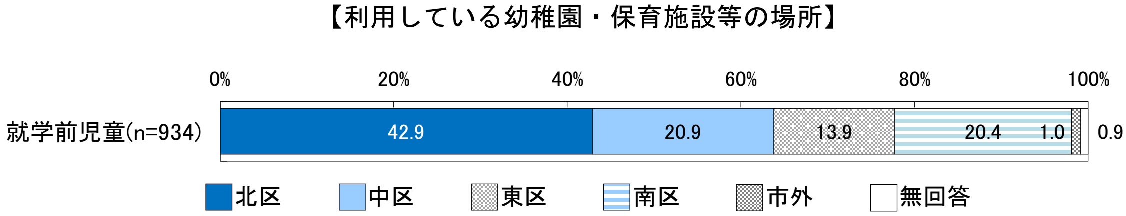


利用開始時間について、現在では「９時台」と回答した割合が 43.1％、希望では「８時台」と回答した割合が 42.8％と最も高くなっている。



利用終了時間について、「17 時台」と回答した割合が現在で 31.7%、希望で 32.7%と最も高くなっている。

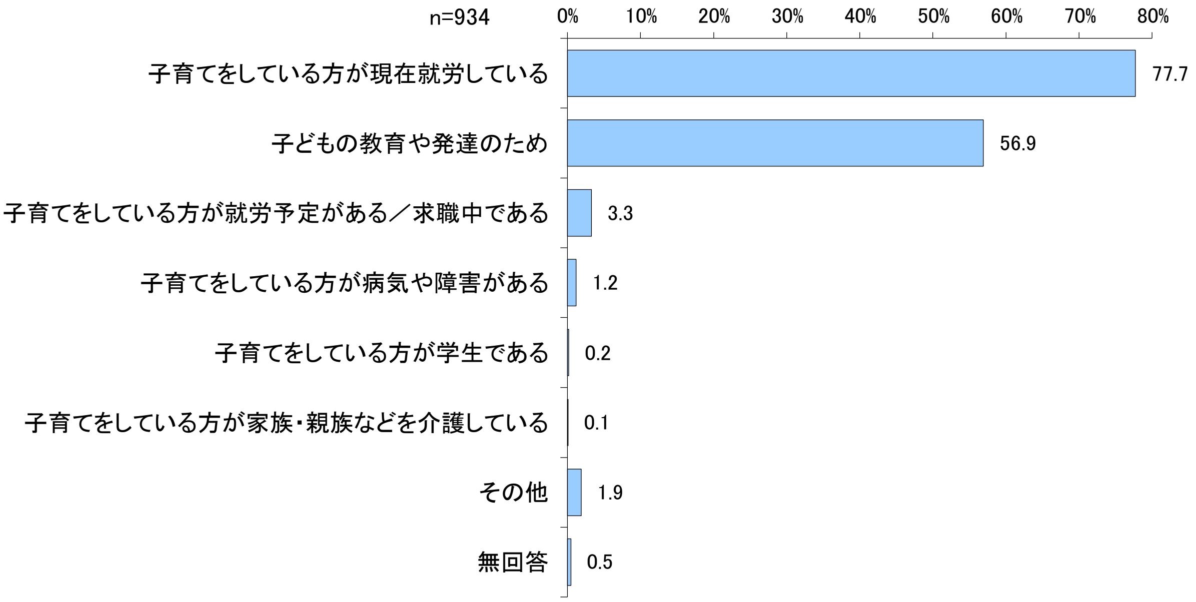
問 10-2　現在、利用している幼稚園・保育施設等の場所についてうかがいます。
（番号を記入）



利用している幼稚園・保育施設等の場所について、「北区」と回答した割合が 42.9%、「中区」と回答した割合が 20.9%、「東区」と回答した割合が 13.9%、「南区」と回答した割合が 20.4%となっている。

問 10-3　幼稚園・保育施設等を利用している理由は何ですか。（○はいくつでも）

【幼稚園・保育施設等を利用している理由】



幼稚園・保育施設等を利用している理由について、「子育てをしている方が現在就労している」と回答した割合が 77.7％と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」（56.9％）となっている。

【幼稚園・保育施設等を利用している理由（就学前児童・年齢別）】

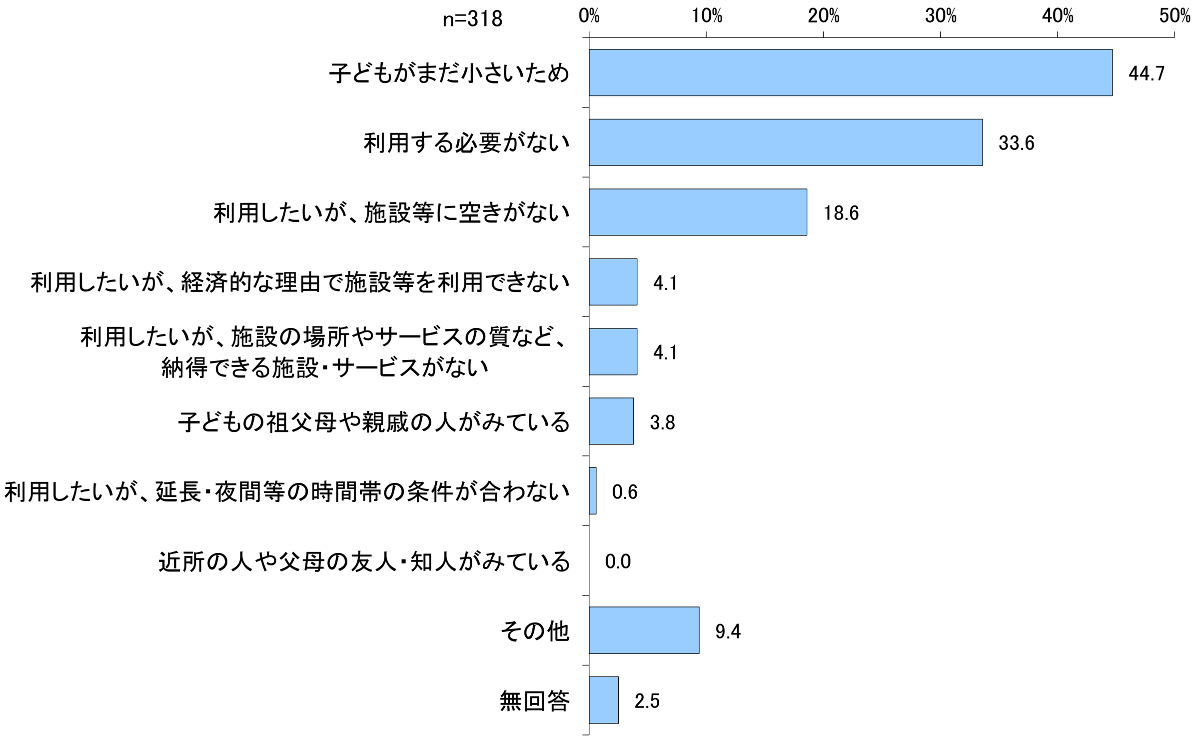
	回答数	子育てをしている方が現在就労している	子どもの教育や発達のため	子育てをしている方が就労予定がある／求職中である	子育てをしている方が病気や障害がある	子育てをしている方が学生である	子育てをしている方が家族・親族などを介護している	その他	無回答
0歳（令和5年度生まれ）	10	60.0%	30.0%	20.0%	－	－	－	－	10.0%
0歳（令和4年度生まれ）	77	89.6%	51.9%	2.6%	－	1.3%	－	1.3%	2.6%
1歳	138	89.1%	47.1%	5.8%	2.2%	－	－	3.6%	0.7%
2歳	139	87.8%	51.1%	3.6%	0.7%	－	－	3.6%	－
3～5歳	567	71.3%	61.6%	2.5%	1.2%	0.2%	0.2%	1.2%	0.2%

年齢別にみると、「子育てをしている方が現在就労している」と回答した割合は、０歳（令和４年度生まれ）、１歳、２歳で、「子どもの教育や発達のため」と回答した割合は、３～５歳で、「子育てをしている方が就労予定がある/求職中である」と回答した割合は、０歳（令和５年度生まれ）で高くなっている。

問 10 で定期的に幼稚園・保育施設等を利用していないと回答した人のみ回答

問 10-4　利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

【幼稚園・保育施設等を利用していない理由】



幼稚園・保育施設等を利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため」と回答した割合が 44.7%と最も高く、「利用する必要がない」（33.6%）、「利用したいが、施設等に空きがない」（18.6%）が続いている。

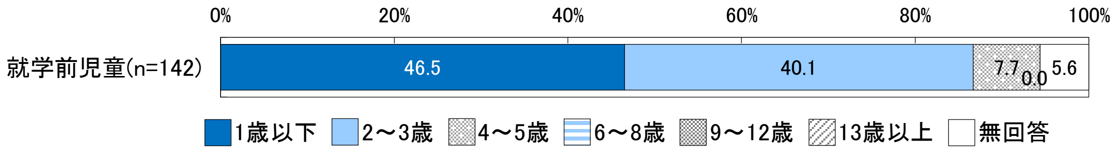
【幼稚園・保育施設等を利用していない理由（就学前児童・年齢別）】

	回答数	子どもがまだ小さいため	利用する必要がない	利用したいが、施設等に空きがない	利用したいが、経済的な理由で施設等を利用できない	利用したいが、施設の場所やサービスの質など、納得できる施設・サービスがない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	近所の人や父母の友人・知人がみている
0歳（令和5年度生まれ）	107	68.2%	20.6%	5.6%	0.9%	1.9%	1.9%	0.9%	－
0歳（令和4年度生まれ）	108	33.3%	30.6%	37.0%	7.4%	3.7%	4.6%	－	－
1歳	60	40.0%	46.7%	15.0%	5.0%	6.7%	5.0%	1.7%	－
2歳	33	21.2%	63.6%	9.1%	3.0%	6.1%	3.0%	－	－
3～5歳	10	20.0%	30.0%	10.0%	－	10.0%	10.0%	－	－

	回答数	その他	無回答
0歳（令和5年度生まれ）	107	11.2%	1.9%
0歳（令和4年度生まれ）	108	9.3%	2.8%
1歳	60	6.7%	1.7%
2歳	33	6.1%	6.1%
3～5歳	10	20.0%	－

年齢別にみると、「子どもがまだ小さいため」と回答した割合は、０歳（令和５年度生まれ）で、「利用する必要がない」と回答した割合は、２歳で、「利用したいが、施設等に空きがない」と回答した割合は、０歳（令和４年度生まれ）で高くなっている。

【幼稚園・保育施設等の利用希望開始時の子どもの年齢】



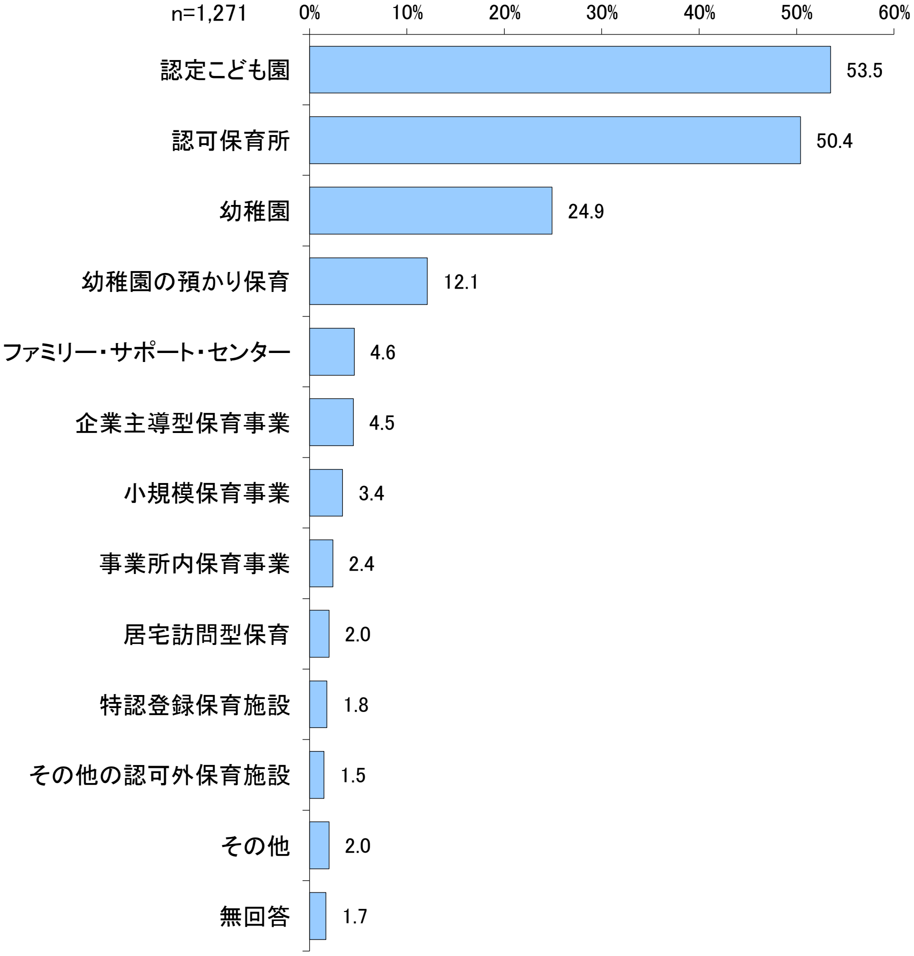
幼稚園・保育施設等の利用希望開始時の子どもの年齢について、「１歳以下」と回答した割合が 46.5％と最も高く、次いで「２～３歳」（40.1％）となっている。

（2）定期的な幼稚園・保育施設等の利用希望

宛名の子どもが小学校入学前のすべての人が回答

問 11　現在利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんに今後、定期的に利用させたいと考える幼稚園・保育施設等をお答えください。（○はいくつでも）

【定期的に利用したい事業】



定期的に利用したい事業について、「認定こども園」と回答した割合が 53.5%と最も高く、次いで「認可保育所」（50.4%）となっている。

【定期的に利用したい事業（就学前児童・年齢別）】

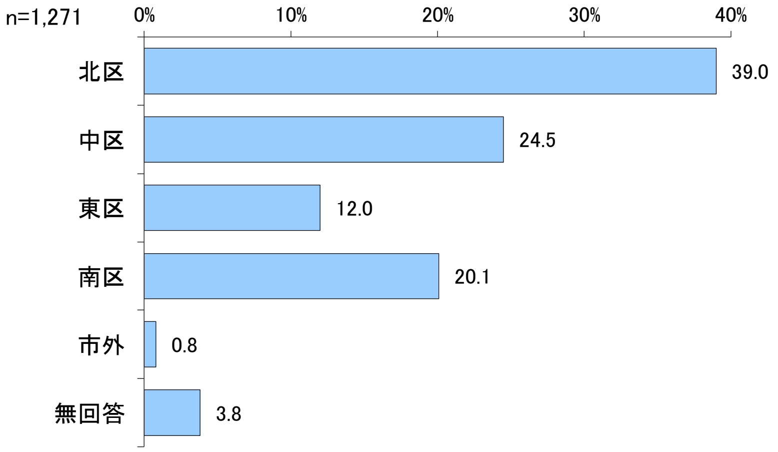
	回答数	認定こども園	認可保育所	幼稚園	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	企業主導型保育事業	小規模保育事業	事業所内保育事業
0歳（令和5年度生まれ）	120	60.0%	60.8%	20.8%	10.0%	5.0%	5.8%	5.8%	4.2%
0歳（令和4年度生まれ）	187	62.6%	60.4%	27.3%	12.8%	1.6%	9.1%	11.2%	4.8%
1歳	199	58.3%	53.3%	23.1%	11.6%	4.0%	6.5%	2.5%	1.5%
2歳	174	54.0%	50.0%	27.0%	10.3%	6.3%	4.0%	3.4%	2.9%
3～5歳	588	47.3%	44.2%	25.2%	13.1%	5.3%	2.2%	0.7%	1.5%

	回答数	居宅訪問型保育	特認登録保育施設	その他の認可外保育施設	その他	無回答
0歳（令和5年度生まれ）	120	1.7%	3.3%	2.5%	－	7.5%
0歳（令和4年度生まれ）	187	3.2%	2.1%	1.1%	1.6%	0.5%
1歳	199	3.0%	2.5%	0.5%	1.5%	0.5%
2歳	174	1.1%	1.7%	1.7%	1.1%	2.9%
3～5歳	588	1.7%	1.2%	1.7%	2.9%	0.9%

年齢別にみると、「認定こども園」と回答した割合は、０歳（令和５年度生まれ）を除く年齢で最も高く、０歳（令和５年度生まれ）では「認可保育所」と回答した割合が最も高くなっている。

問 11-1　幼稚園・保育施設等を利用したい場所についてうかがいます。（番号を記入）

【幼稚園・保育施設等の利用を希望する場所】



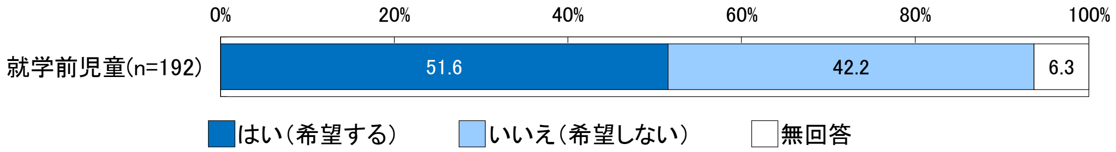
＊ 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が 100.0%を超える。

幼稚園・保育施設等の利用を希望する場所について、「北区」と回答した割合が 39.0%、「中区」と回答した割合が 24.5%、「東区」と回答した割合が 12.0%、「南区」と回答した割合が 20.1%となっている。

問 11 で「１　幼稚園（通常の就園時間の利用)」または「２　幼稚園の預かり保育」と回答、かつ「３～11」と回答した人のみ回答

問 11-2　特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は１つ）

【幼稚園利用への強い希望の有無】



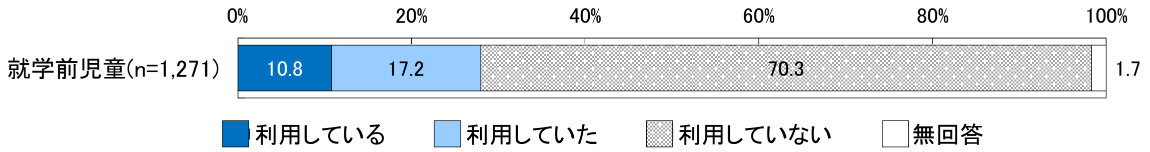
幼稚園利用への強い希望の有無について、「はい（希望する)」と回答した割合が 51.6%、「いいえ（希望しない)」と回答した割合が 42.2%となっている。

5 地域の子育て支援事業の利用状況

(1) 地域子育て支援センターの利用状況

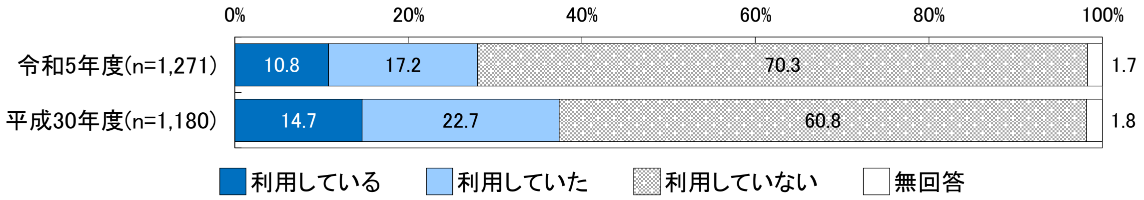
問 12　宛名のお子さんは、地域子育て支援センターを利用していますか。又は利用していましたか。（○は１つ）

【地域子育て支援センターの利用状況】



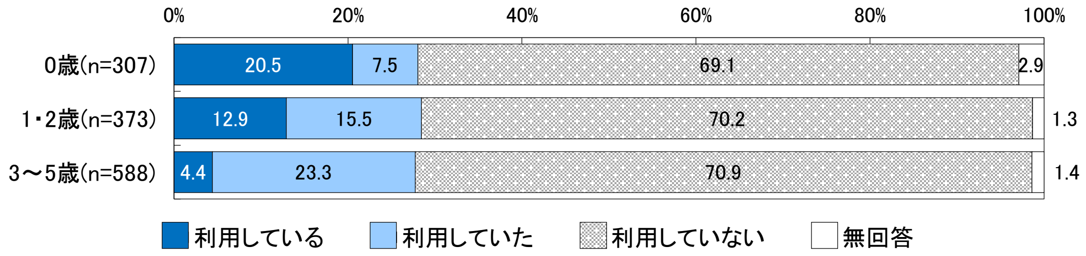
地域子育て支援センターの利用状況について、「利用している」と回答した割合が 10.8%、「利用していた」と回答した割合が 17.2%、「利用していない」と回答した割合が 70.3%となっている。

【地域子育て支援センターの利用状況（就学前児童・前回調査結果との比較）】



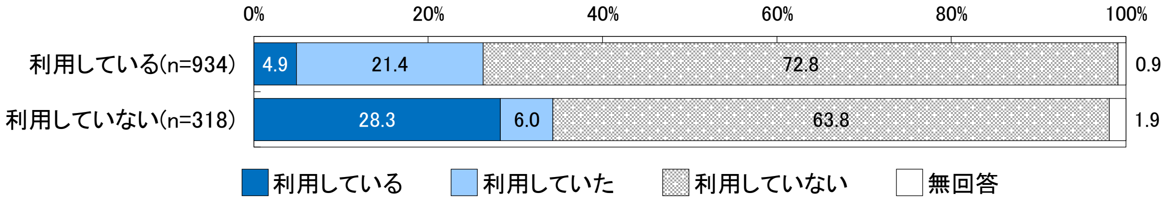
前回調査結果と比較すると、「利用していない」と回答した割合は、9.5 ポイント上昇している。

【地域子育て支援センターの利用状況（就学前児童・年齢別）】



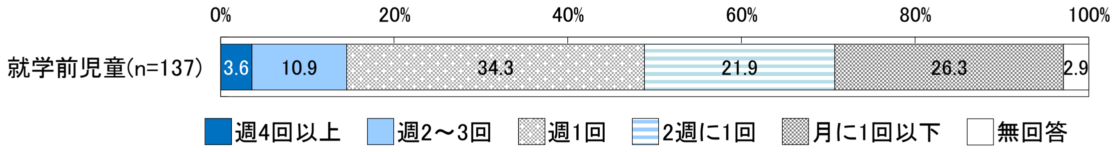
年齢別にみると、「利用している」と回答した割合は、０歳で 20.5%、１・２歳で 12.9%、３～５歳で 4.4%となっている。

【地域子育て支援センターの利用状況（定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況別）】



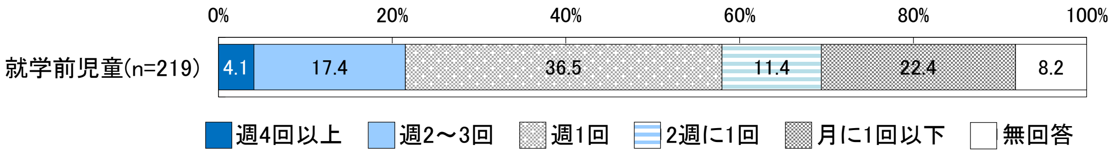
定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況別にみると、地域子育て支援センターを「利用している」と回答した割合は、幼稚園・保育施設等を利用していない層で高くなっている。

【現在の１か月当たりの利用回数】



現在の１か月当たりの利用回数について、『週１回以上』と回答した割合が 48.8%となっている。

【過去の１か月当たりの利用回数】

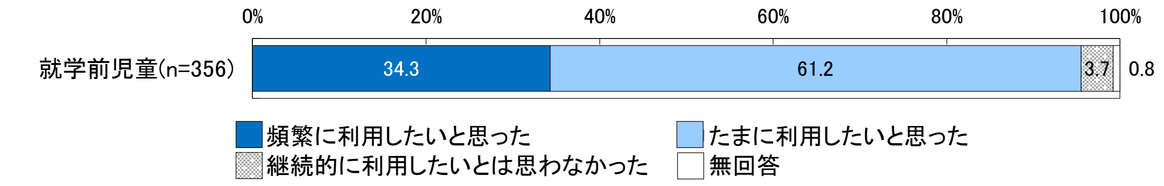


過去の１か月当たりの利用回数について、『週１回以上』と回答した割合が 58.0%となっている。

問 12 で「１　利用している」または「２　利用していた」と回答した人のみ回答

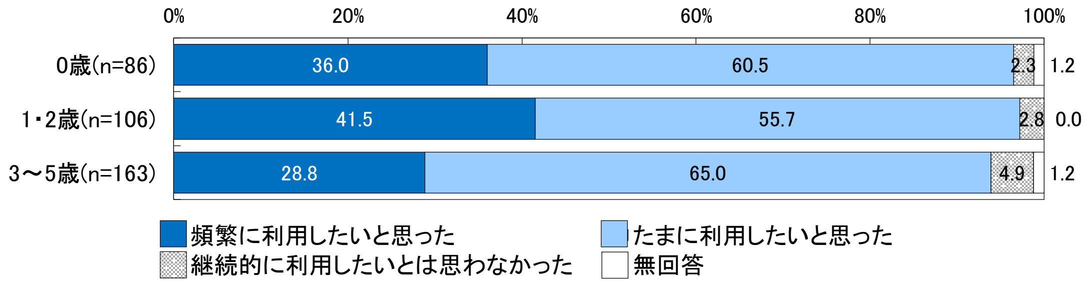
問 12-1　利用してどのように思いましたか。（〇は１つ）

【地域子育て支援センターを利用した感想】



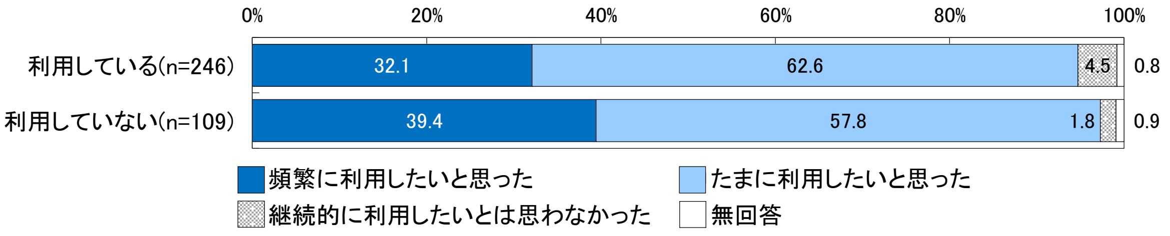
地域子育て支援センターを利用した感想について、「頻繁に利用したいと思った」と回答した割合が 34.3%、「たまに利用したいと思った」と回答した割合が 61.2%、「継続的に利用したいとは思わなかった」と回答した割合が 3.7%となっている。

【地域子育て支援センターを利用した感想（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「頻繁に利用したいと思った」と回答した割合は、１・２歳で高くなっている。

【地域子育て支援センターを利用した感想（定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況別）】

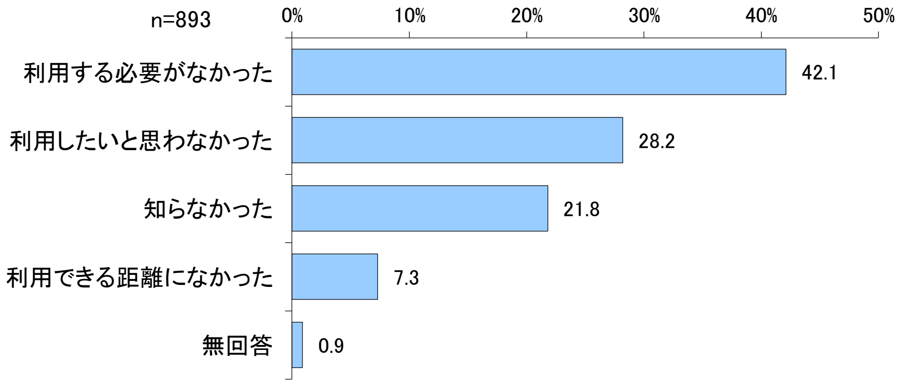


定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況別にみると、「頻繁に利用したいと思った」と回答した割合は、幼稚園・保育施設等を利用していない層で高くなっている。

問 12 で「３　利用していない」と回答した人のみ回答

問 12-2　利用していない理由は何ですか。（○は１つ）

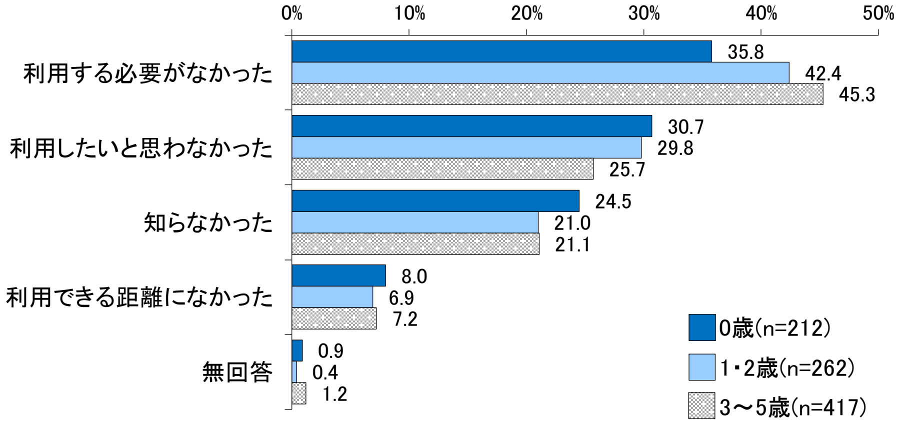
【地域子育て支援センターを利用していない理由】



＊ 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が 100.0%を超える。

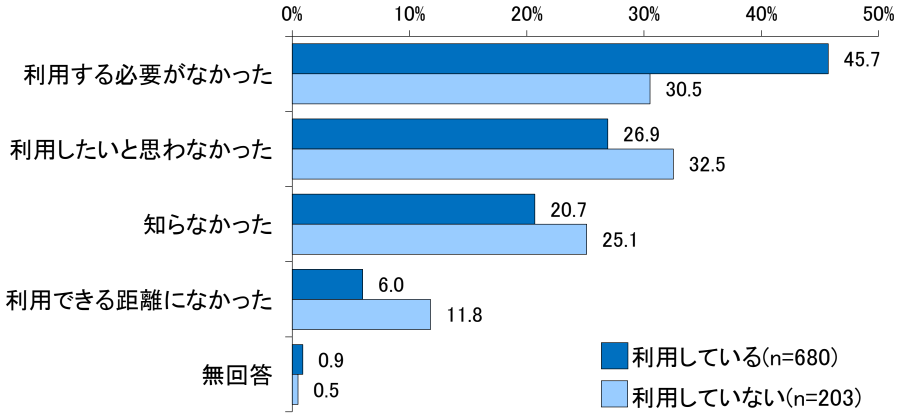
地域子育て支援センターを利用していない理由について、「利用する必要がなかった」と回答した割合が 42.1%と最も高く、「利用したいと思わなかった」（28.2%）、「知らなかった」（21.8%）が続いている。

【地域子育て支援センターを利用していない理由（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「利用する必要がなかった」と回答した割合は、年齢が上がるほど高くなっている。

【地域子育て支援センターを利用していない理由（定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況別）】

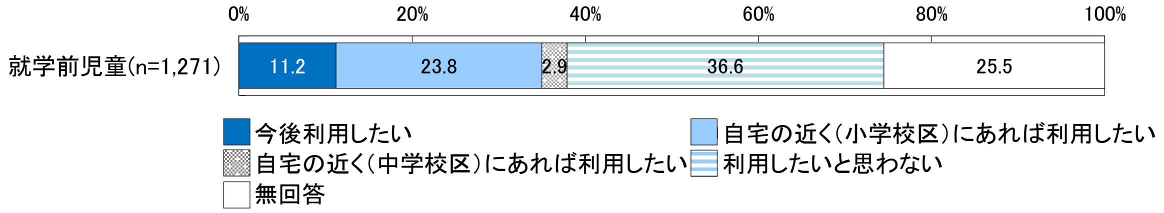


定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況別にみると、「利用する必要がなかった」と回答した割合は、幼稚園・保育施設等を利用している層で、「利用したいと思わなかった」と回答した割合は、幼稚園・保育施設等を利用していない層で高くなっている。

（2）今後の地域子育て支援センターの利用希望

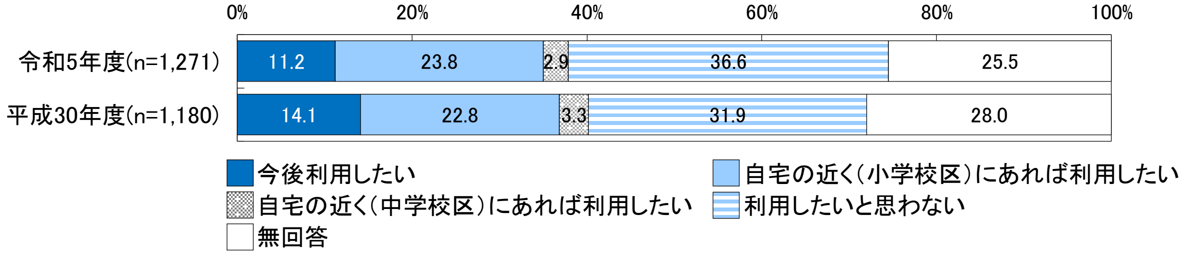
問 13　問 12 のような事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したいと思いますか。（〇は１つ）

【地域子育て支援センターの利用希望】



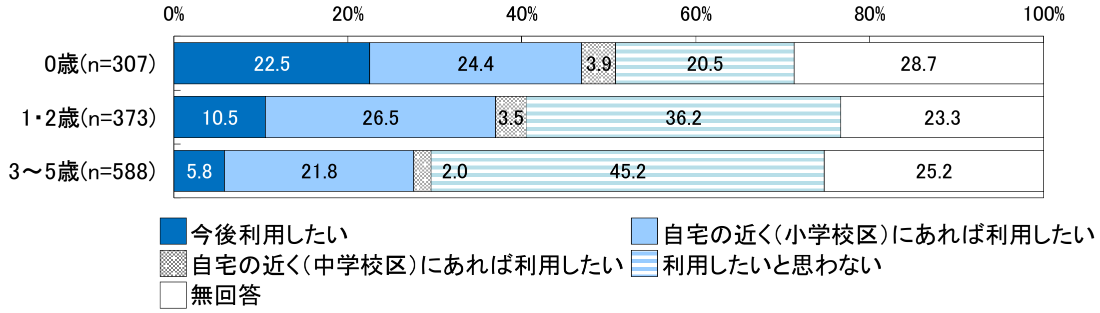
地域子育て支援センターの利用希望について、「今後利用したい」と回答した割合が 11.2%、「自宅の近く（小学校区）にあれば利用したい」と回答した割合が 23.8%、「自宅の近く（中学校区）にあれば利用したい」と回答した割合が 2.9%、「利用したいと思わない」と回答した割合が 36.6%となっている。

【地域子育て支援センターの利用希望（就学前児童・前回調査結果との比較）】



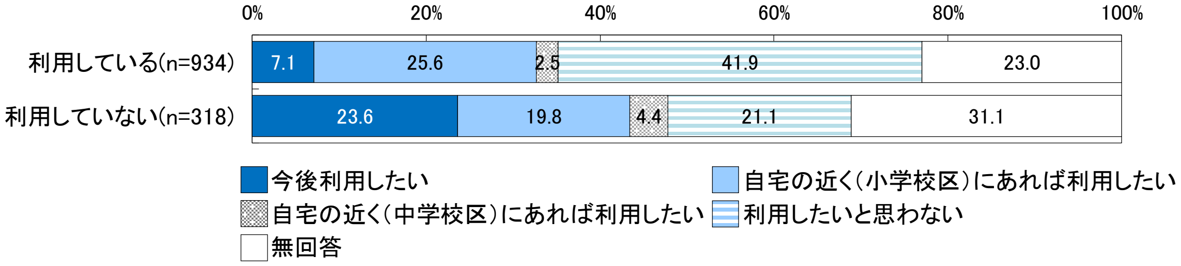
前回調査結果と比較すると、大きな差はみられない。

【地域子育て支援センターの利用希望（就学前児童・年齢別）】



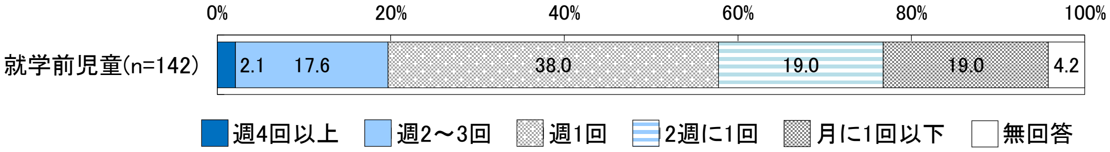
年齢別にみると、「今後利用したい」と回答した割合は、０歳で高くなっている。

【地域子育て支援センターの利用希望（定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況別）】



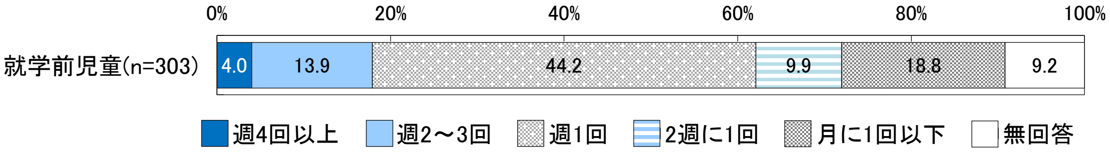
定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況別にみると、「今後利用したい」と回答した割合は、幼稚園・保育施設等を利用していない層で高くなっている。

【地域子育て支援センターの利用希望回数】



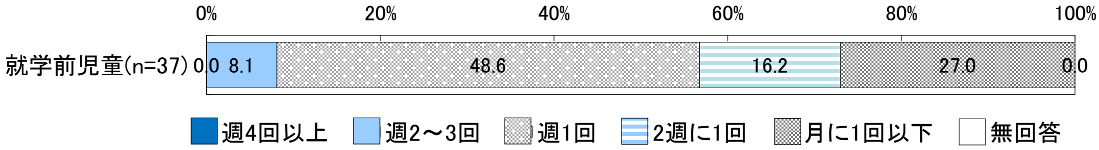
地域子育て支援センターの利用希望回数について、『週１回以上』と回答した割合が 57.7％となっている。

【地域子育て支援センターの利用希望回数（小学校区）】



自宅の近く（小学校区）にあれば利用したい回数について、『週１回以上』と回答した割合が 62.1％となっている。

【地域子育て支援センターの利用希望回数（中学校区）】



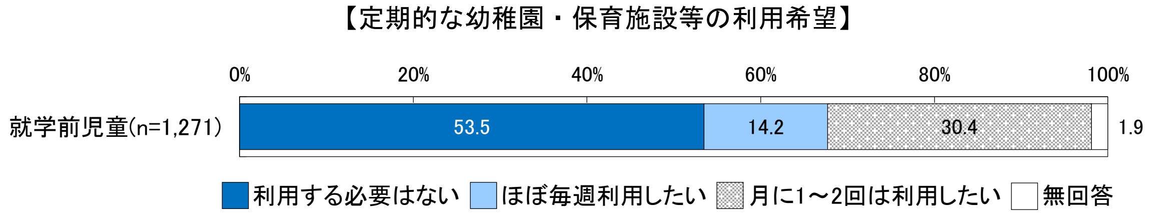
自宅の近く（中学校区）にあれば利用したい回数について、『週１回以上』と回答した割合が 56.7％となっている。

6 土日祝や長期休暇中の定期的な幼稚園･保育施設等の利用希望

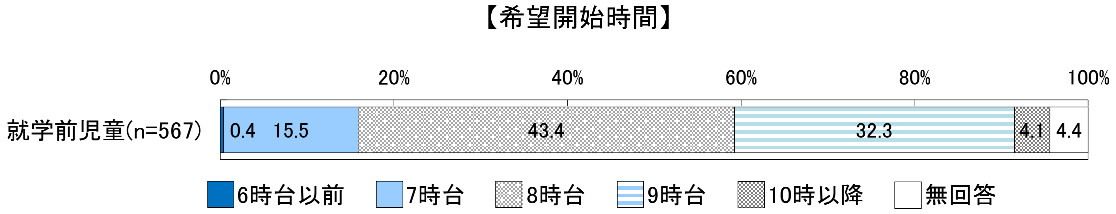
(1) 土日祝の土曜･休日や長期休暇中の定期的な幼稚園･保育施設等の利用希望

問 14　宛名のお子さんについて、土曜と日曜・祝日に、定期的な幼稚園・保育施設等の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○は１つ）

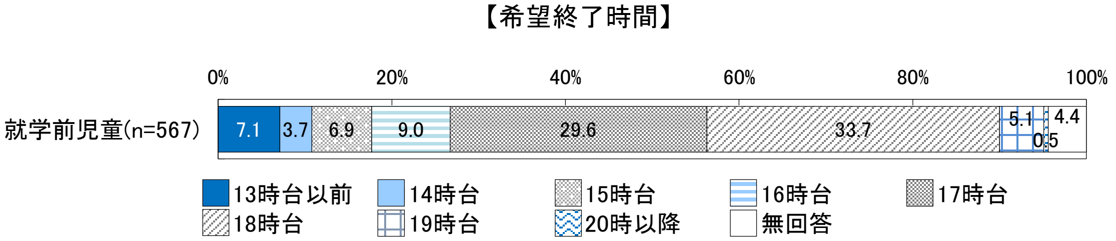
＜土曜日＞



土曜日の定期的な幼稚園・保育施設等の利用希望について、『利用したい』（「ほぼ毎週利用したい」＋「月に１～２回は利用したい」）と回答した割合が 44.6%となっている。

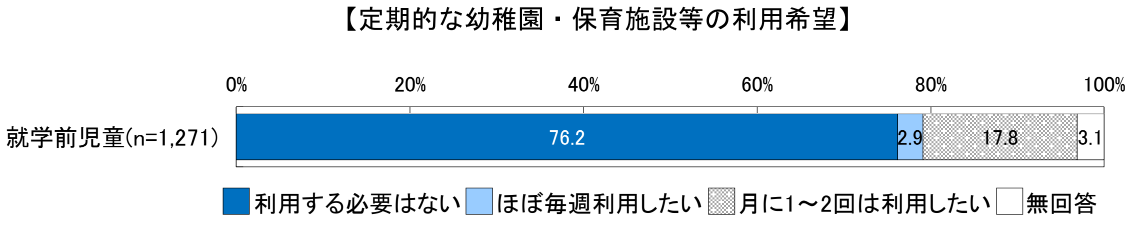


土曜日の希望開始時間について、「８時台」と回答した割合が 43.4%と最も高く、次いで「９時台」（32.3%）となっている。

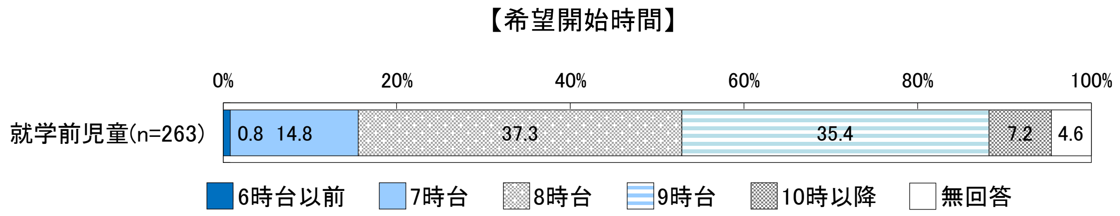


土曜日の希望終了時間について、「18 時台」と回答した割合が 33.7%と最も高く、次いで「17 時台」（29.6%）となっている。

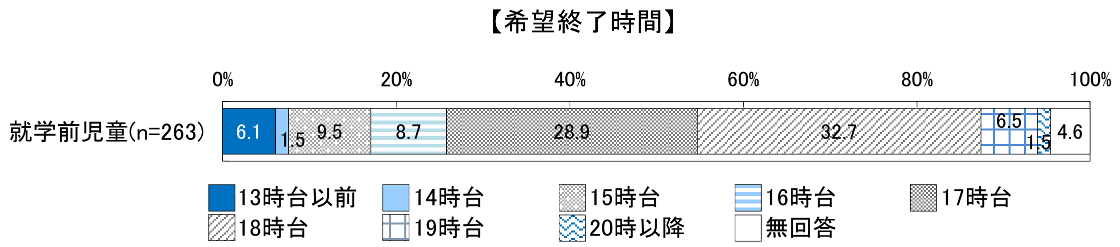
＜日曜・祝日＞



日曜・祝日の定期的な幼稚園・保育施設等の利用希望について、『利用したい』と回答した割合が 20.7%となっている。



日曜・祝日の希望開始時間について、「８時台」と回答した割合が 37.3%と最も高く、次いで「９時台」(35.4%) となっている。

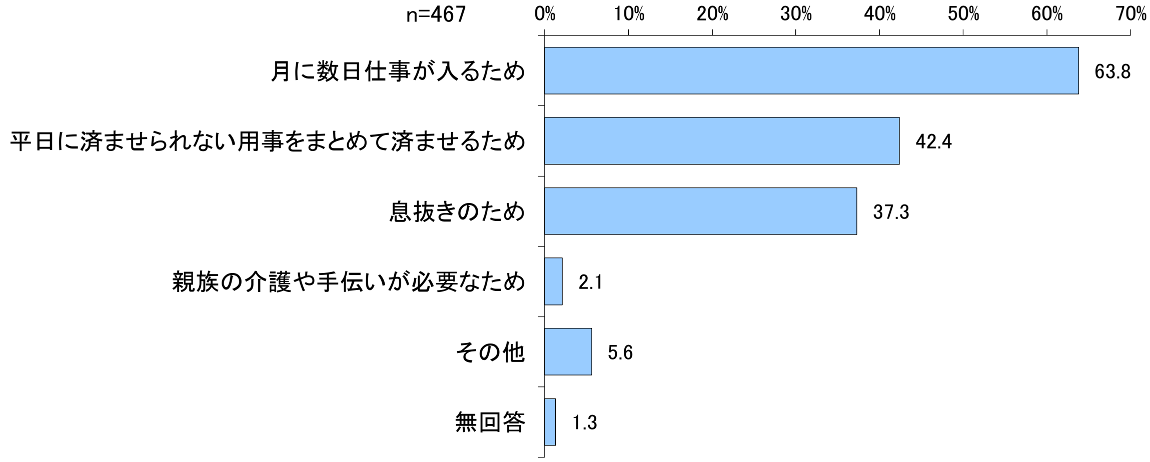


日曜・祝日の希望終了時間について、「18 時台」と回答した割合が 32.7%と最も高く、次いで「17 時台」(28.9%) となっている。

問 14(1)もしくは(2)で「３　月に１～２回は利用したい」と回答した人のみ回答

問 14-1　毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

【土曜日に幼稚園・保育施設等をたまに利用したい理由】



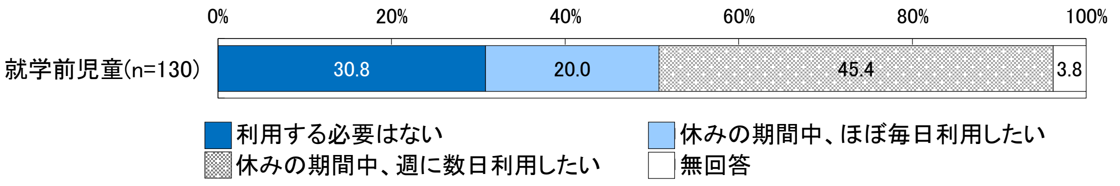
土曜日に幼稚園・保育施設等をたまに利用したい理由について、「月に数日仕事が入るため」と回答した割合が 63.8％と最も高く、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」（42.4％)、「息抜きのため」（37.3％）が続いている。

（2）長期休暇中の幼稚園・保育事業の利用希望

「幼稚園」を利用している人のみ回答

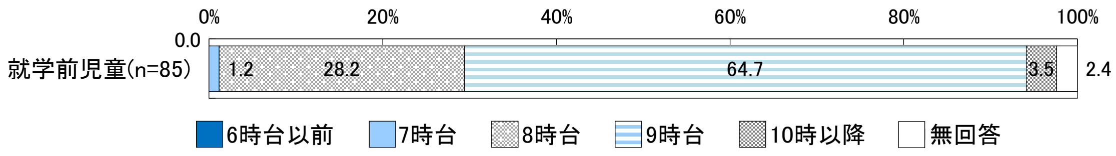
問 15　宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、幼稚園・保育施設等の利用を希望しますか。（○は１つ）

【長期休暇期間中の幼稚園・保育施設等の利用希望】



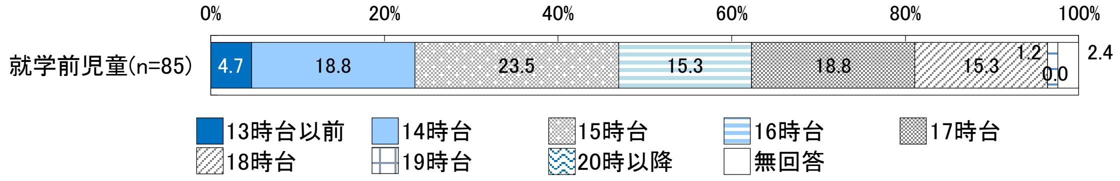
長期休暇期間中の幼稚園・保育施設等の利用希望について、『利用したい』（「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」＋「休みの期間中、週に数日利用したい」）と回答した割合が 65.4％となっている。

【希望開始時間】



長期休暇期間中の希望開始時間について、「９時台」と回答した割合が 64.7％と最も高く、次いで「８時台」（28.2％）となっている。

【希望終了時間】

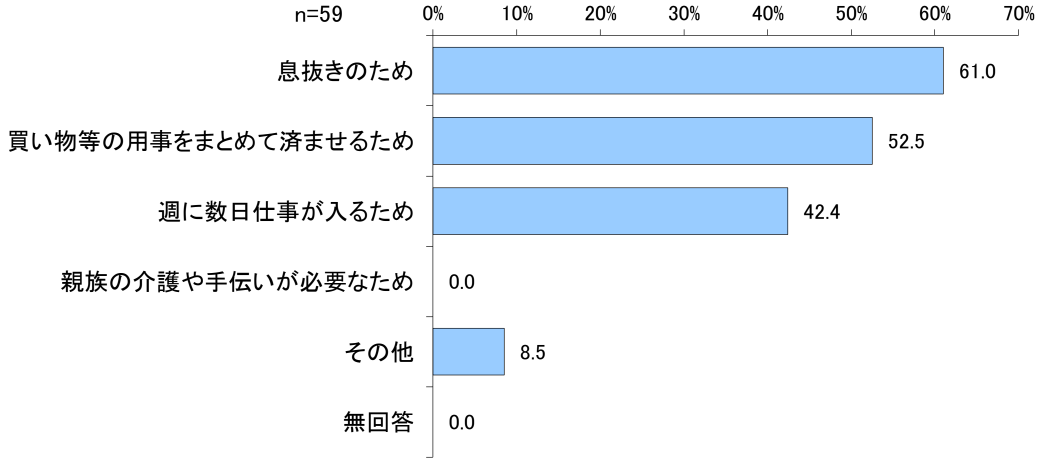


長期休暇期間中の希望終了時間について、「15 時台」と回答した割合が 23.5％と最も高く、次いで「14 時台」、「17 時台」（18.8％）となっている。

問 15 で「３　休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人のみ回答

問 15-1　毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

【長期休暇期間中に幼稚園・保育施設等をたまに利用したい理由】



長期休暇期間中に幼稚園・保育施設等をたまに利用したい理由について、「息抜きのため」と回答した割合が 61.0％と最も高く、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（52.5％）、「週に数日仕事が入るため」（42.4％）が続いている。

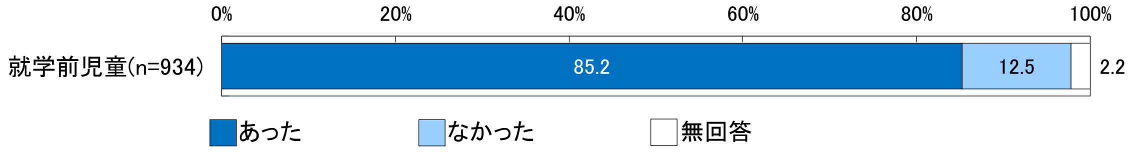
7 病気の際の対応

(1) 病気等により幼稚園･保育施設等を利用できなかった経験

問 10 で定期的に幼稚園・保育施設等を利用していると回答した人のみ回答

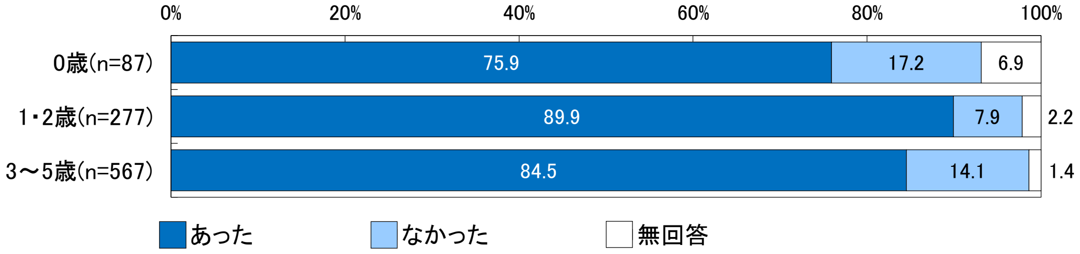
問 16　この１年間に、宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園・保育施設等を利用できなかったことはありますか。（〇は１つ）

【病気やけがで幼稚園・保育施設等を利用できなかった経験の有無】



病気やけがで幼稚園・保育施設等を利用できなかった経験の有無について、「あった」と回答した割合が 85.2%となっている。

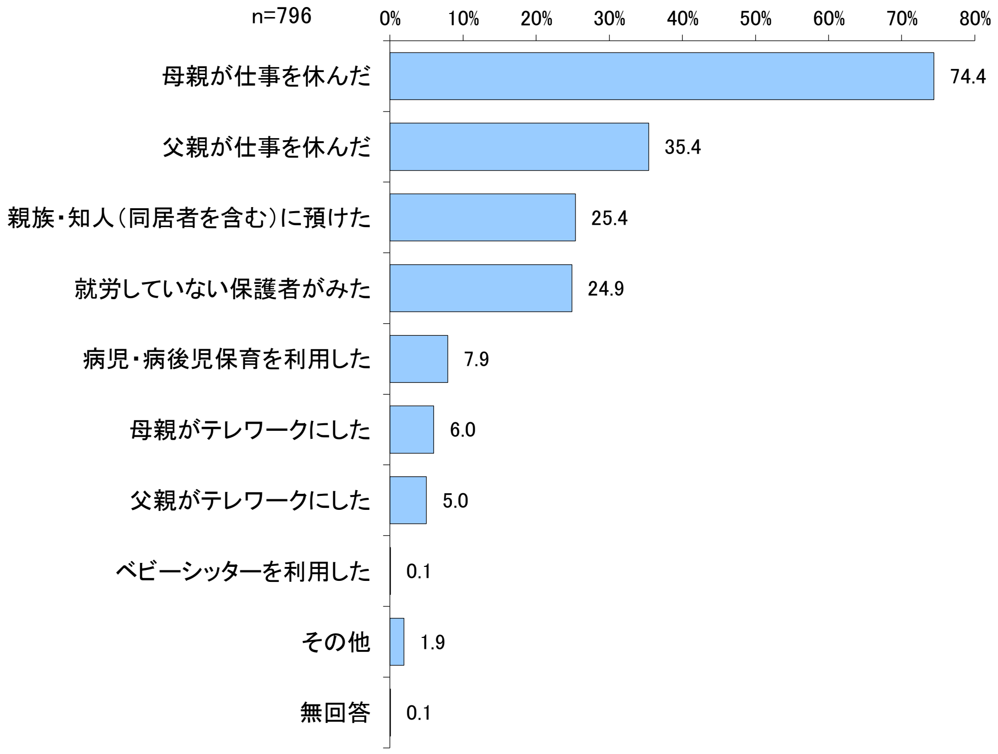
【病気やけがで幼稚園・保育施設等を利用できなかった経験の有無（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「あった」と回答した割合は、１・２歳で高くなっている。

問 16-1　宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している幼稚園・保育施設等を利用できなかった場合に、この１年間はどのように対処しましたか。（○はいくつでも）

【幼稚園・保育施設等を利用できなかった場合の対処法】



幼稚園・保育施設等を利用できなかった場合の対処法について、「母親が仕事を休んだ」と回答した割合が 74.4％と最も高く、「父親が仕事を休んだ」（35.4％）、「親族・知人（同居者を含む）に預けた」（25.4％）、「就労していない保護者がみた」（24.9％）が続いている。

【幼稚園・保育施設等を利用できなかった場合の年間対応日数（平均日数）】

	回答数	平均日数
就労していない保護者がみた	171	13.5
病児・病後児保育を利用した	56	6.0
父親が仕事を休んだ	254	5.0
母親が仕事を休んだ	518	11.2
父親がテレワークにした	35	4.9
母親がテレワークにした	41	10.4
親族・知人（同居者を含む）に預けた	178	10.1
ベビーシッターを利用した	−	−
その他	11	16.1

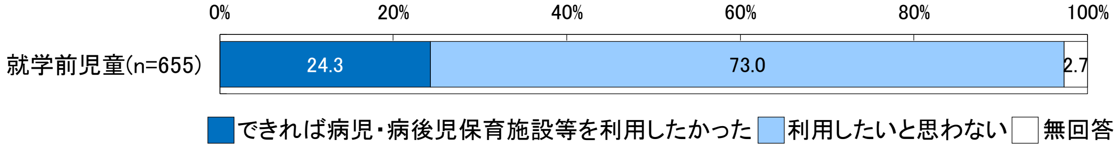
幼稚園・保育施設等を利用できなかった場合の年間対応日数について、「就労していない保護者がみた」の平均日数が 13.5 日、「母親が仕事を休んだ」の平均日数が 11.2 日、「母親がテレワークにした」の平均日数が 10.4 日となっている。

（2）病児･病後児保育施設の利用希望

問 16-1 で「３」から「９」のいずれかを回答した人のみ回答

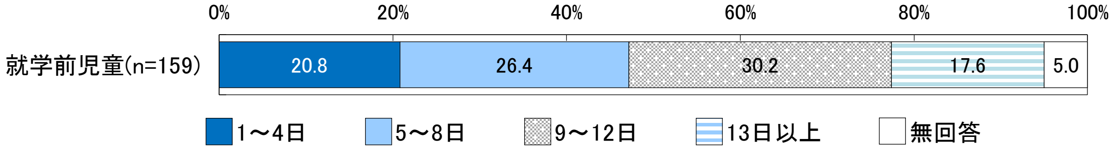
問 16-2　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われましたか。（○は１つ）

【病児・病後児保育施設の利用希望】



病児・病後児保育施設の利用希望について、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」と回答した割合が 24.3%となっている。

【病児・病後児保育施設の利用希望日数/年】

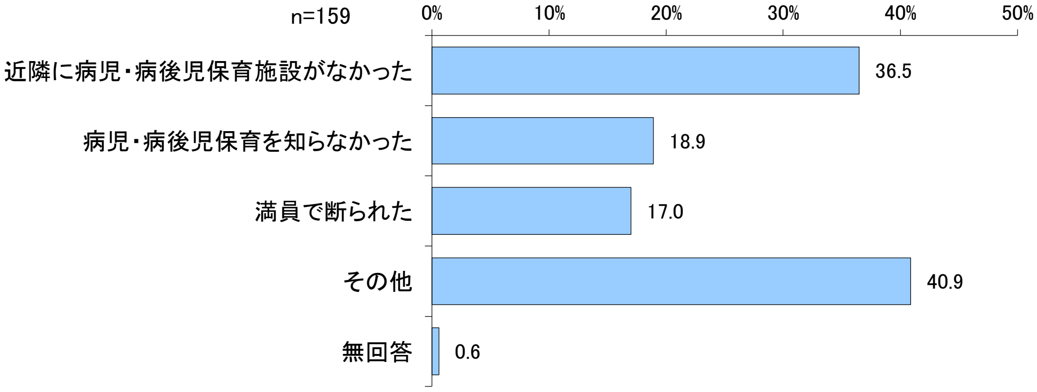


病児・病後児保育施設の年間の利用希望日数について、「９～12 日」と回答した割合が 30.2%と最も高くなっている。

問 16-2 で「１　できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」と回答した人のみ回答

問 16-3　利用することができなかった理由をお聞かせください。（○はいくつでも）

【利用することができなかった理由】

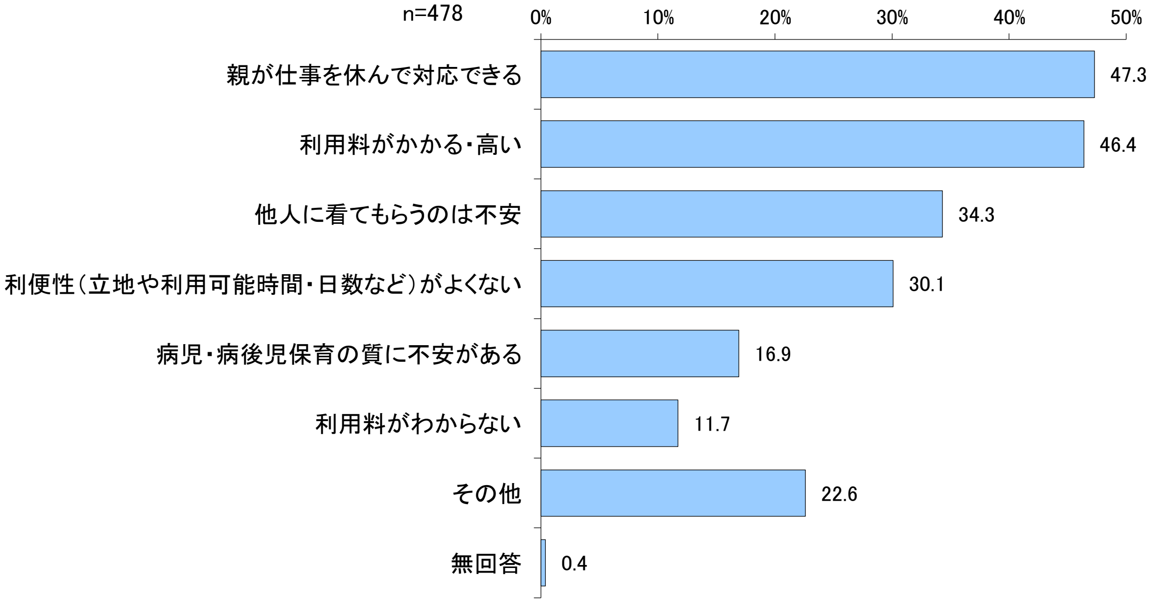


利用することができなかった理由について、「近隣に病児・病後児保育施設がなかった」と回答した割合が 36.5％と最も高く、「病児・病後児保育を知らなかった」（18.9％）、「満員で断られた」（17.0％）が続いている。

問 16-2 で「２　利用したいと思わない」と回答した人のみ回答

問 16-4　利用したいと思わない理由は何ですか。（○はいくつでも）

【病児・病後児保育施設を利用したくない理由】



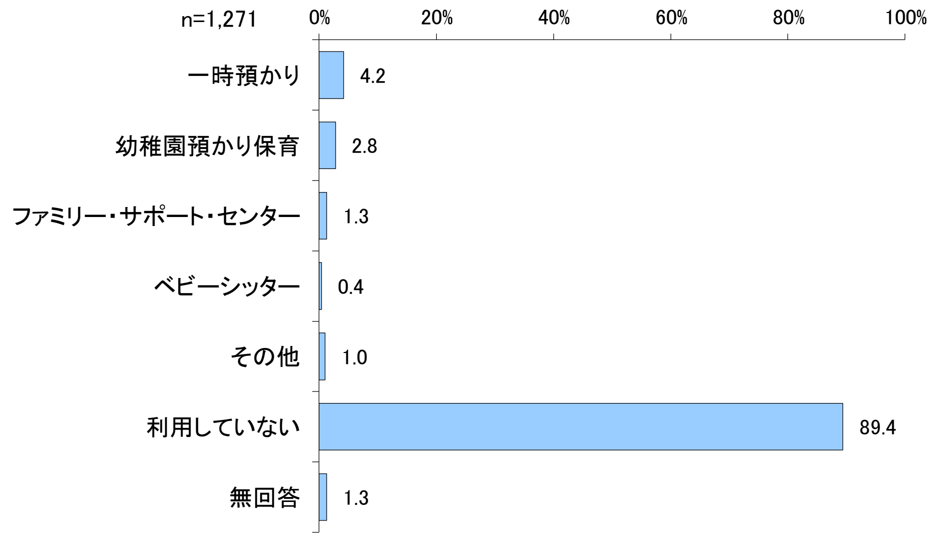
病児・病後児保育施設を利用したくない理由について、「親が仕事を休んで対応できる」と回答した割合が 47.3％と最も高く、「利用料がかかる・高い」（46.4％）、「他人に看てもらうのは不安」（34.3％）、「利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」（30.1％）が続いている。

8 不定期の保育事業

（1）不定期に利用している事業

問 17　宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。（○はいくつでも）

【不定期に利用している事業】



不定期に利用している事業について、「一時預かり」と回答した割合が 4.2%と最も高く、次いで「幼稚園預かり保育」（2.8%）となっている。

また、「利用していない」と回答した割合が 89.4%となっている。

【不定期の事業の年間利用日数（平均日数）】

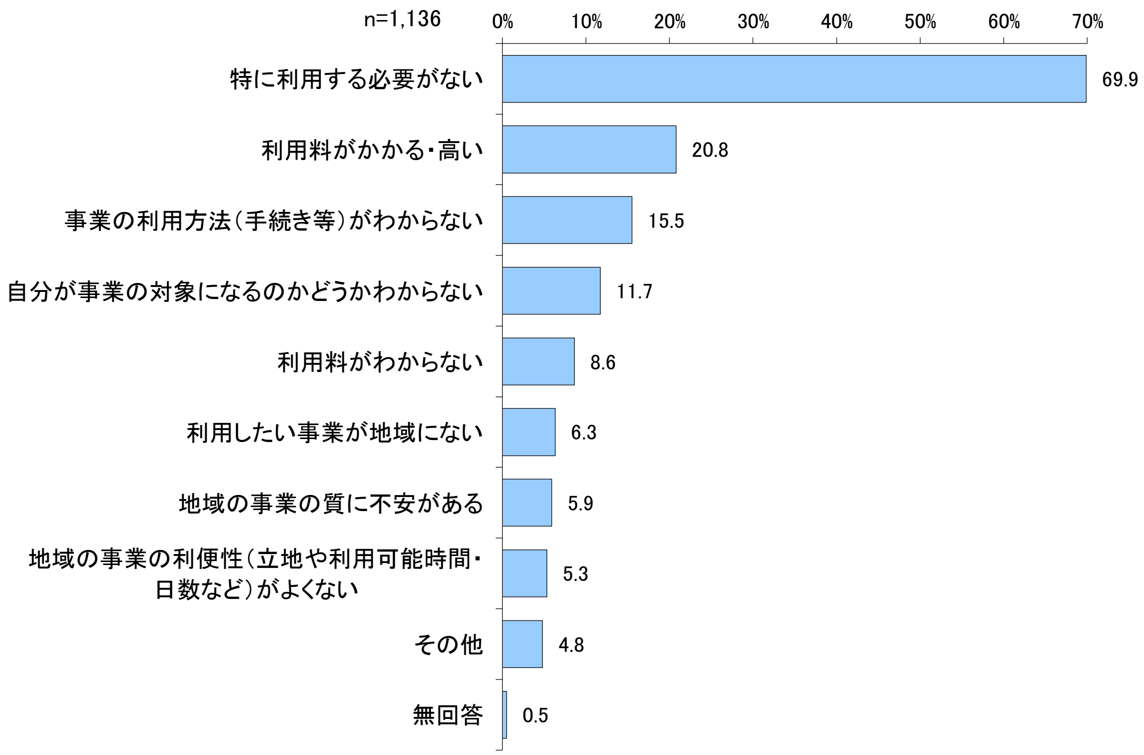
	回答数	平均日数
一時預かり	47	17.8
幼稚園預かり保育	30	49.9
ファミリー・サポート・センター	15	31.3
ベビーシッター	4	9.0
その他	11	18.4

不定期の事業の年間利用日数について、「幼稚園預かり保育」の平均日数が 49.9 日、「ファミリー・サポート・センター」の平均日数が 31.3 日となっている。

問 17 で「６　利用していない」と回答した人のみ回答

問 17-1　現在利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

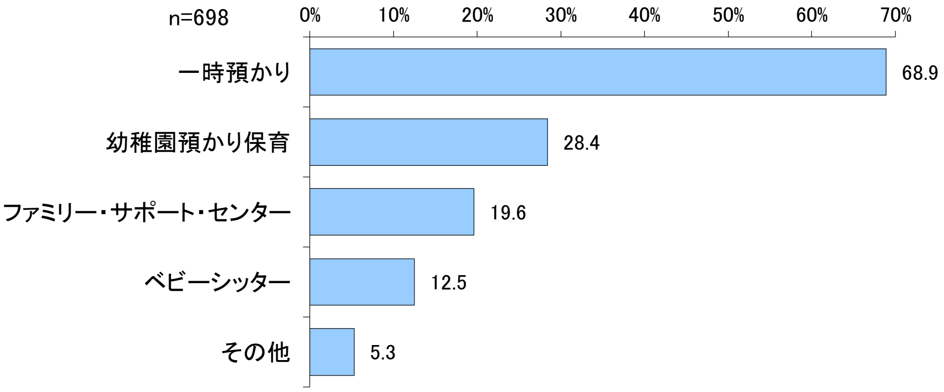
【不定期の事業を利用していない理由】



不定期の事業を利用していない理由について、「特に利用する必要がない」を除くと、「利用料がかかる・高い」（20.8％）、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（15.5％）、「自分が事業の対象になるのかどうかわからない」（11.7％）と回答した割合が上位となっている。

問 17-2　現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、不定期に利用したい事業はありますか。（○はいくつでも）

【不定期に利用したい事業】



不定期に利用したい事業について、「一時預かり」と回答した割合が 68.9%と最も高く、次いで「幼稚園預かり保育」（28.4%）となっている。

【不定期の事業の年間利用希望日数（平均日数）】

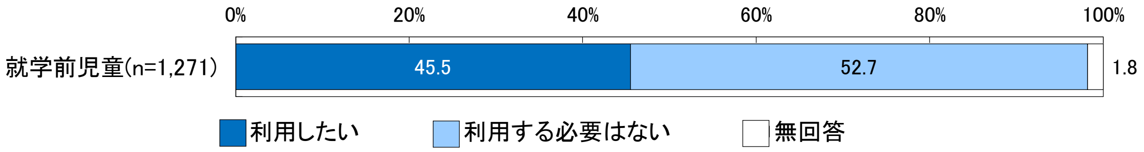
	回答数	平均日数
一時預かり	403	17.3
幼稚園預かり保育	149	50.7
ファミリー・サポート・センター	111	16.5
ベビーシッター	72	13.0
その他	15	6.2

不定期の事業の年間利用希望日数について、「幼稚園預かり保育」の平均日数が 50.7 日、「一時預かり」の平均日数が 17.3 日、「ファミリー・サポート・センター」の平均日数が 16.5 日となっている。

（2）私用等の目的による事業の利用希望

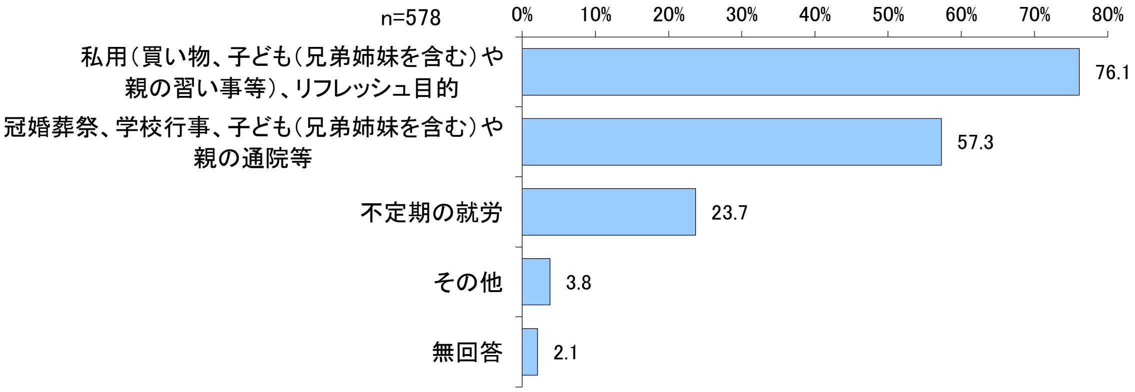
問 18　宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。（○はいくつでも）

【私用等の目的による事業の利用希望】



私用等の目的による事業の利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 45.5%となっている。

【利用したい目的】



利用したい目的について、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」と回答した割合が 76.1%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（57.3%）となっている。

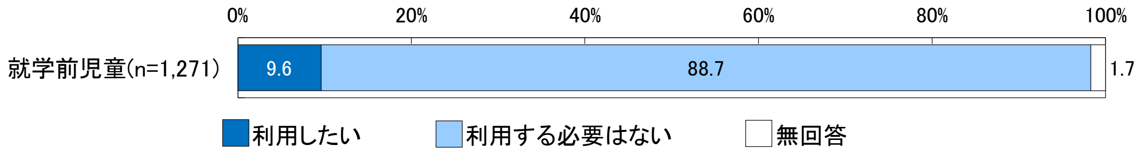
【私用等の目的による事業の年間利用希望日数（平均日数）】

	回答数	平均日数
合計	544	22.9
私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	400	13.5
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	302	8.2
不定期の就労	125	30.7
その他	20	28.3

私用等の目的による事業の年間利用希望日数について、「不定期の就労」の平均日数が 30.7 日、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の平均日数が 13.5 日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の平均日数が 8.2 日となっている。

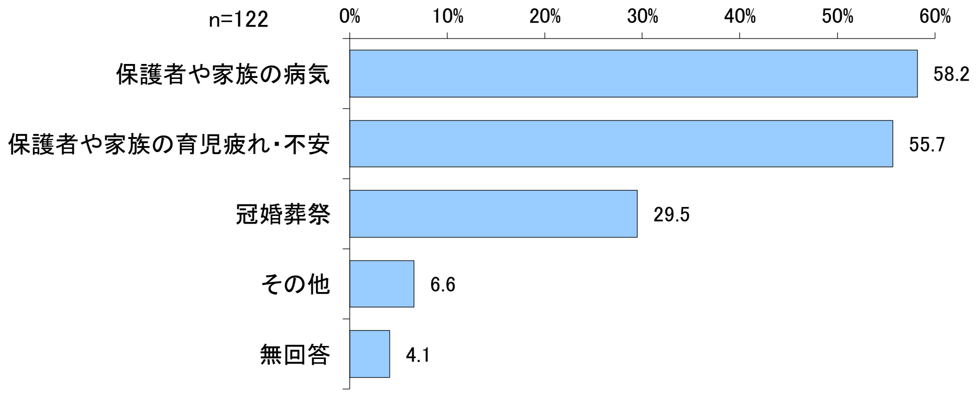
問 19　宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要がある場合、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したいと思いますか。
（〇はいくつでも）

【短期入所生活援助事業の利用希望】



短期入所生活援助事業の利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 9.6%、「利用する必要はない」と回答した割合が 88.7%となっている。

【利用したい目的】



利用したい目的について、「保護者や家族の病気」と回答した割合が 58.2%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」（55.7%）となっている。

【短期入所生活援助事業の年間利用希望泊数（平均泊数）】

	回答数	平均泊数
合計	109	6.0
冠婚葬祭	32	2.2
保護者や家族の育児疲れ・不安	59	5.5
保護者や家族の病気	62	3.8
その他	5	3.2

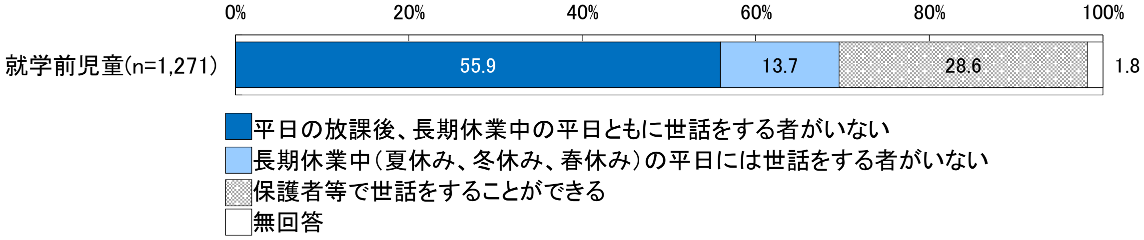
短期入所生活援助事業の年間利用希望泊数について、「保護者や家族の育児疲れ・不安」の平均泊数が 5.5 泊、「保護者や家族の病気」の平均泊数が 3.8 泊となっている。

9 放課後児童クラブ（就学前児童）

（1）子どもの世話をする人の有無

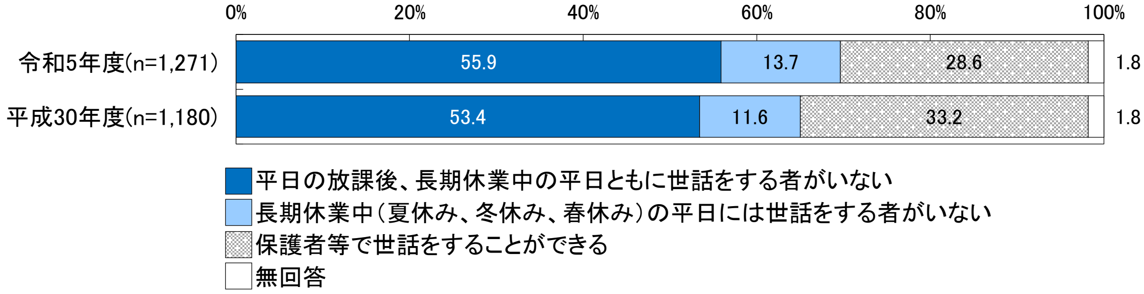
問 20(1)　平日の放課後、学校の長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）の平日に、ご家庭などでお子さんの世話をする方はいらっしゃいますか。（○は１つ）

【平日の放課後、学校の長期休業中の平日に子どもの世話をする人の有無】



平日の放課後、学校の長期休業中の平日に子どもの世話をする人の有無について、「平日の放課後、長期休業中の平日ともに世話をする者がいない」と回答した割合が 55.9％となっている。

【平日の放課後、学校の長期休業中の平日に子どもの世話をする人の有無（前回調査結果との比較）】



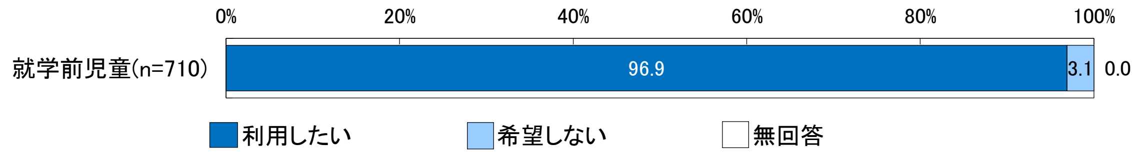
前回調査結果と比較すると、大きな差はみられない。

（2）放課後児童クラブの利用希望

問 20(1)で「１」と回答した人のみ回答

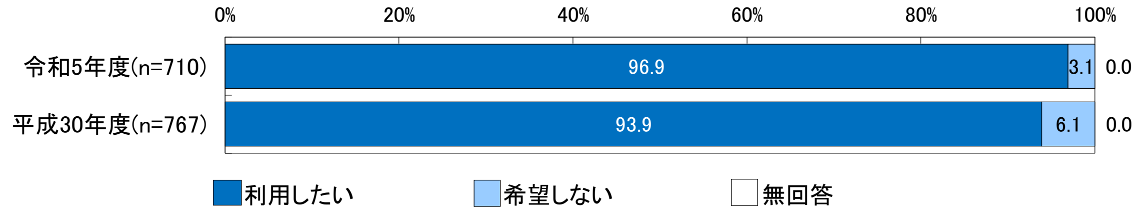
問 20(2)　小学校授業日の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（〇は１つ）

【放課後児童クラブの利用希望（小学校授業日）】



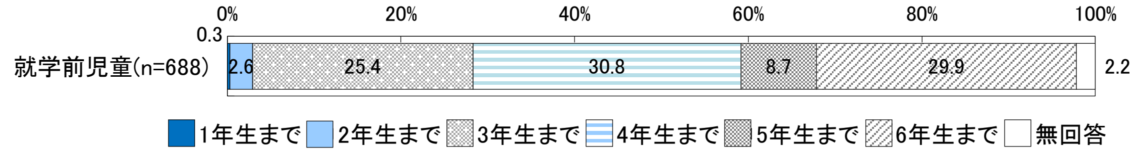
小学校授業日の放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 96.9%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望（小学校授業日）（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、大きな差はみられない。

【利用希望終了学年（小学校授業日）】

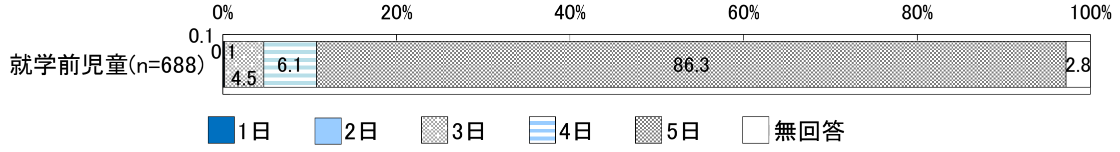


小学校授業日の利用希望終了学年について、「４年生まで」と回答した割合が 30.8%と最も高く、次いで「６年生まで」（29.9%）となっている。

問 20(2)で「１」と回答した人のみ回答

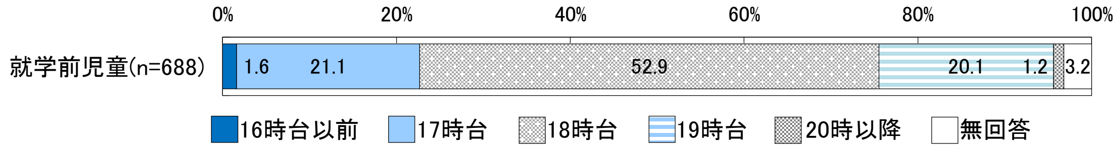
問 20(3)　小学校授業日の利用希望日数と利用したい時間をご記入ください。(数字を記入)

【利用希望日数（小学校授業日）】



小学校授業日の利用希望日数について、「５日」と回答した割合が 86.3%となっている。

【希望終了時間（小学校授業日）】

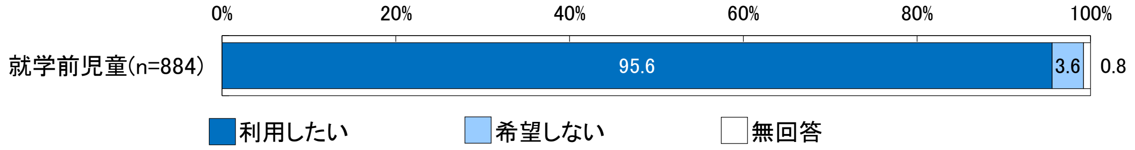


小学校授業日の希望終了時間について、「18 時台」と回答した割合が 52.9%と最も高くなっている。

問 20(1)で「１」または「２」と回答した人のみ回答

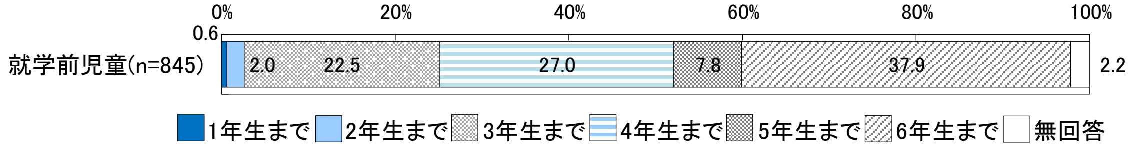
問 20(4)　長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（〇は１つ）

【放課後児童クラブの利用希望（長期休業中）】



長期休業中の放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が95.6％となっている。

【利用希望終了学年（長期休業中）】

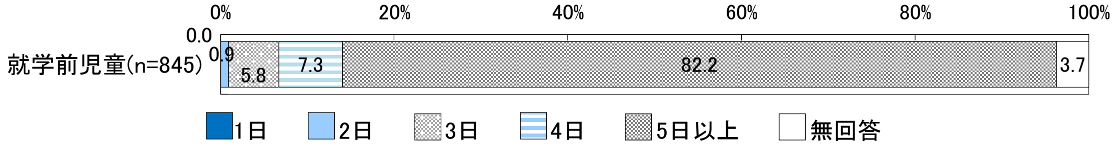


長期休業中の利用希望終了学年について、「６年生まで」と回答した割合が 37.9％と最も高くなっている。

問 20(4)で「１」と回答した人のみ回答

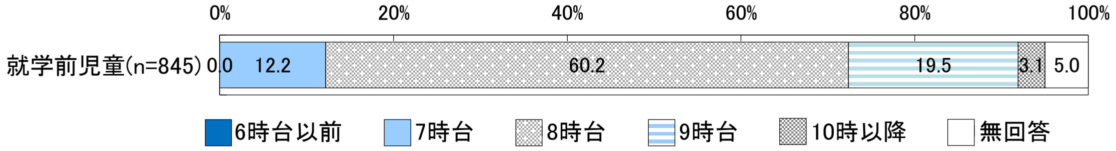
問 20(5)　長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）の利用希望日数と利用したい時間をご記入ください。（数字を記入）

【利用希望日数（長期休業中）】



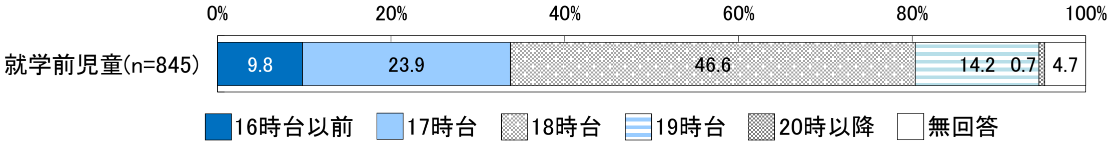
長期休業中の利用希望日数について、「５日以上」と回答した割合が 82.2%となっている。

【希望開始時間（長期休業中）】



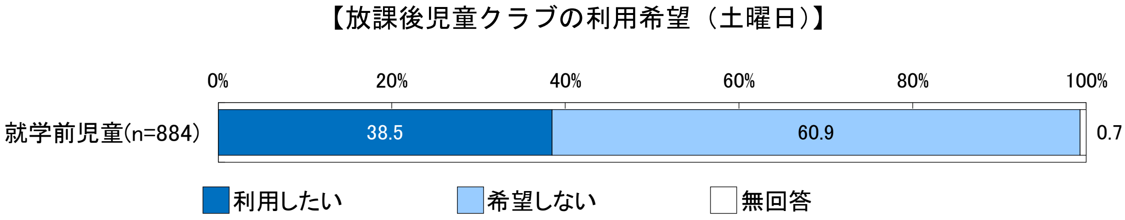
長期休業中の希望開始時間について、「８時台」と回答した割合が 60.2%と最も高くなっている。

【希望終了時間（長期休業中）】

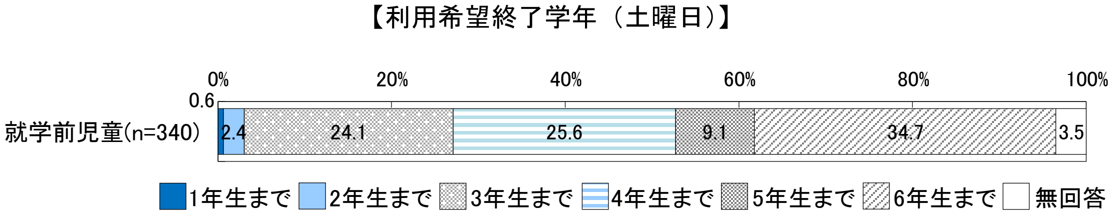


長期休業中の希望終了時間について、「18 時台」と回答した割合が 46.6%と最も高くなっている。

問 20(6)　土曜日の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（○は１つ）



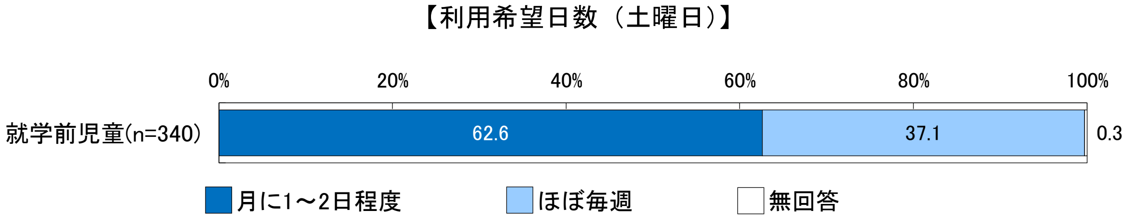
土曜日の放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 38.5％となっている。



土曜日の利用希望終了学年について、「６年生まで」と回答した割合が 34.7％と最も高くなっている。

問 20(6)で「１」と回答した人のみ回答

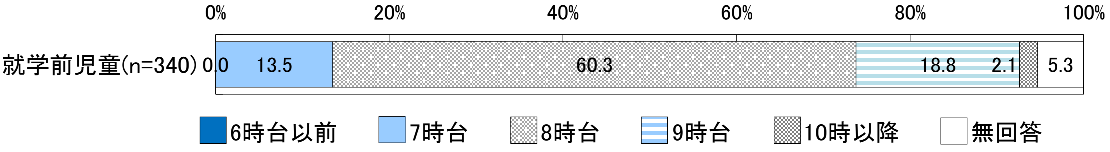
問 20(7)　土曜日の利用希望日数はどのくらいですか。（○は１つ）



土曜日の利用希望日数について、「月に１～２日程度」と回答した割合が 62.6％、「ほぼ毎週」と回答した割合が 37.1％となっている。

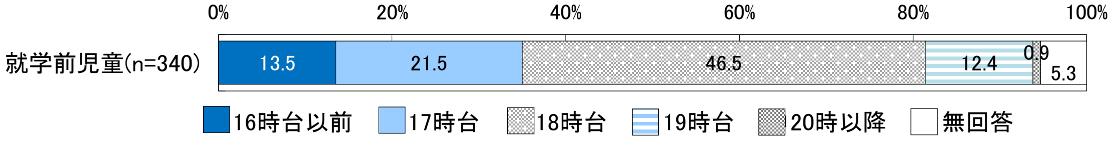
問 20(8)　土曜日の利用したい時間をご記入ください。（数字を記入）

【希望開始時間（土曜日）】



土曜日の希望開始時間について、「８時台」と回答した割合が 60.3％と最も高くなっている。

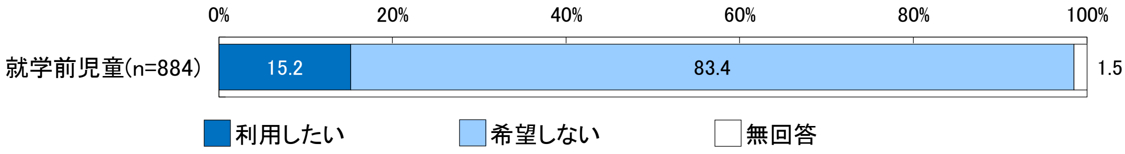
【希望終了時間（土曜日）】



土曜日の希望終了時間について、「18 時台」と回答した割合が 46.5％と最も高くなっている。

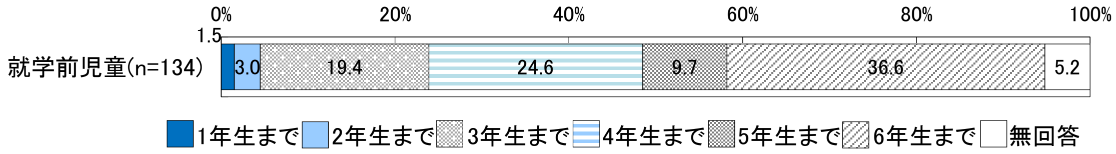
問 20(9)　日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（○は１つ）

【放課後児童クラブの利用希望（日曜・祝日）】



日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 15.2％となっている。

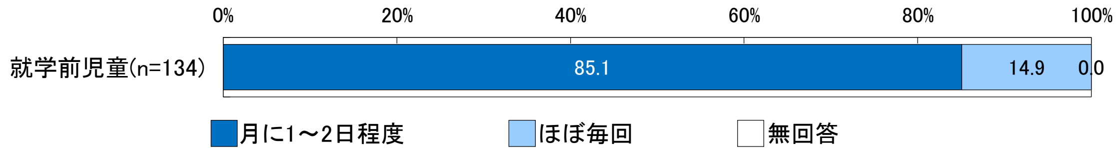
【利用希望終了学年（日曜・祝日）】



日曜・祝日の利用希望終了学年について、「６年生まで」と回答した割合が 36.6％と最も高くなっている。

問 20(10)　日曜・祝日の利用希望日数はどのくらいですか。(○は１つ)

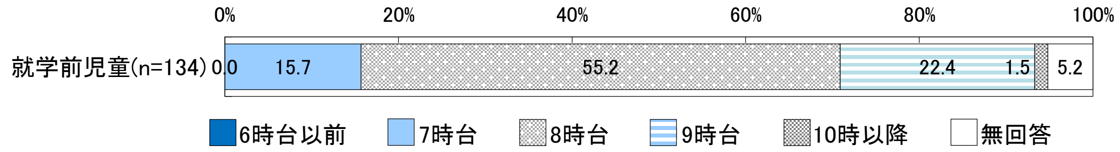
【利用希望日数（日曜・祝日)】



日曜・祝日の利用希望日数について、「月に１～２日程度」と回答した割合が 85.1%、「ほぼ毎回」と回答した割合が 14.9%となっている。

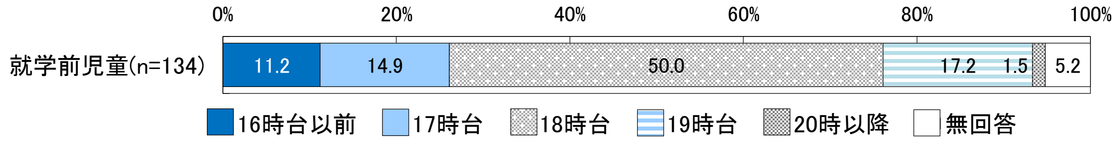
問 20(11)　日曜・祝日の利用したい時間をご記入ください。(数字を記入)

【希望開始時間（日曜・祝日)】



日曜・祝日の希望開始時間について、「８時台」と回答した割合が 55.2%と最も高くなっている。

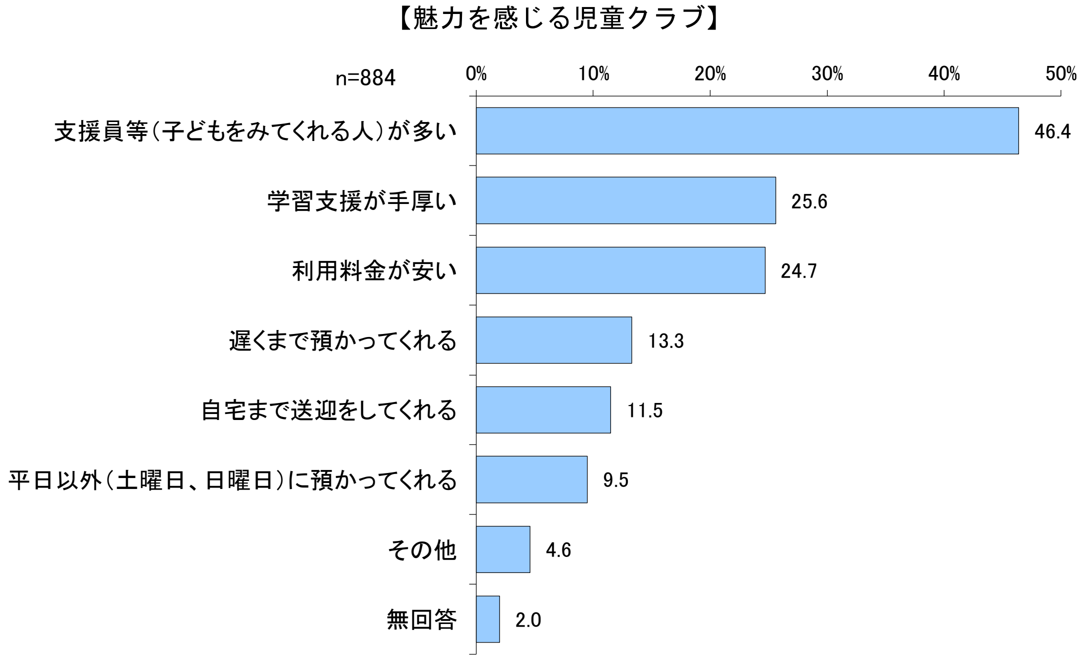
【希望終了時間（日曜・祝日)】



日曜・祝日の希望終了時間について、「18 時台」と回答した割合が 50.0%と最も高くなっている。

(3) 魅力を感じる児童クラブ

問 20(12)　どんな児童クラブに魅力を感じますか。(○は1つ)



＊ 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が 100.0%を超える。

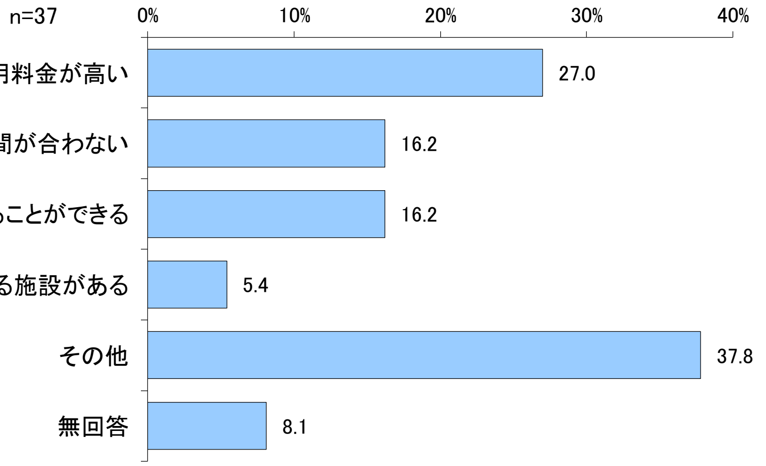
魅力を感じる児童クラブについて、「支援員等（子どもをみてくれる人）が多い」と回答した割合が 46.4%と最も高く、「学習支援が手厚い」（25.6%）、「利用料金が安い」（24.7%）が続いている。

（4）放課後児童クラブを利用したくない理由

問 20(2)または(4)で「２　希望しない」と回答した人のみ回答

問 20(13)　放課後児童クラブの利用を希望しない理由は何ですか。（○は１つ）

【放課後児童クラブを利用したくない理由】



＊ 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が 100.0%を超える。

放課後児童クラブを利用したくない理由について、「利用料金が高い」と回答した割合が27.0％と最も高く、「利用時間が合わない」、「長期休業中以外は世話をすることができる」（16.2％）が続いている。

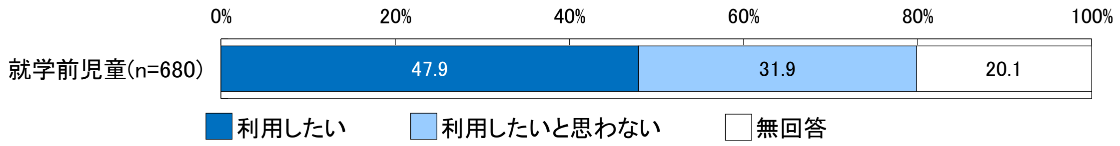
10 「こども誰でも通園制度(仮称)」について

(1)「こども誰でも通園制度(仮称)」の利用意向

宛名のお子さんが０歳から２歳の人のみ回答

問 21　国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」が幼稚園・保育施設等で開始された場合、利用したいと思いますか。（○は１つ）

【「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向】



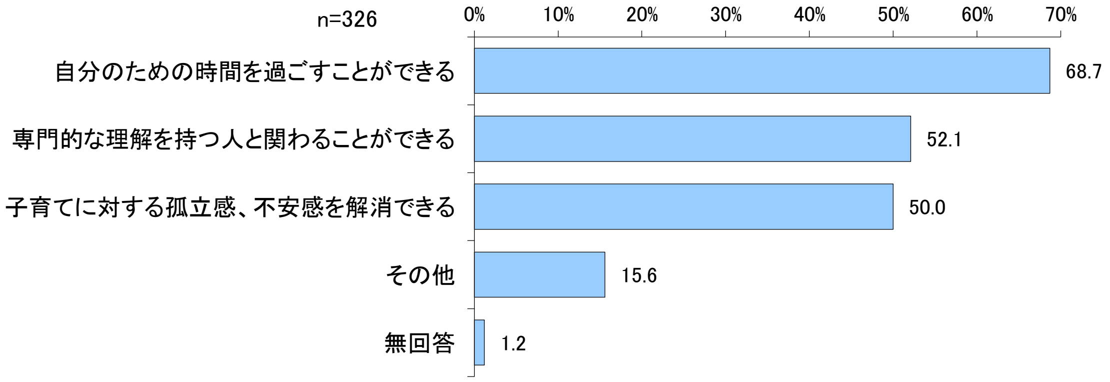
「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向について、「利用したい」と回答した割合が47.9%、「利用したいと思わない」と回答した割合が31.9%となっている。

(2)「こども誰でも通園制度(仮称)」を利用したい理由

問 21 で「１　利用したい」と回答した人のみ回答

問 21-1　利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

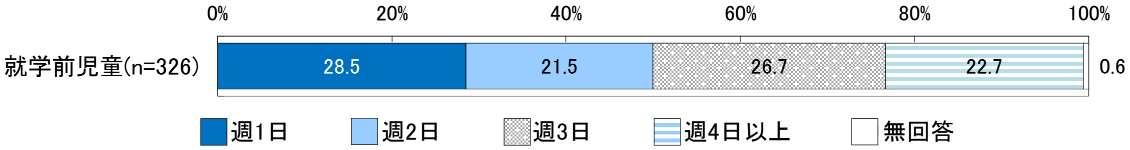
【「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したい理由】



「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したい理由について、「自分のための時間を過ごすことができる」と回答した割合が 68.7%と最も高く、「専門的な理解を持つ人と関わることができる」(52.1%)、「子育てに対する孤立感、不安感を解消できる」(50.0%) が続いている。

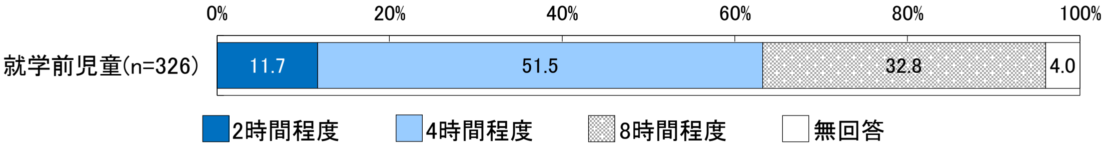
問 21-2　週に何日利用したいですか。また、１日に何時間ぐらい利用したいですか。
（〇はそれぞれ１つ）

【「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望日数】



「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望日数について、「週１日」と回答した割合が28.5％と最も高く、次いで「週３日」（26.7％）となっている。

【「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望時間】



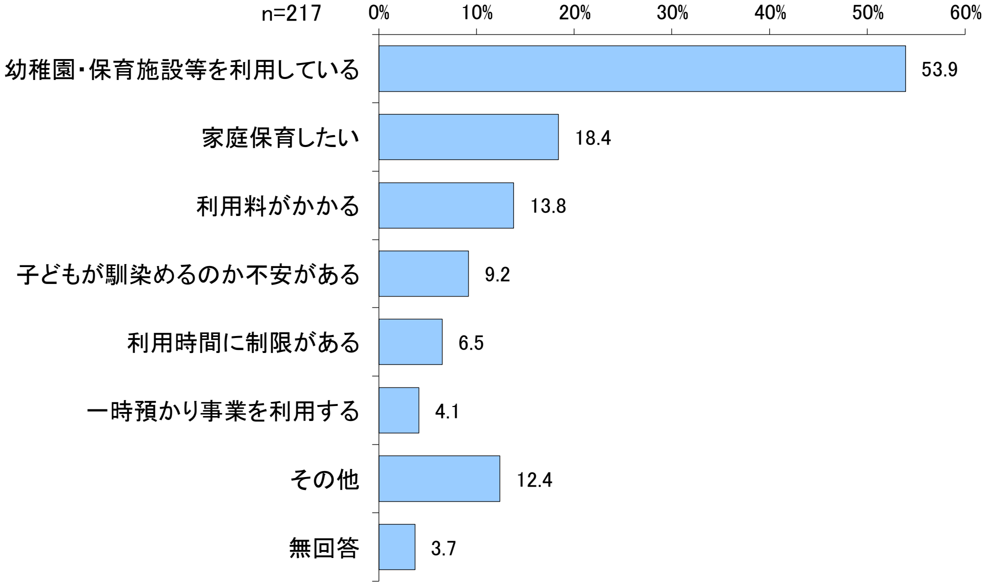
「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用希望時間について、「４時間程度」と回答した割合が 51.5％と最も高くなっている。

（3）「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したいと思わない理由

問 21 で「２　利用したいと思わない」と回答した人のみ回答

問 21-3　利用したいと思わない理由は何ですか。（○はそれぞれ１つ）

【「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したいと思わない理由】



「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したいと思わない理由について、「幼稚園・保育施設等を利用している」と回答した割合が 53.9％と最も高く、「家庭保育したい」（18.4％）、「利用料がかかる」（13.8％）が続いている。

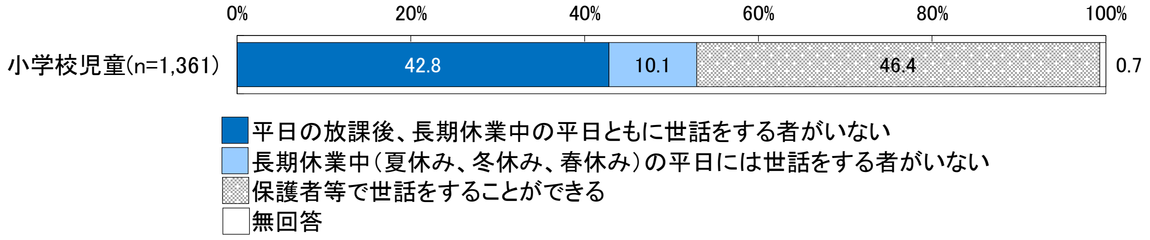
11　放課後児童クラブ（小学校児童）

（1）子どもの世話をする人の有無

宛名の子どもが小学校児童の人のみ回答

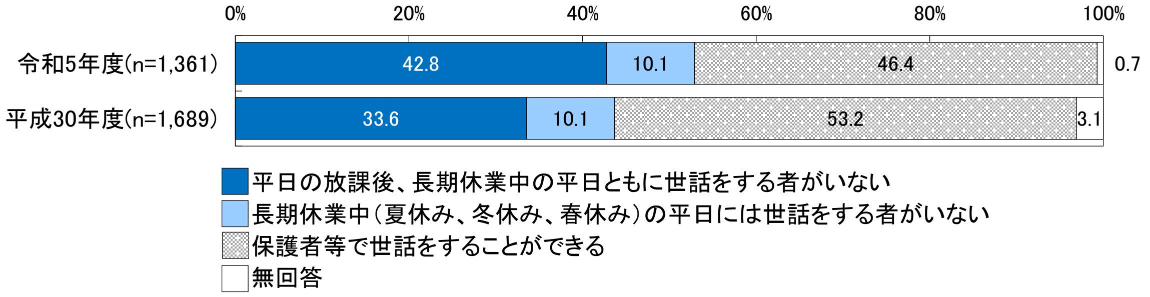
問 22(1)　平日の放課後、学校の長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）の平日に、ご家庭などでお子さんの世話をする方はいらっしゃいますか。（〇は１つ）

【子どもの世話をする人の有無】



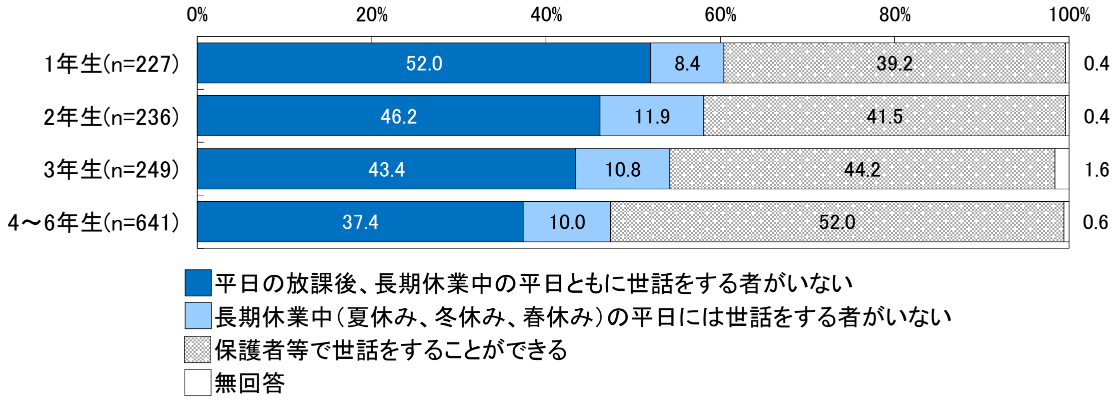
子どもの世話をする人の有無について、「平日の放課後、長期休業中の平日ともに世話をする者がいない」と回答した割合が 42.8%となっている。

【子どもの世話をする人の有無（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、「平日の放課後、長期休業中の平日ともに世話をする者がいない」と回答した割合は、9.2 ポイント上昇している。

【子どもの世話をする人の有無（小学校児童・学年別）】



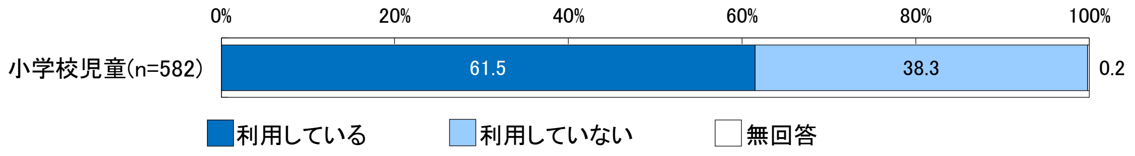
学年別にみると、「平日の放課後、長期休業中の平日ともに世話をする者がいない」と回答した割合は、学年が低いほど高くなっている。

（2）放課後児童クラブの利用状況

問 22（1）で「１」と回答した人のみ回答

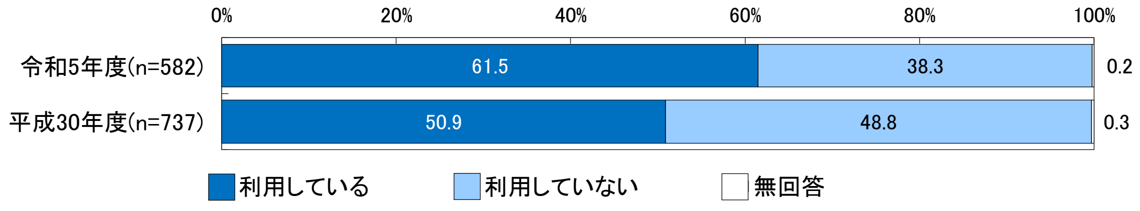
問 22(2)　小学校授業日に放課後児童クラブを利用していますか。（○は１つ）

【放課後児童クラブの利用状況（小学校授業日）】



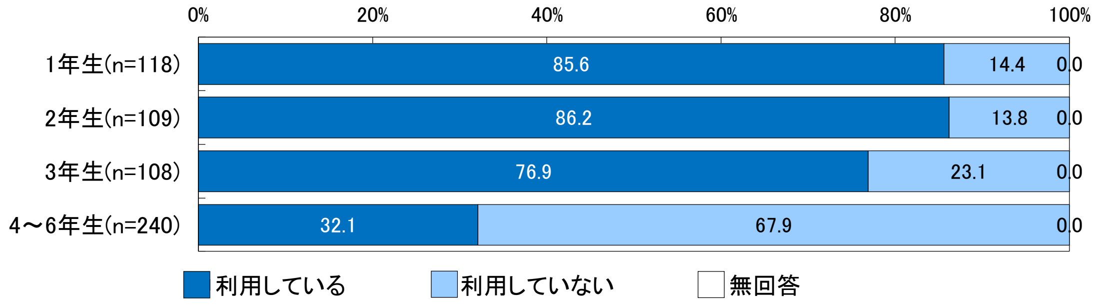
小学校授業日の放課後児童クラブの利用状況について、「利用している」と回答した割合が61.5％となっている。

【放課後児童クラブの利用状況（小学校授業日）（前回調査結果との比較）】



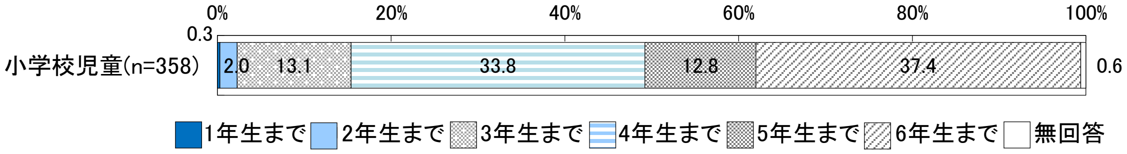
前回調査結果と比較すると、「利用している」と回答した割合は、10.6 ポイント上昇している。

【放課後児童クラブの利用状況（小学校授業日）（小学校児童・学年別）】



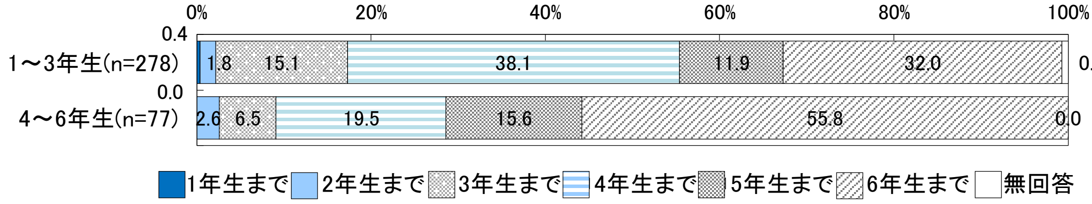
学年別にみると、「利用している」と回答した割合は、１～３年生で高くなっている。

【利用希望終了学年（小学校授業日）】



小学校授業日の利用希望終了学年について、「６年生まで」と回答した割合が 37.4％と最も高く、次いで「４年生まで」（33.8％）となっている。

【利用希望終了学年（小学校授業日）（小学校児童・学年別）】

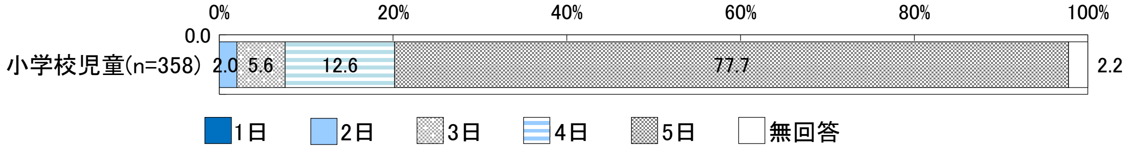


学年別にみると、「６年生まで」と回答した割合は、４～６年生で 55.8％となっている。

問 22（1）で「１」と回答した人のみ回答

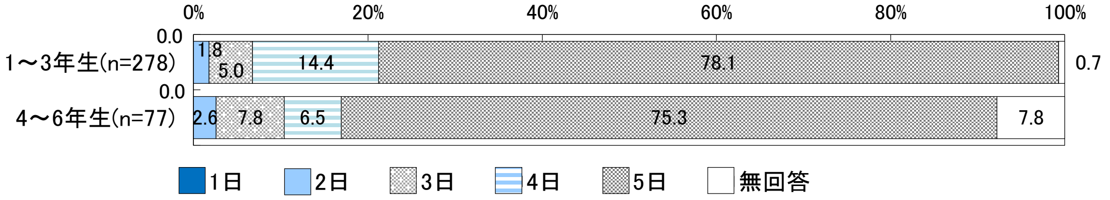
問 22(3)　小学校授業日の利用希望日数と利用したい時間をご記入ください。

【利用希望日数（小学校授業日）】



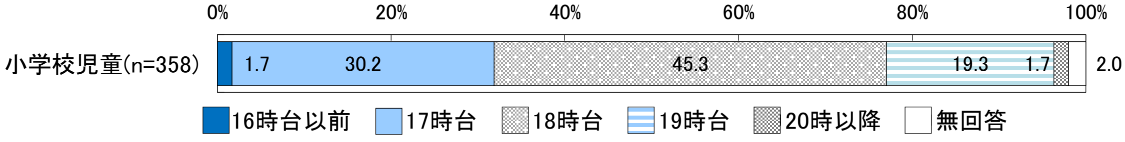
小学校授業日の利用希望日数について、「５日」と回答した割合が 77.7%となっている。

【利用希望日数（小学校授業日）（小学校児童・学年別）】



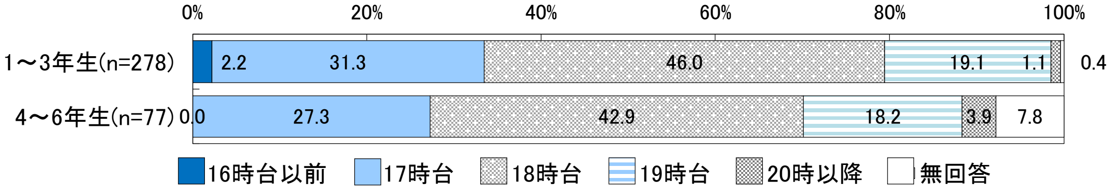
学年別にみると、「５日」と回答した割合は、いずれの学年においても最も高くなっている。

【希望終了時間（小学校授業日）】



小学校授業日の希望終了時間について、「18 時台」と回答した割合が 45.3%と最も高くなっている。

【希望終了時間（小学校授業日）（小学校児童・学年別）】

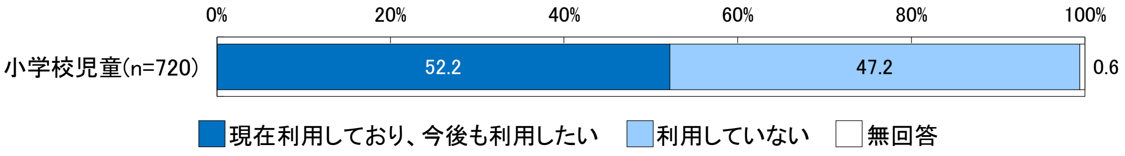


学年別にみると、「18 時台」と回答した割合は、いずれの学年においても最も高くなっている。

問 22（1）で「１」または「２」と回答した人のみ回答

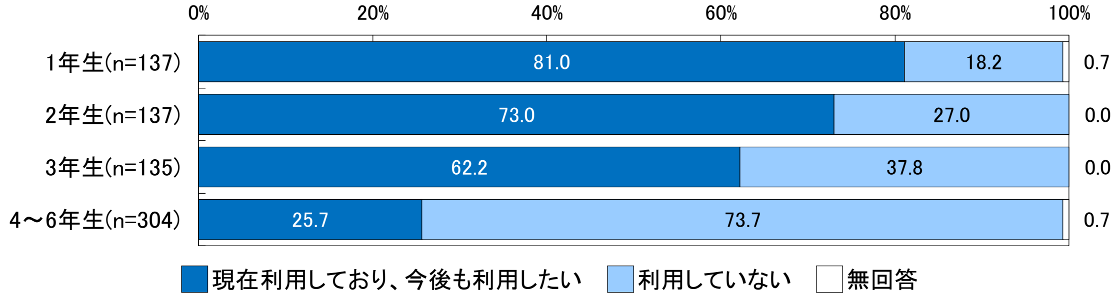
問 22(4)　長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）に放課後児童クラブを利用していますか。（〇は１つ）

【放課後児童クラブの利用状況（長期休業中）】



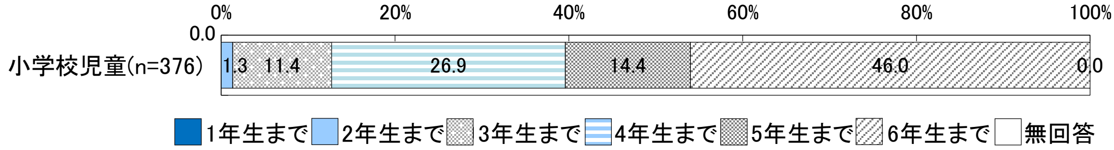
長期休業中の放課後児童クラブの利用状況について、「現在利用しており、今後も利用したい」と回答した割合が 52.2%となっている。

【放課後児童クラブの利用状況（長期休業中）（小学校児童・学年別）】



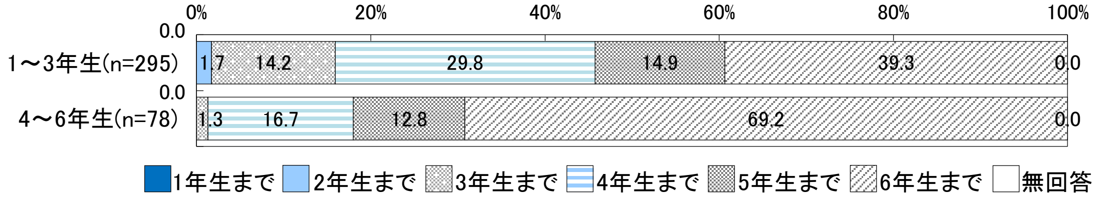
学年別にみると、「現在利用しており、今後も利用したい」と回答した割合は、学年が低いほど高くなっている。

【利用希望終了学年（長期休業中）】



長期休業中の利用希望終了学年について、「６年生まで」と回答した割合が 46.0%と最も高くなっている。

【利用希望終了学年（長期休業中）（小学校児童・学年別）】

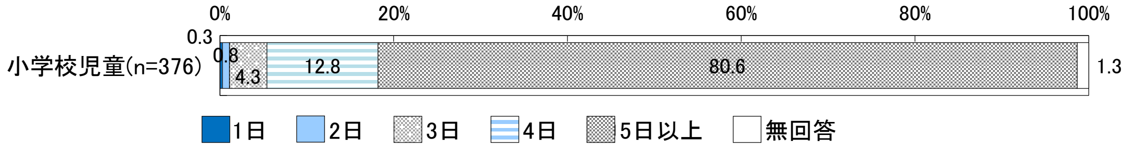


学年別にみると、「６年生まで」と回答した割合は、いずれの学年においても最も高くなっている。

問 22（4）で「１」と回答した人のみ回答

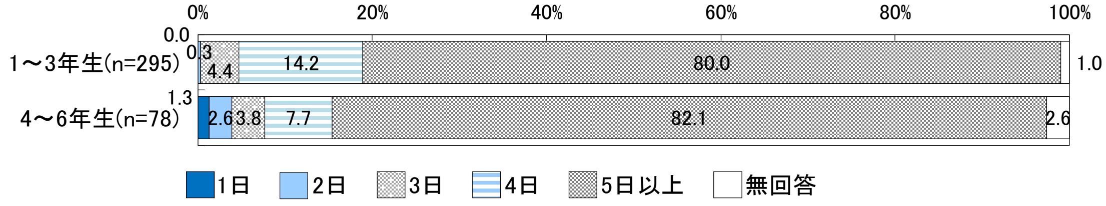
問 22(5)　長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）の利用希望日数と利用したい時間をご記入ください。

【利用希望日数（長期休業中）】



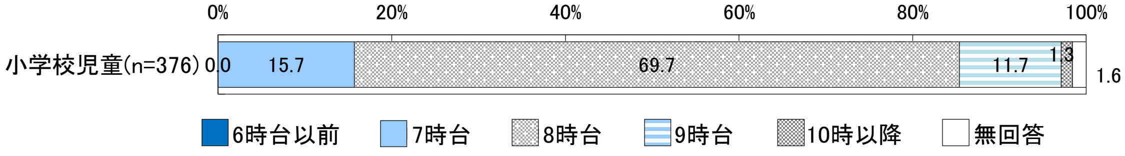
長期休業中の利用希望日数について、「５日以上」と回答した割合が 80.6%となっている。

【利用希望日数（長期休業中）（小学校児童・学年別）】



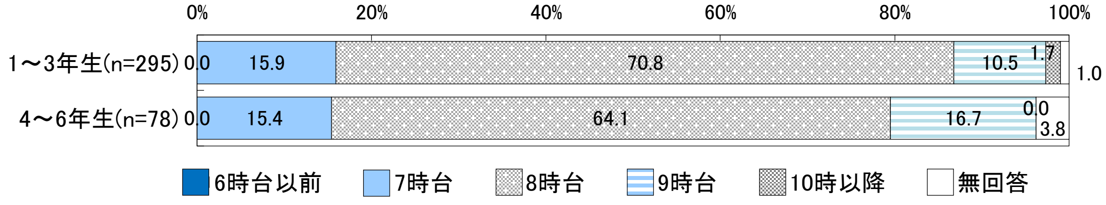
学年別にみると、「５日以上」と回答した割合は、いずれの学年においても最も高くなっている。

【希望開始時間（長期休業中）】



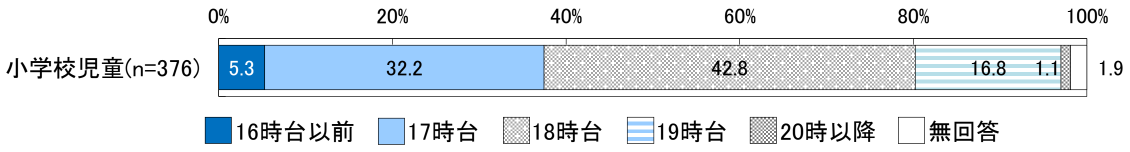
長期休業中の希望開始時間について、「８時台」と回答した割合が 69.7%と最も高くなっている。

【希望開始時間（長期休業中）（小学校児童・学年別）】



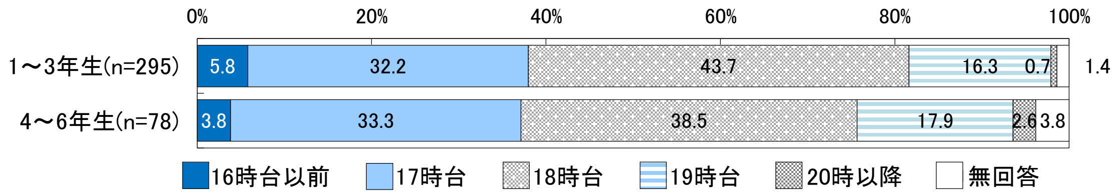
学年別にみると、「８時台」と回答した割合は、いずれの学年においても最も高くなっている。

【希望終了時間（長期休業中）】



長期休業中の希望終了時間について、「18 時台」と回答した割合が 42.8%と最も高くなっている。

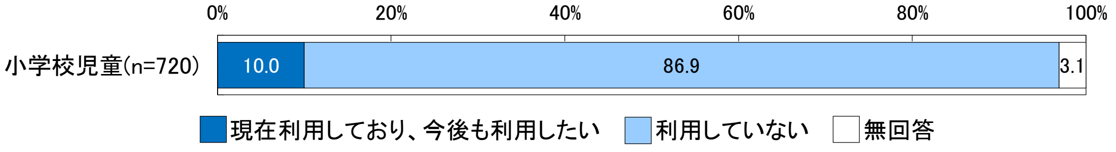
【希望終了時間（長期休業中）（小学校児童・学年別）】



学年別にみると、「18 時台」と回答した割合は、いずれの学年においても最も高くなっている。

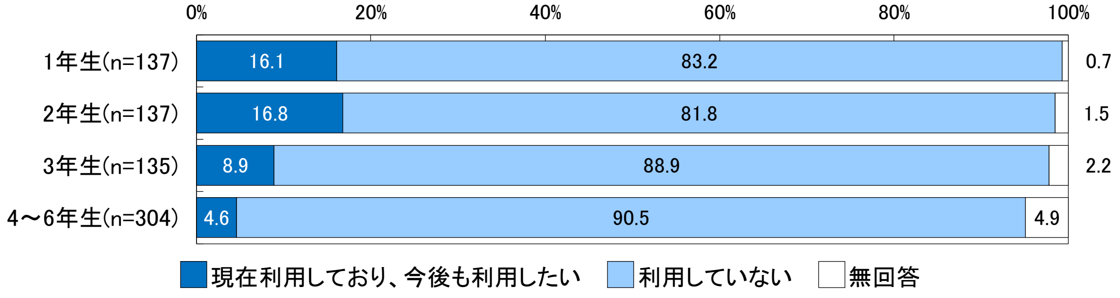
問 22(6)　土曜日の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(○は１つ)

【放課後児童クラブの利用希望（土曜日）】



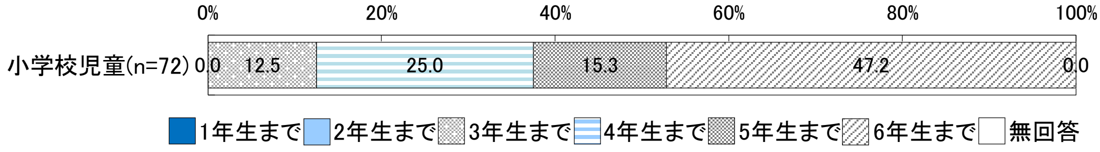
土曜日の放課後児童クラブの利用希望について、「現在利用しており、今後も利用したい」と回答した割合が 10.0%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望（土曜日）（小学校児童・学年別）】



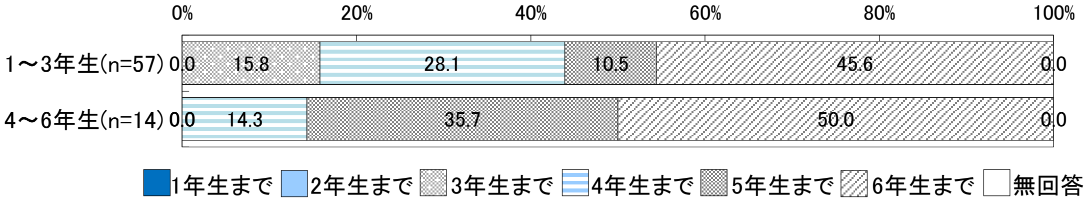
学年別にみると、「現在利用しており、今後も利用したい」と回答した割合は、１～２年生で高くなっている。

【利用希望終了学年（土曜日）】



土曜日の利用希望終了学年について、「６年生まで」と回答した割合が 47.2%と最も高くなっている。

【利用希望終了学年（土曜日）（小学校児童・学年別）】

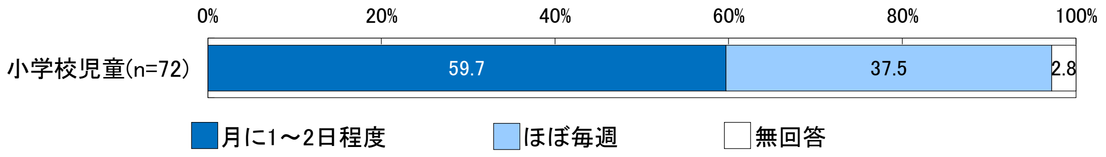


学年別にみると、「６年生まで」と回答した割合は、いずれの学年においても最も高くなっている。

問 22（6）で「１」と回答した人のみ回答

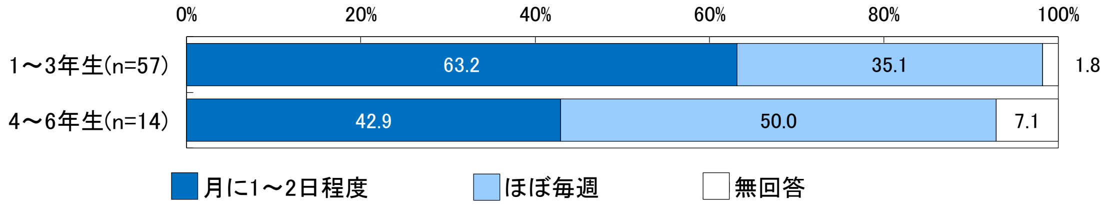
問 22(7)　土曜日の利用希望日数はどのくらいですか。（○は１つ）

【利用希望日数（土曜日）】



土曜日の利用希望日数について、「月に１～２日程度」と回答した割合が 59.7%、「ほぼ毎週」と回答した割合が 37.5%となっている。

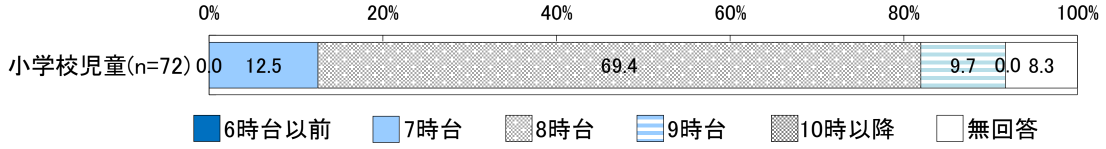
【利用希望日数（土曜日）（小学校児童・学年別）】



学年別にみると、「ほぼ毎週」と回答した割合は、１～３年生で 35.1%、４～６年生で 50.0%となっている。

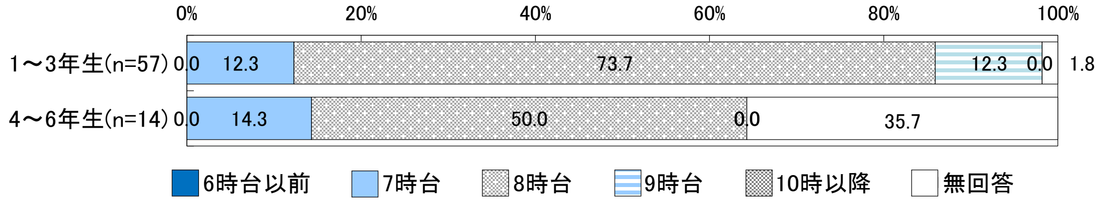
問 22(8)　土曜日の利用したい時間をご記入ください。

【希望開始時間（土曜日）】



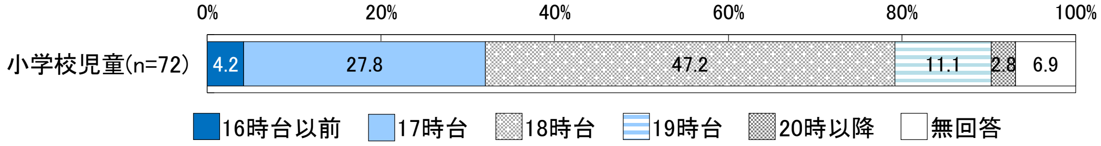
土曜日の希望開始時間について、「８時台」と回答した割合が 69.4%と最も高くなっている。

【希望開始時間（土曜日）（小学校児童・学年別）】



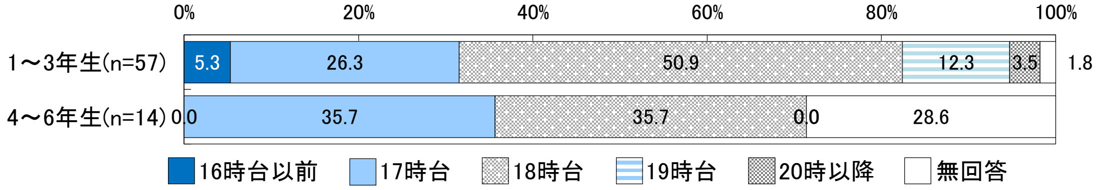
学年別にみると、「８時台」と回答した割合は、いずれの学年においても最も高くなっている。

【希望終了時間（土曜日）】



土曜日の希望終了時間について、「18 時台」と回答した割合が 47.2%と最も高くなっている。

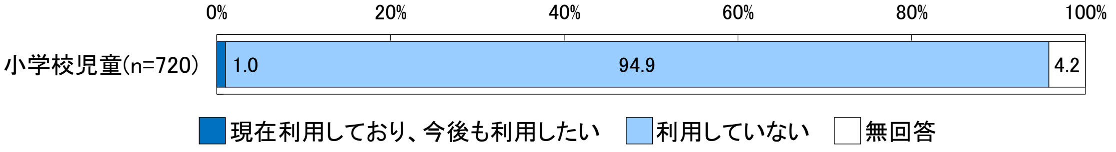
【希望終了時間（土曜日）（小学校児童・学年別）】



学年別にみると、「18 時台」と回答した割合は、いずれの学年においても最も高くなっている。

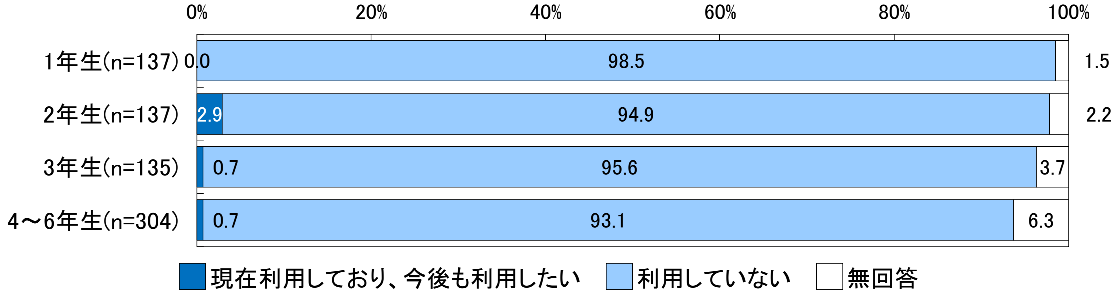
問 22(9)　日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(○は１つ)

【放課後児童クラブの利用希望（日曜・祝日)】



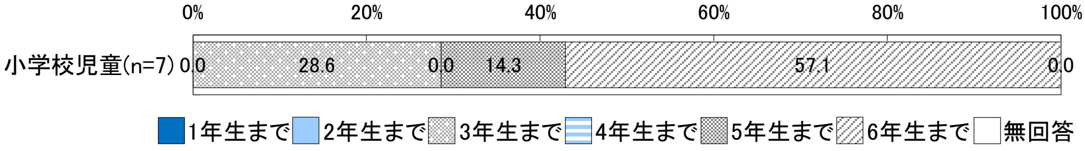
日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望について、「現在利用しており、今後も利用したい」と回答した割合が 1.0％となっている。

【放課後児童クラブの利用希望（日曜・祝日)（小学校児童・学年別)】



学年別にみると、大きな差はみられない。

【利用希望終了学年（日曜・祝日)】

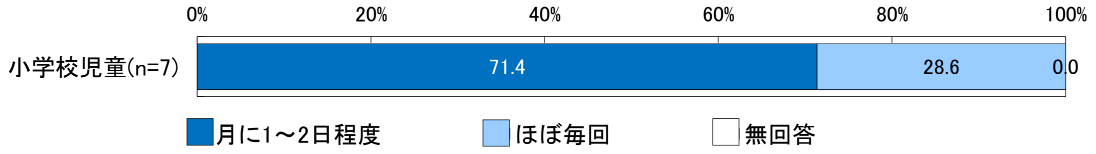


日曜・祝日の利用希望終了学年について、「６年生まで」と回答した割合が 57.1％と最も高くなっている。

問 22（9）で「１」と回答した人のみ回答

問 22(10)　日曜・祝日の利用希望日数はどのくらいですか。（○は１つ）

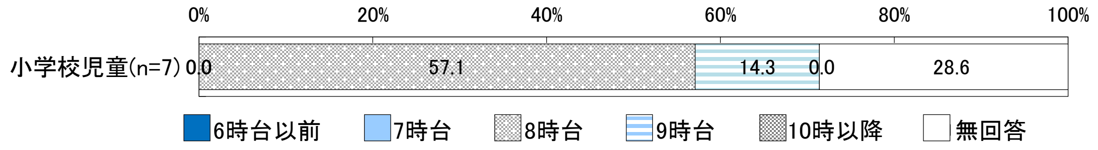
【利用希望日数（日曜・祝日）】



日曜・祝日の利用希望日数について、「月に１～２日程度」と回答した割合が 71.4%となっている。

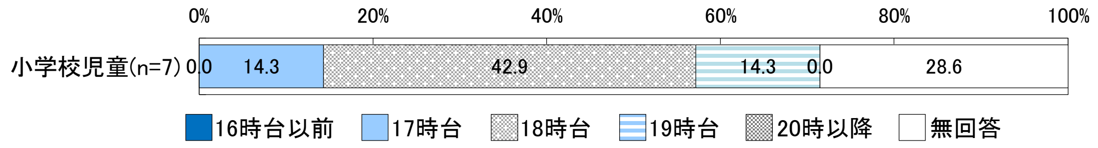
問 22(11)　日曜・祝日の利用したい時間をご記入ください。

【希望開始時間（日曜・祝日）】



日曜・祝日の希望開始時間について、「７時台」と回答した割合が 57.1%と最も高くなっている。

【希望終了時間（日曜・祝日）】

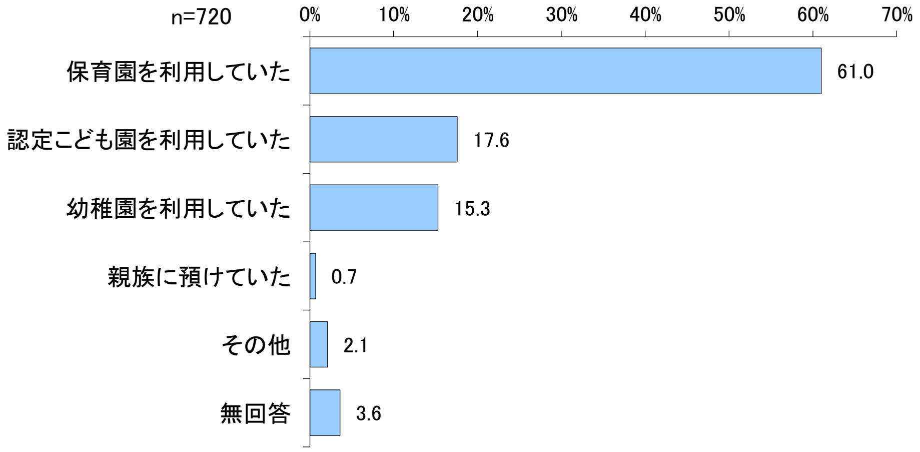


日曜・祝日の希望終了時間について、「18 時台」と回答した割合が 42.9%と最も高くなっている。

（3）小学校入学前の状況

問 22（12）　小学校入学前はどのように過ごしていましたか。（○は１つ）

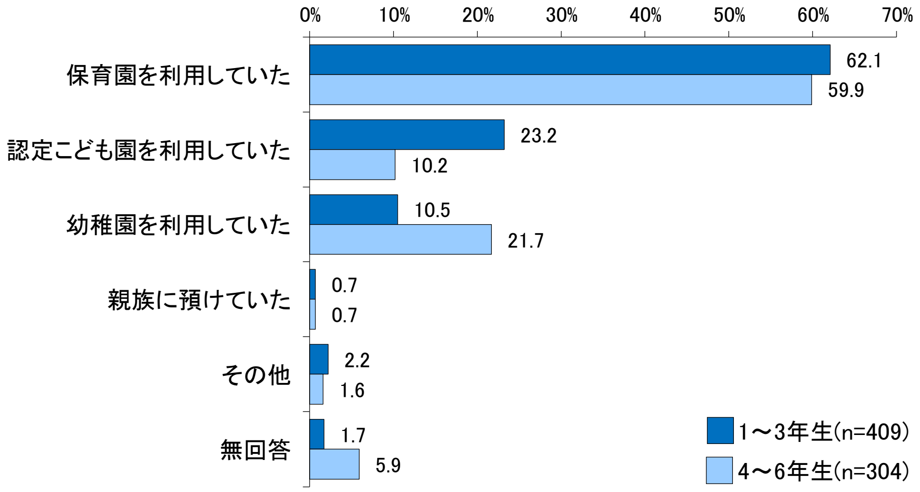
【小学校入学前の状況】



＊ 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が 100.0%を超える。

小学校入学前の状況について、「保育園を利用していた」と回答した割合が 61.0％と最も高く、「認定こども園を利用していた」（17.6％）、「幼稚園を利用していた」（15.3％）が続いている。

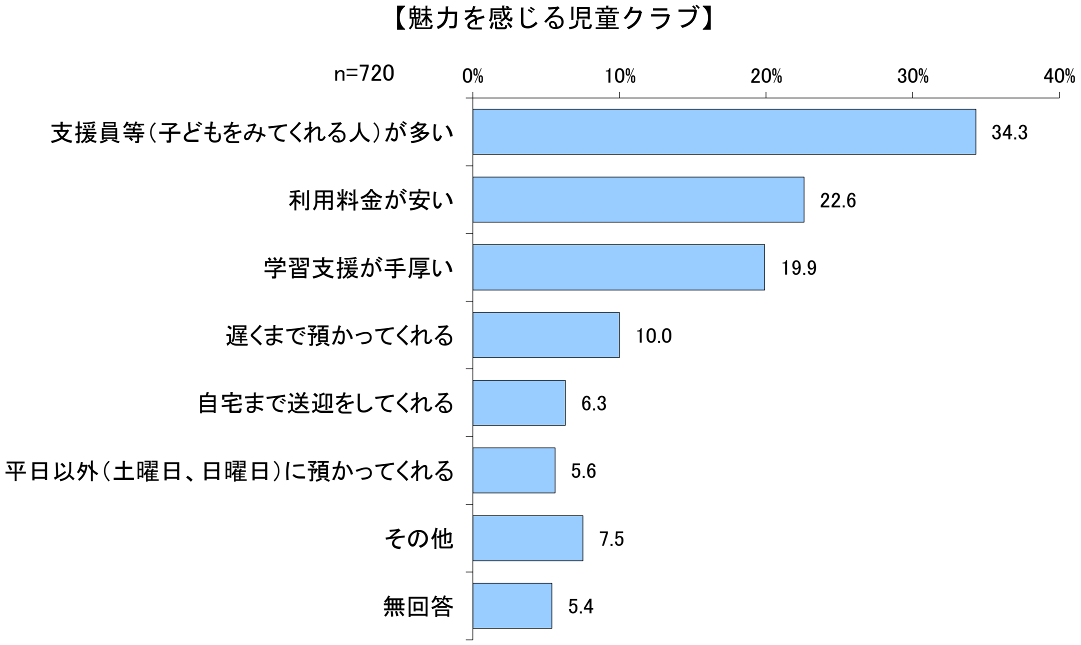
【小学校入学前の状況（小学校児童・学年別）】



学年別にみると、「保育園を利用していた」と回答した割合は、いずれの学年においても最も高くなっている。

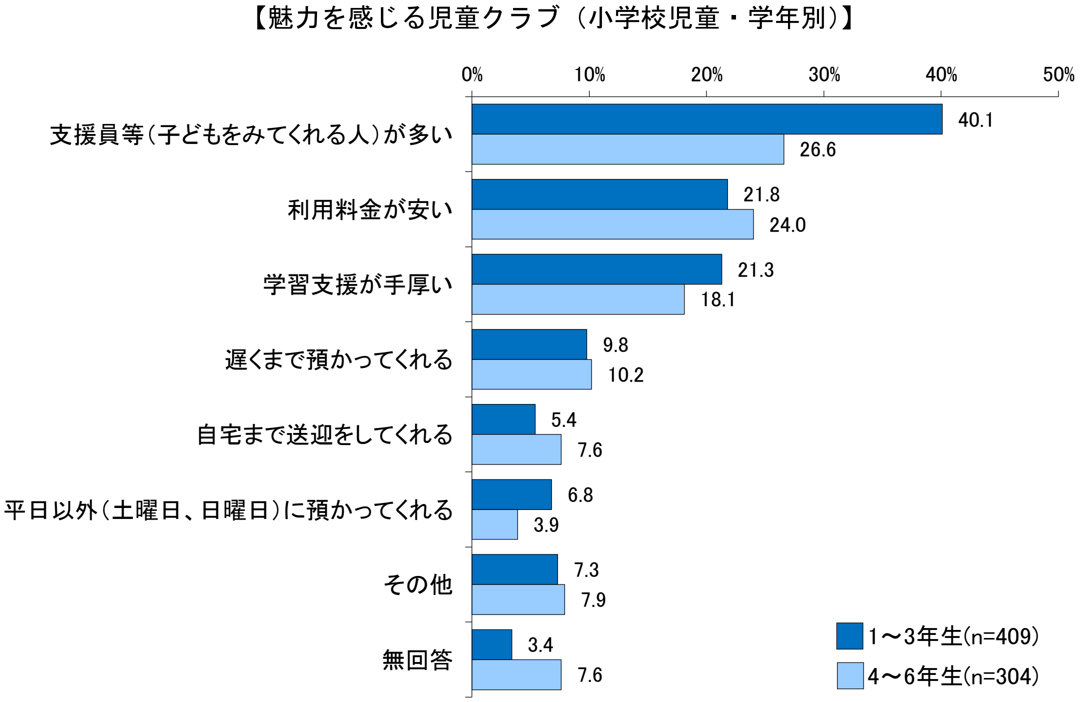
(4) 魅力を感じる児童クラブ

問 22(13)　どんな児童クラブに魅力を感じますか。(○は１つ)



＊ 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が 100.0%を超える。

魅力を感じる児童クラブについて、「支援員等（子どもをみてくれる人）が多い」と回答した割合が 34.3％と最も高く、「利用料金が安い」(22.6％)、「学習支援が手厚い」(19.9％) が続いている。



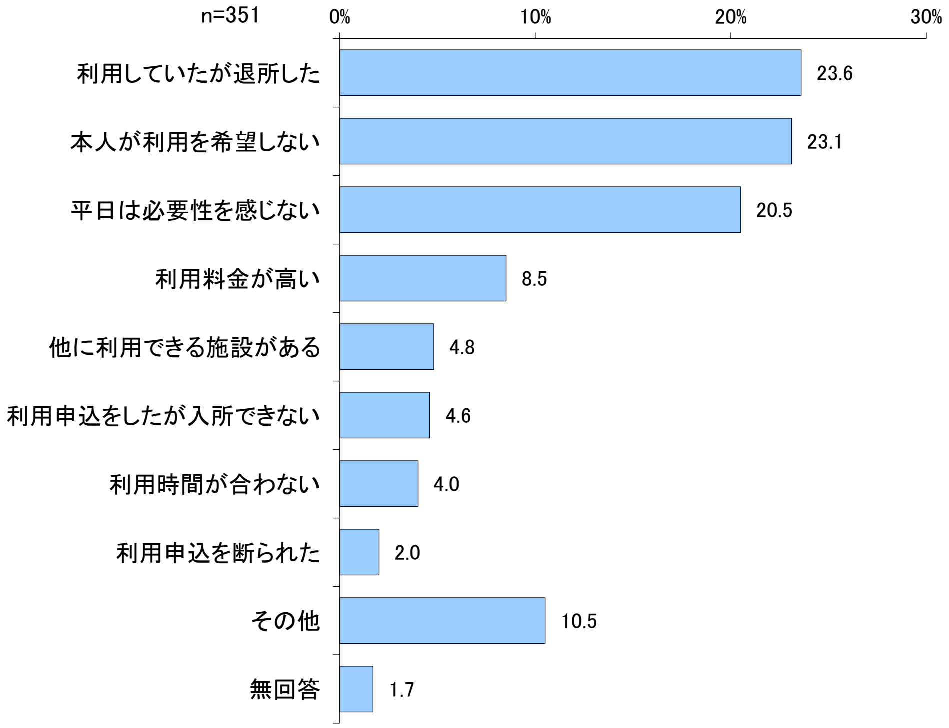
学年別にみると、「支援員等（子どもをみてくれる人）が多い」と回答した割合は、１～３年生で高くなっている。

（5）放課後児童クラブを利用していない理由

問 22(2)または(4)で「２　利用していない」と回答した人のみ回答

問 22(14)　放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。（〇は１つ）

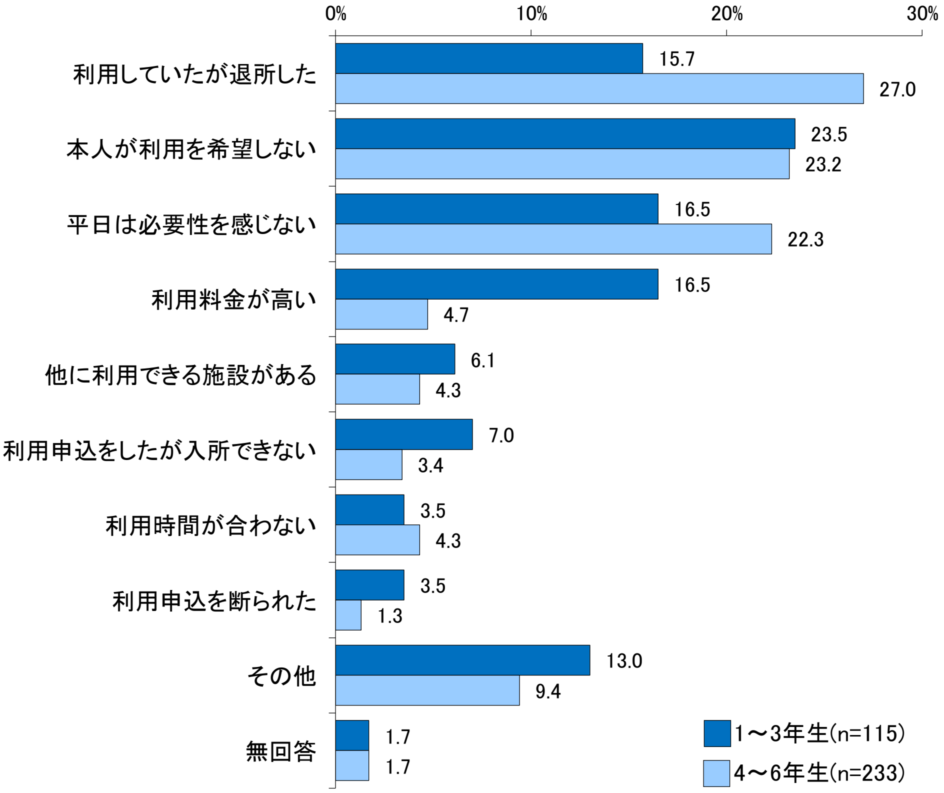
【放課後児童クラブを利用していない理由】



＊ 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が 100.0%を超える。

放課後児童クラブを利用していない理由について、「利用していたが退所した」と回答した割合が 23.6％と最も高く、「本人が利用を希望しない」（23.1％）、「平日は必要性を感じない」（20.5％）が続いている。

【放課後児童クラブを利用していない理由（小学校児童・学年別）】



学年別にみると、「利用していたが退所した」、「平日は必要性を感じない」と回答した割合は、４～６年生で、「利用料金が高い」と回答した割合は、１～３年生で高くなっている。

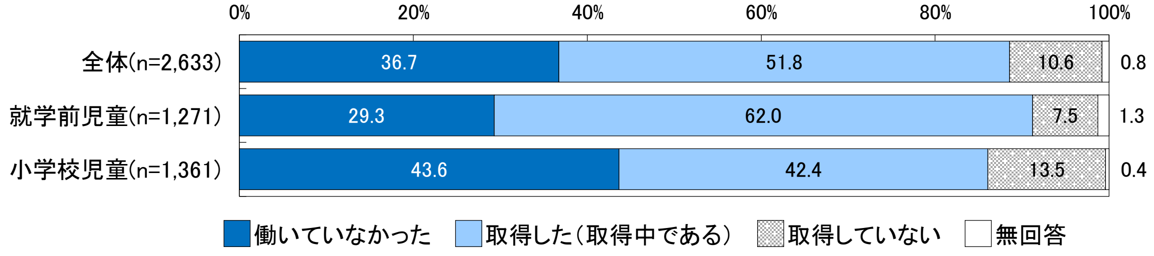
12 育児休業

(1) 育児休業取得状況

問 23　宛名のお子さんが生まれた時、母親・父親のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由を下より選びご記入ください。

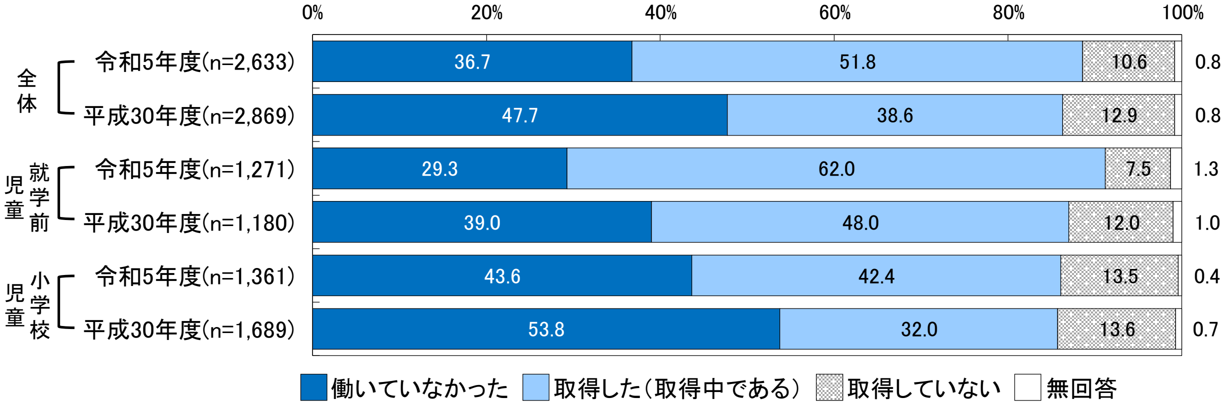
（〇は１つ）

【育児休業取得状況（母親）】



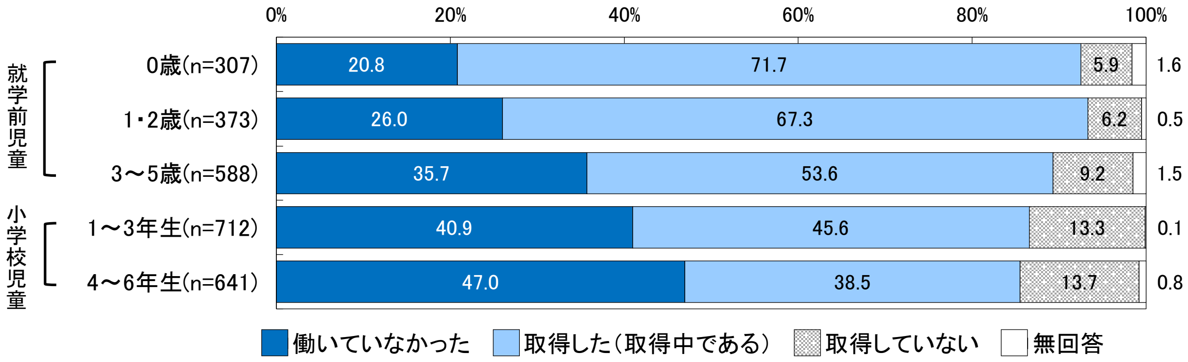
母親の育児休業取得状況について、「取得した（取得中である）」と回答した割合が全体で51.8%、就学前児童で62.0%、小学校児童で42.4%となっている。

【育児休業取得状況（母親）（前回調査結果との比較）】



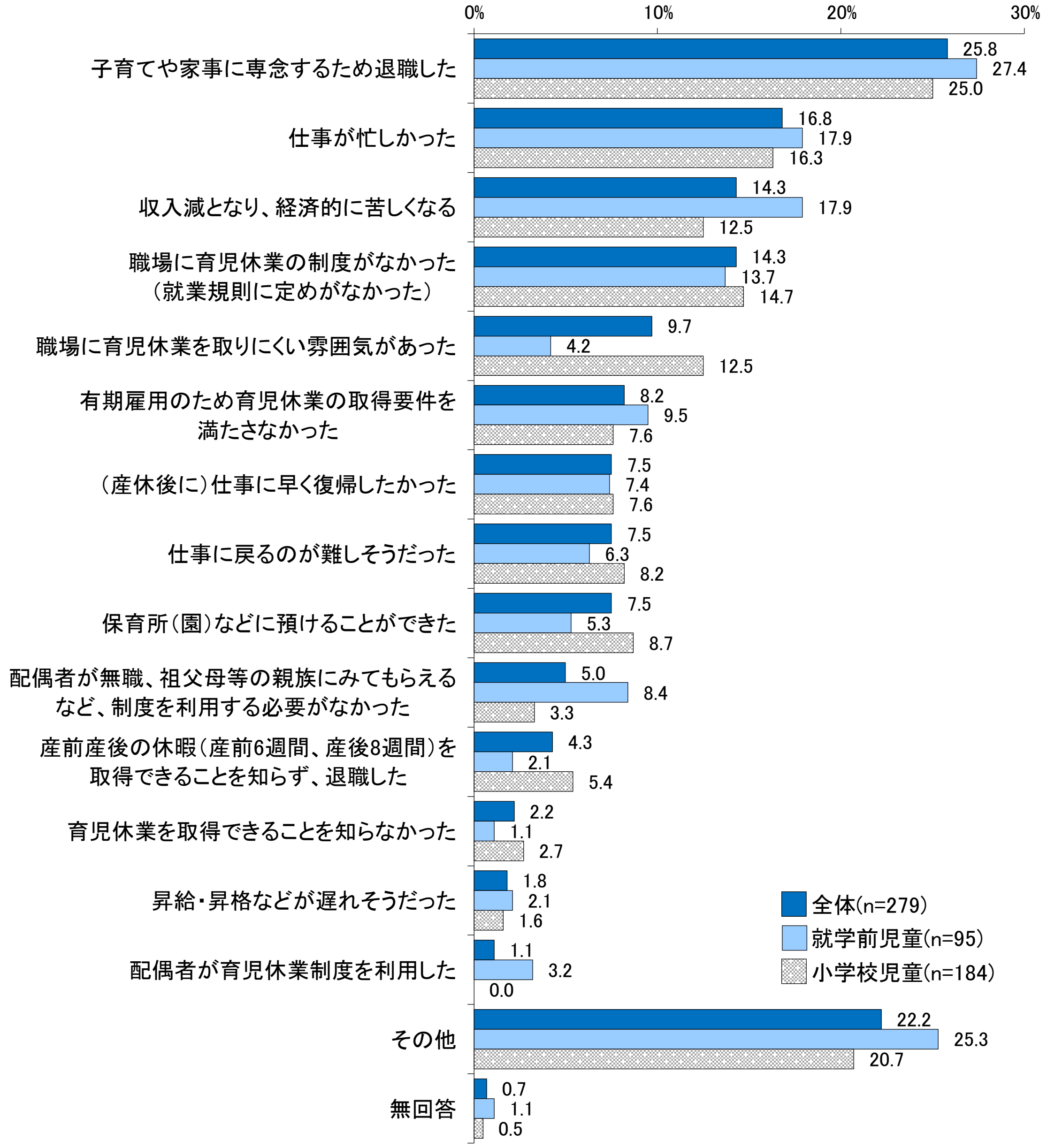
前回調査結果と比較すると、「取得した（取得中である）」と回答した割合は、全体で 13.2 ポイント、就学前児童で 14.0 ポイント、小学校児童で 10.4 ポイント上昇している。

【育児休業取得状況（母親）（年齢・学年別）】



年齢・学年別にみると、「取得した（取得中である）」と回答した割合は、年齢が低いほど高くなっている。

【育児休業を取得していない理由（母親）】



母親が育児休業を取得していない理由について、「子育てや家事に専念するため退職した」と回答した割合が全体で 25.8%、就学前児童で 27.4%、小学校児童で 25.0%と最も高く、「仕事が忙しかった」（全体 16.8%・就学前児童 17.9%・小学校児童 16.3%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（全体 14.3%・就学前児童 17.9%・小学校児童 12.5%）、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（全体 14.3%・就学前児童 13.7%・小学校児童 14.7%）が続いている。

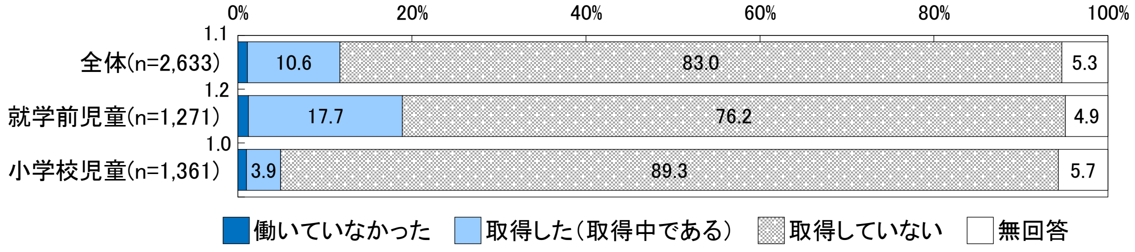
【育児休業を取得していない理由（母親）（年齢・学年別）】

		回答数	子育てや家事に専念するため退職した	仕事が忙しかった	収入減となり、経済的に苦しくなる	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	（産休後に）仕事に早く復帰したかった	仕事に戻るのが難しそうだった
児童 就学前	0歳	18	33.3%	11.1%	11.1%	11.1%	−	16.7%	5.6%	11.1%
	1・2歳	23	30.4%	17.4%	21.7%	13.0%	4.3%	17.4%	13.0%	8.7%
	3～5歳	54	24.1%	20.4%	18.5%	14.8%	5.6%	3.7%	5.6%	3.7%
児童 小学校	1～3年生	95	26.3%	14.7%	10.5%	16.8%	12.6%	7.4%	6.3%	9.5%
	4～6年生	88	23.9%	17.0%	14.8%	12.5%	12.5%	8.0%	9.1%	6.8%

		回答数	保育所（園）などに預けることができた	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	育児休業を取得できることを知らなかった	昇給・昇格などが遅れそうだった	配偶者が育児休業制度を利用した	その他	無回答
児童 就学前	0歳	18	5.6%	5.6%	−	−	5.6%	5.6%	27.8%	−
	1・2歳	23	8.7%	17.4%	4.3%	4.3%	−	4.3%	21.7%	−
	3～5歳	54	3.7%	5.6%	1.9%	−	1.9%	1.9%	25.9%	1.9%
児童 小学校	1～3年生	95	7.4%	3.2%	5.3%	2.1%	2.1%	−	21.1%	1.1%
	4～6年生	88	10.2%	3.4%	5.7%	3.4%	1.1%	−	20.5%	−

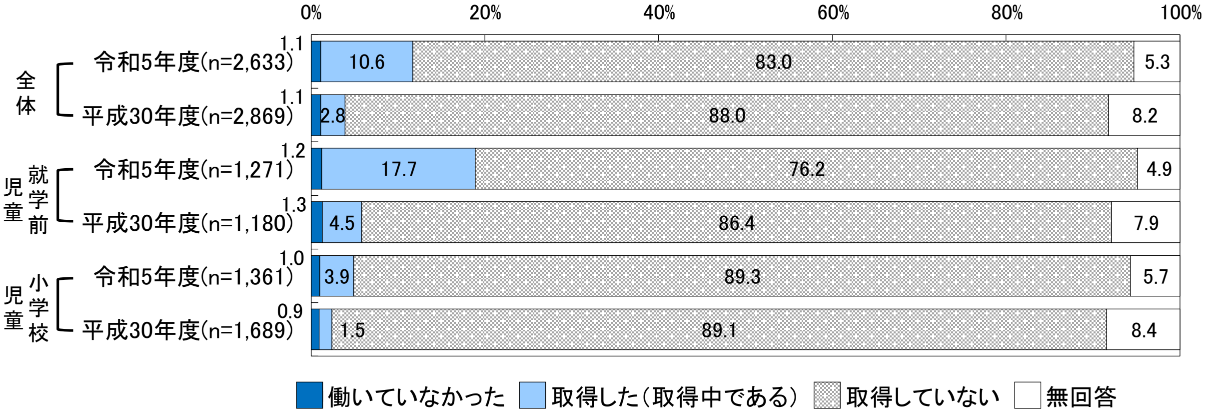
年齢・学年別にみると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と回答した割合は、１～３年生、４～６年生で、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」と回答した割合は、０歳、１・２歳で高くなっている。

【育児休業取得状況（父親）】



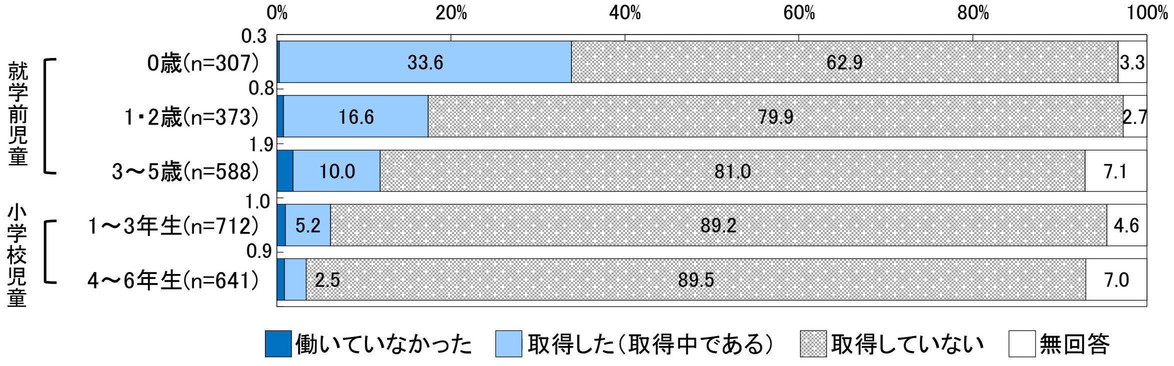
父親の育児休業取得状況について、「取得した（取得中である)」と回答した割合が全体で 10.6%、就学前児童で 17.7%、小学校児童で 3.9%となっている。

【育児休業取得状況（父親）（前回調査結果との比較)】



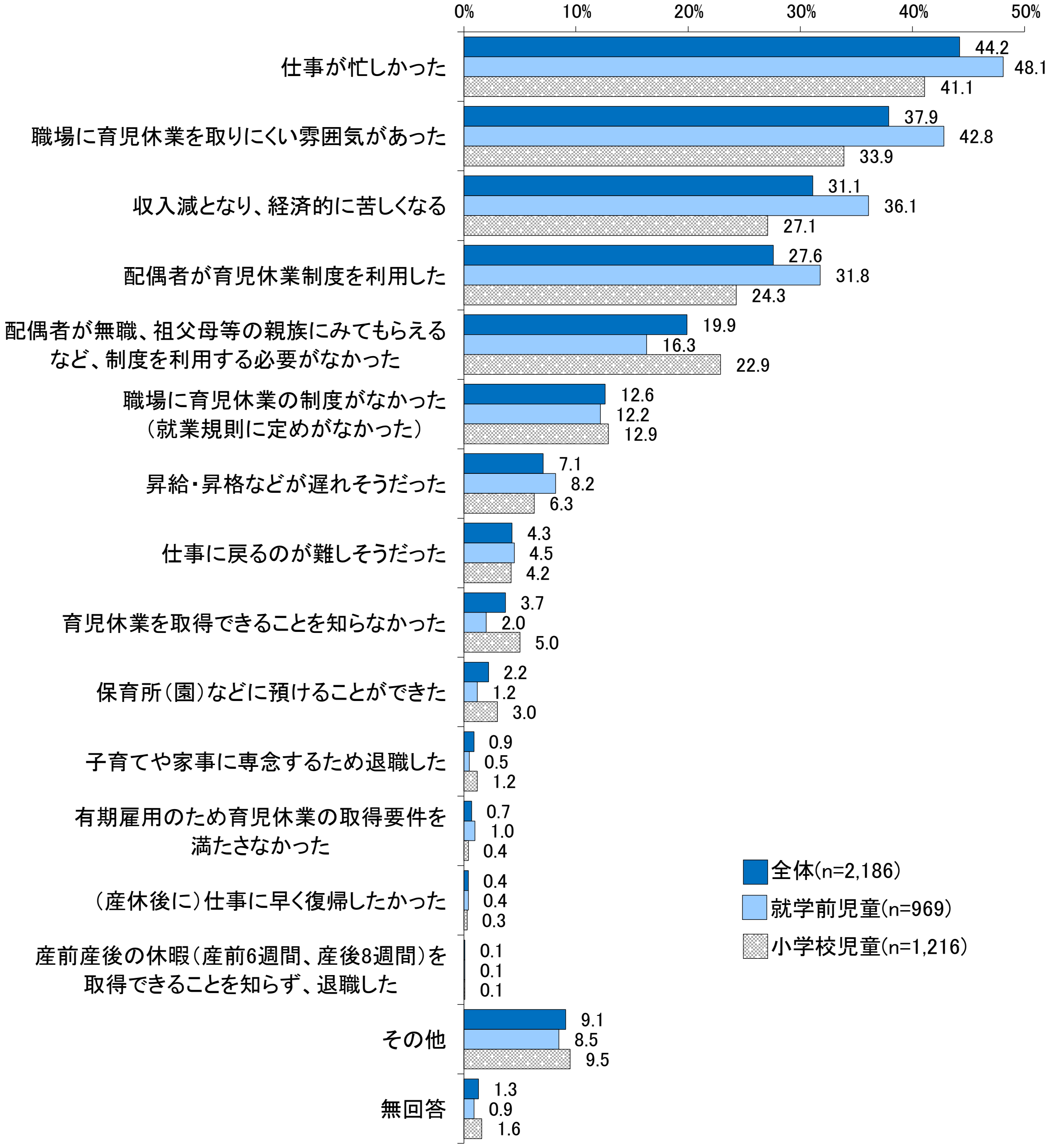
前回調査結果と比較すると、「取得した（取得中である)」と回答した割合は、全体で 7.8 ポイント、就学前児童で 13.2 ポイント上昇しているが、小学校児童では大きな差はみられない。

【育児休業取得状況（父親）（年齢・学年別)】



年齢・学年別にみると、「取得した（取得中である)」と回答した割合は、年齢が低いほど高くなっている。

【育児休業を取得していない理由（父親）】



父親が育児休業を取得していない理由について、「仕事が忙しかった」と回答した割合が全体で 44.2%、就学前児童で 48.1%、小学校児童で 41.1%と最も高く、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（全体 37.9%・就学前児童 42.8%・小学校児童 33.9%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（全体 31.1%・就学前児童 36.1%・小学校児童 27.1%）が続いている。

【育児休業を取得していない理由（父親）（年齢・学年別）】

		回答数	仕事が忙しかった	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	収入減となり、経済的に苦しくなる	配偶者が育児休業制度を利用した	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	昇給・昇格などが遅れそうだった	仕事に戻るのが難しそうだった
児童	就学前 0歳	193	48.7%	45.1%	42.5%	33.2%	12.4%	10.4%	10.9%	6.2%
	就学前 1・2歳	298	49.3%	43.0%	34.6%	36.6%	13.8%	12.1%	8.4%	6.7%
	就学前 3～5歳	476	47.3%	41.6%	34.2%	28.4%	19.5%	13.0%	6.9%	2.5%
児童	小学校 1～3年生	635	41.3%	37.2%	30.1%	25.8%	20.0%	13.7%	6.6%	4.4%
	小学校 4～6年生	574	41.1%	30.0%	23.9%	22.6%	26.0%	12.0%	5.9%	3.8%

		回答数	育児休業を取得できることを知らなかった	保育所（園）などに預けることができた	子育てや家事に専念するため退職した	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	（産休後に）仕事に早く復帰したかった	産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	その他	無回答
児童	就学前 0歳	193	0.5%	−	0.5%	1.6%	0.5%	−	6.2%	1.0%
	就学前 1・2歳	298	2.7%	1.7%	0.3%	1.3%	0.7%	0.3%	10.1%	0.3%
	就学前 3～5歳	476	2.1%	1.5%	0.6%	0.6%	0.2%	−	8.4%	1.3%
児童	小学校 1～3年生	635	4.1%	3.5%	1.1%	0.5%	0.3%	−	10.1%	1.6%
	小学校 4～6年生	574	6.1%	2.6%	1.2%	0.3%	0.3%	0.2%	8.9%	1.7%

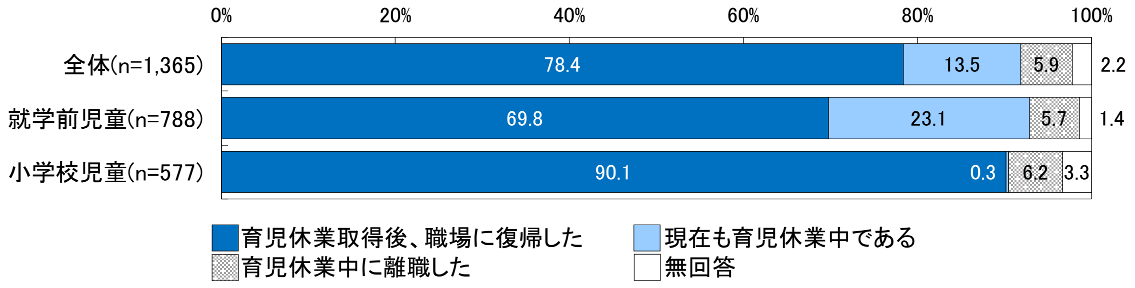
年齢・学年別にみると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」と回答した割合は、年齢が低いほど高くなっている。

（２）育児休業取得後の職場への復帰状況

問 23 で「２　取得した（取得中である）」と回答した人のみ回答

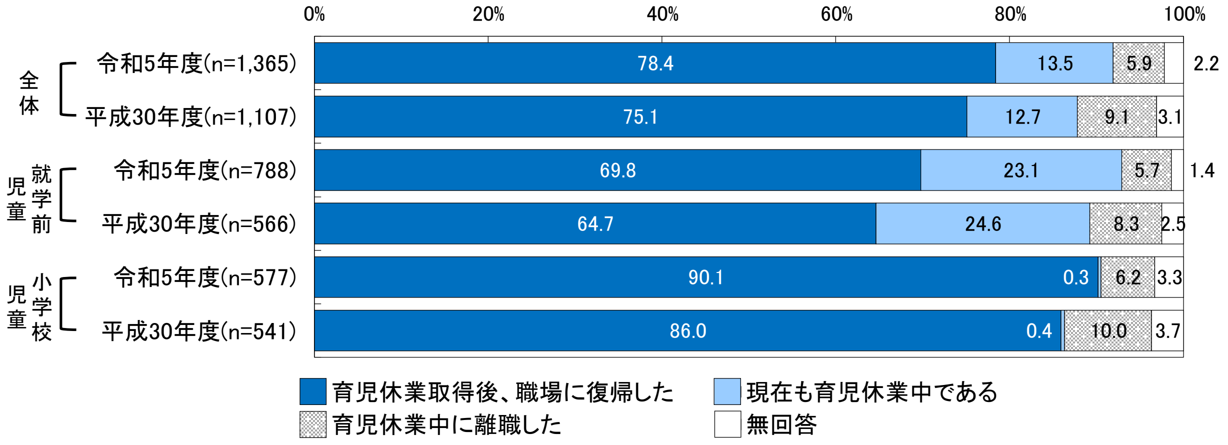
問 23-1　育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（〇は１つ）

【育児休業取得後の職場への復帰状況（母親）】



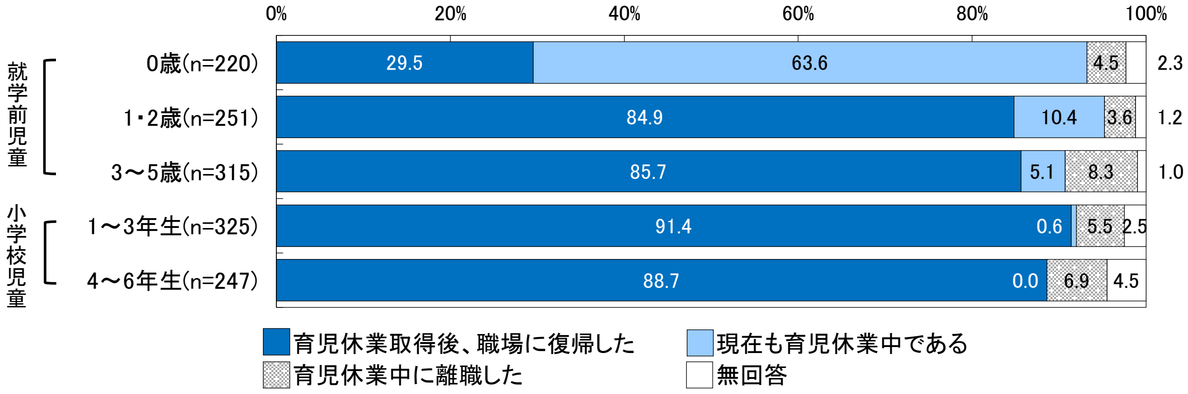
母親の育児休業取得後の職場への復帰状況について、「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した割合が全体で 78.4％、就学前児童で 69.8％、小学校児童で 90.1％となっている。

【育児休業取得後の職場への復帰状況（母親）（前回調査結果との比較）】



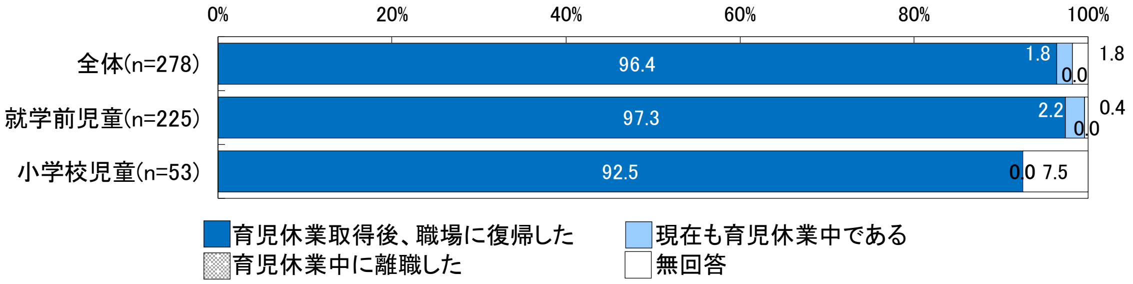
前回調査結果と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した割合は、全体、小学校児童では大きな差はみられないが、就学前児童では 5.1 ポイント上昇している。

【育児休業取得後の職場への復帰状況（母親）（年齢・学年別）】



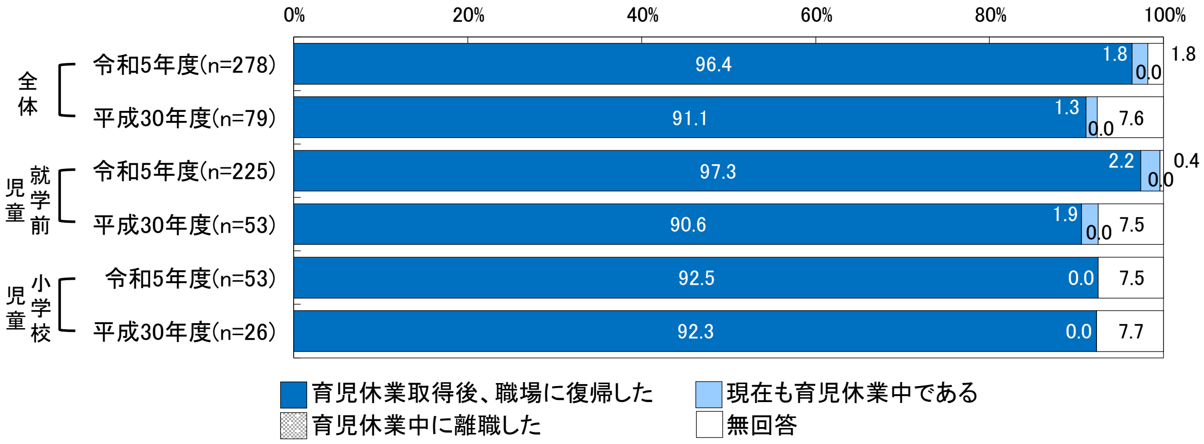
年齢・学年別にみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した割合は、０歳を除くすべての年齢・学年で高くなっている。

【育児休業取得後の職場への復帰状況（父親）】



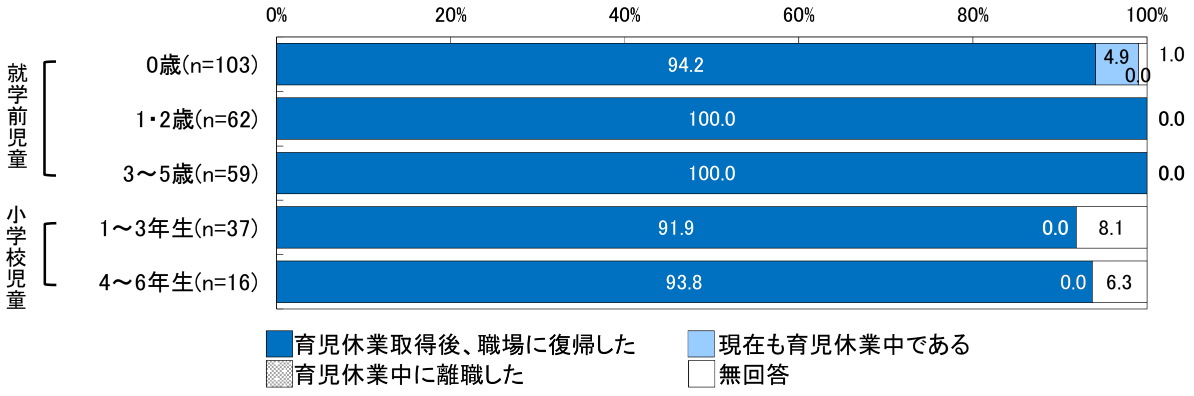
父親の育児休業取得後の職場への復帰状況について、「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した割合が全体で 96.4%、就学前児童で 97.3%、小学校児童で 92.5%となっている。

【育児休業取得後の職場への復帰状況（父親）（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した割合は、全体で 5.3 ポイント、就学前児童で 6.7 ポイント上昇しているが、小学校児童では大きな差はみられない。

【育児休業取得後の職場への復帰状況（父親）（年齢・学年別）】



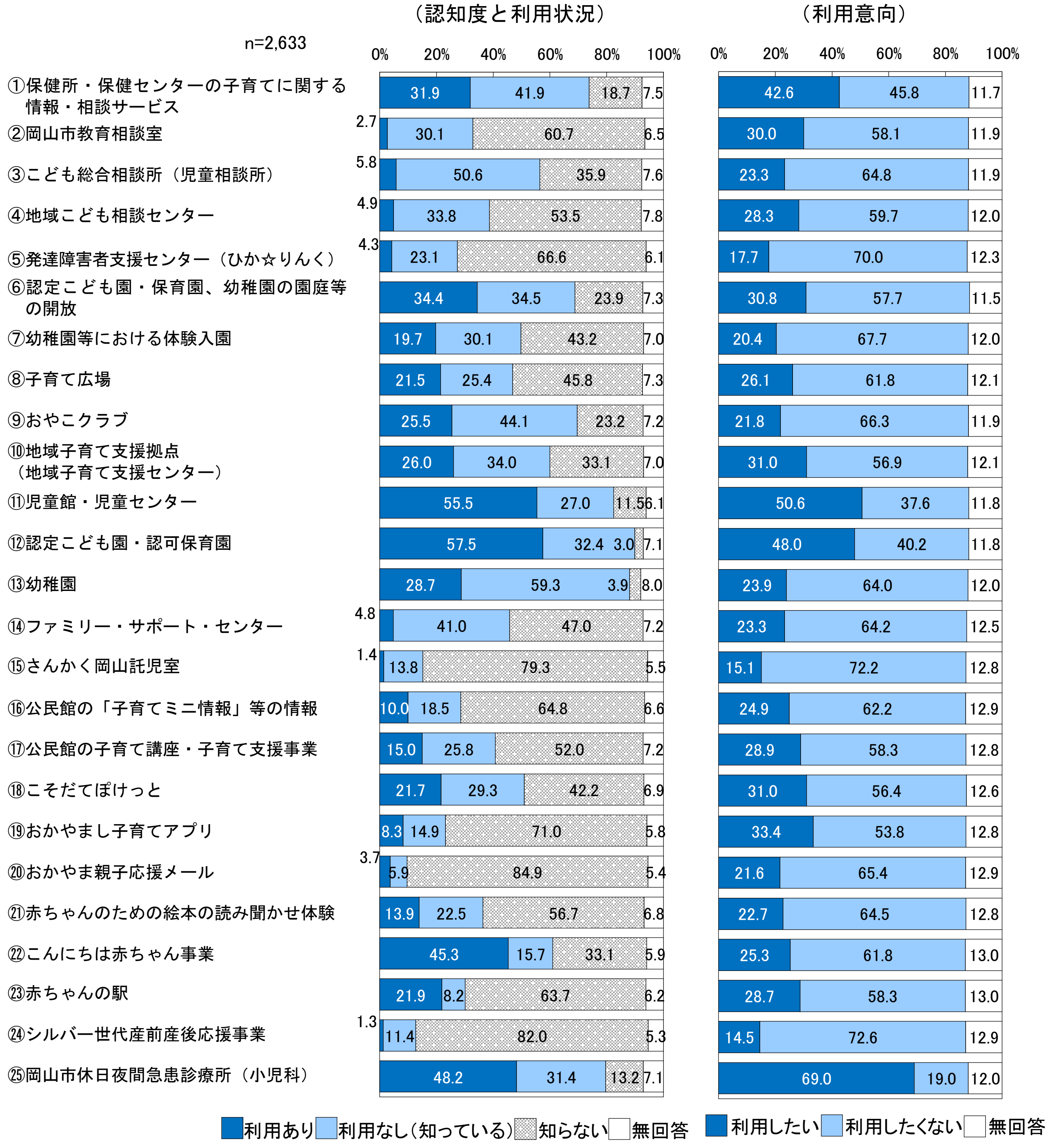
年齢・学年別にみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した割合は、すべての年齢・学年で高くなっている。

13 子育て支援サービス

（1）子育て支援サービスの認知度･利用状況･利用意向

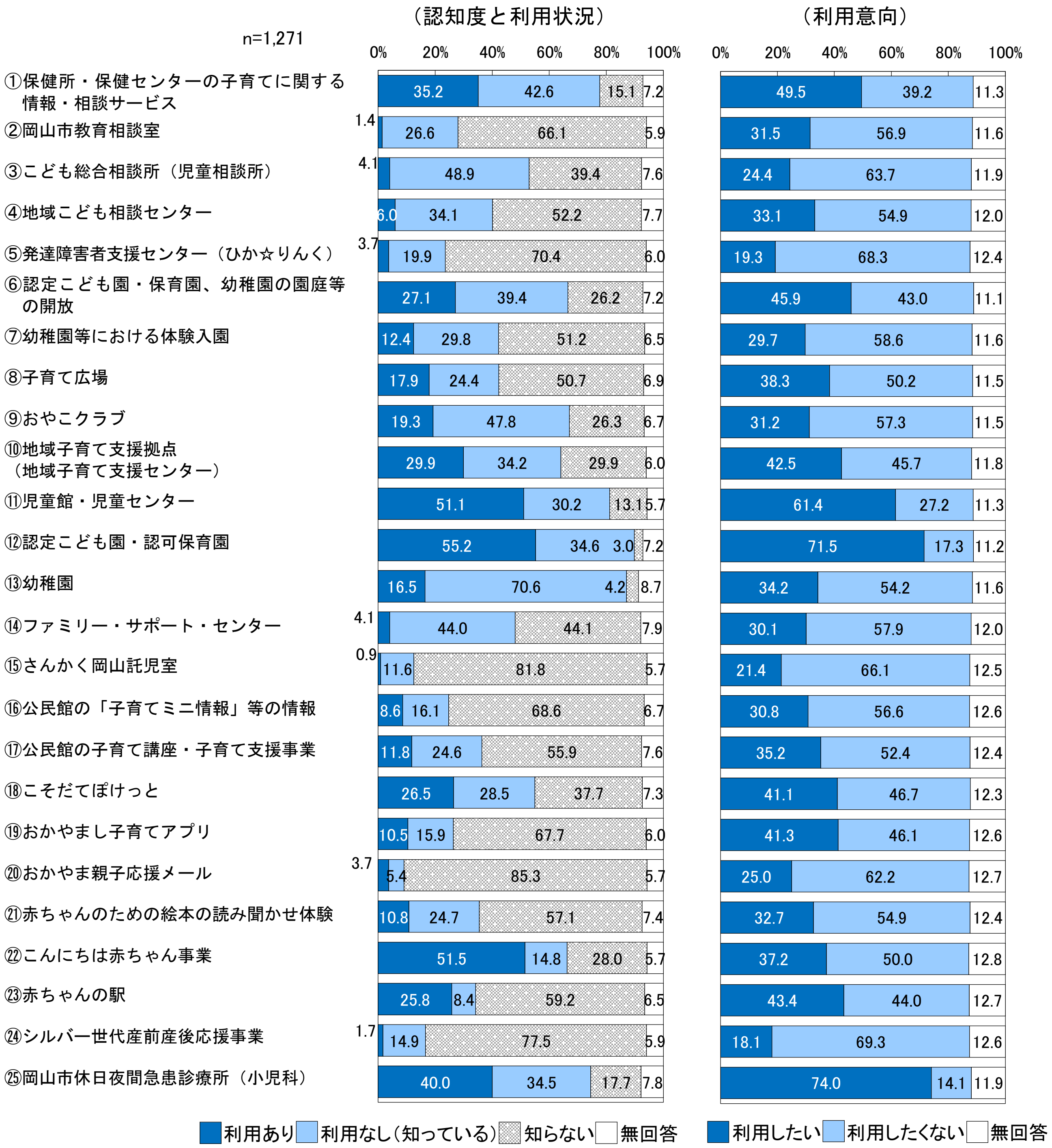
問 24　下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものを、サービスごとに、Ａ～Ｃのそれぞれについてお答えください。
（○はそれぞれ１つ）

【子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向（全体）】



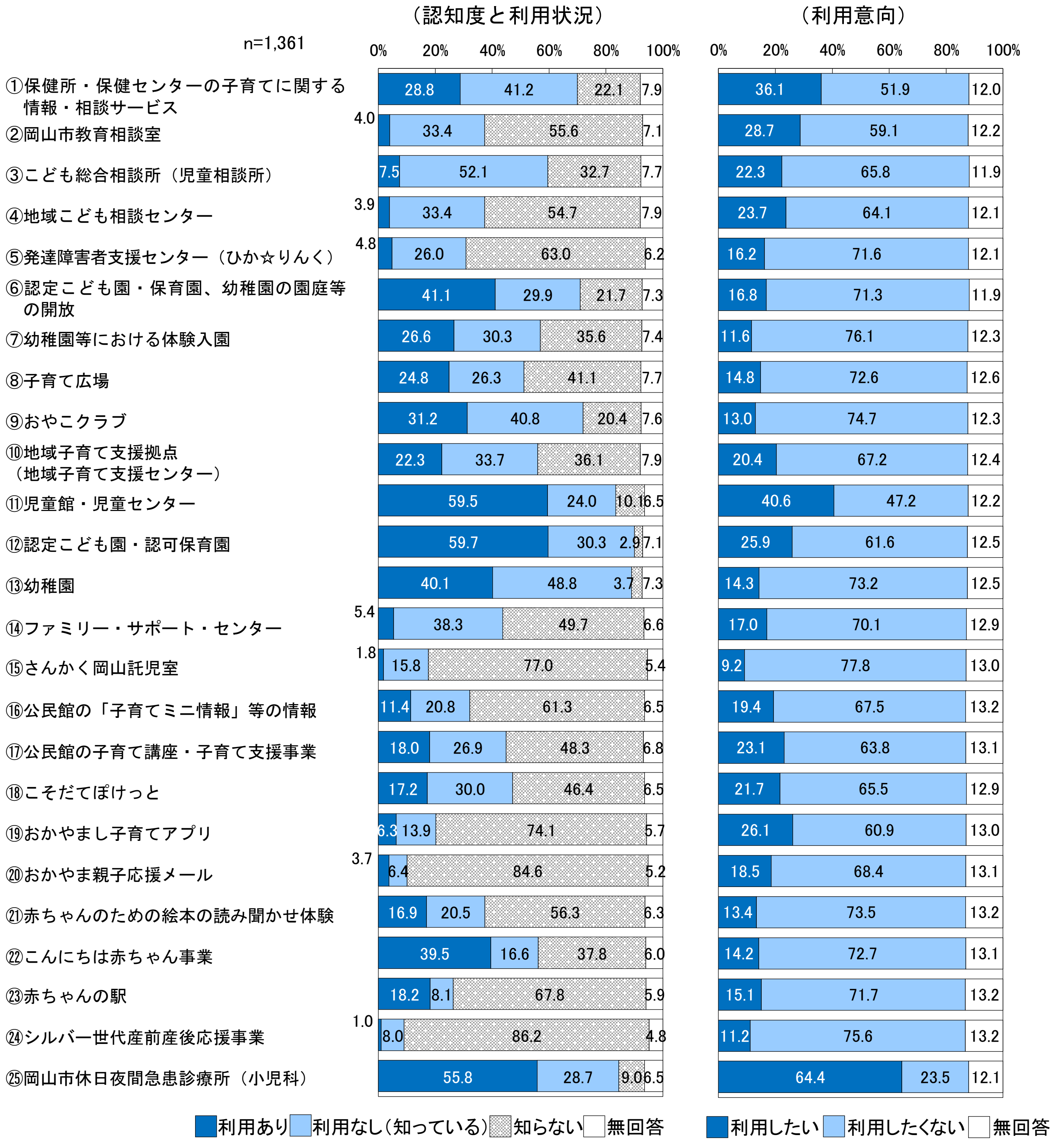
全体における子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向について、「利用あり」と回答した割合は、「⑪児童館・児童センター」、「⑫認定こども園・認可保育園」で、「利用したい」と回答した割合は、「㉕岡山市休日夜間急患診療所（小児科）」で高くなっている。

【子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向（就学前児童）】



就学前児童における子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向について、「利用あり」と回答した割合は、「⑪児童館・児童センター」、「⑫認定こども園・認可保育園」、「㉒こんにちは赤ちゃん事業」で、「利用したい」と回答した割合は、「⑪児童館・児童センター」、「⑫認定こども園・認可保育園」、「㉕岡山市休日夜間急患診療所（小児科）」で高くなっている。

【子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向（小学校児童）】



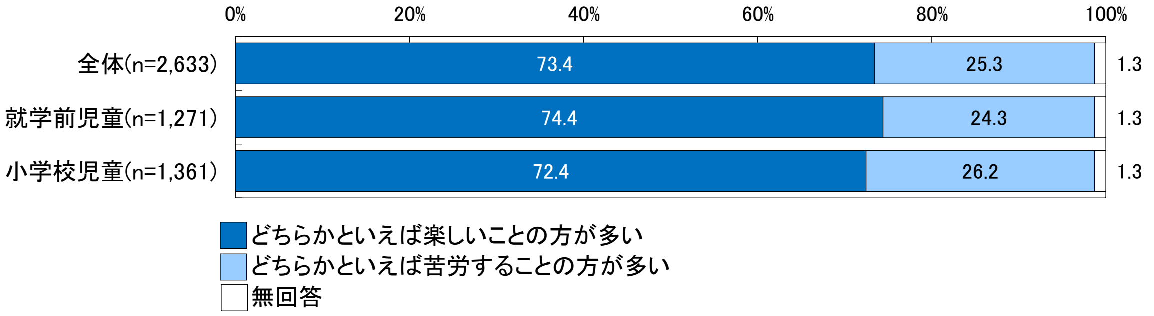
小学校児童における子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向について、「利用あり」と回答した割合は、「⑪児童館・児童センター」、「⑫認定こども園・認可保育園」、「㉕岡山市休日夜間急患診療所（小児科）」で、「利用したい」と回答した割合は、「㉕岡山市休日夜間急患診療所（小児科）」で高くなっている。

14 子育て全般

（1）子育てにおける楽しさと苦労の程度

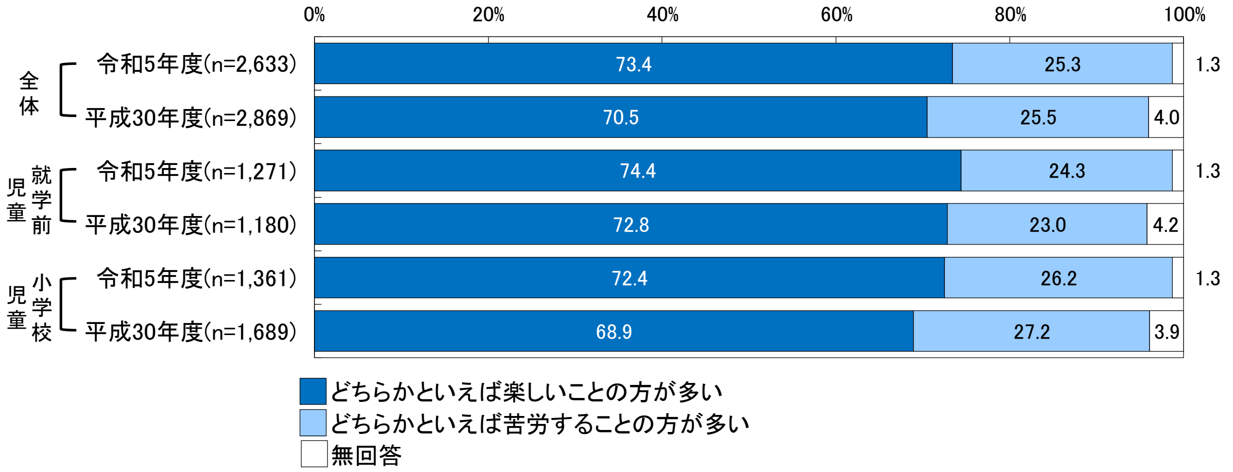
問 25　子育ては楽しいこと、苦労すること、どちらが多いと思いますか。（○は１つ）

【子育てにおける楽しさと苦労の程度】



子育てにおける楽しさと苦労の程度について、「どちらかといえば楽しいことの方が多い」と回答した割合が全体で 73.4%、就学前児童で 74.4%、小学校児童で 72.4%、「どちらかといえば苦労することの方が多い」と回答した割合が全体で 25.3%、就学前児童で 24.3%、小学校児童で 26.2%となっている。

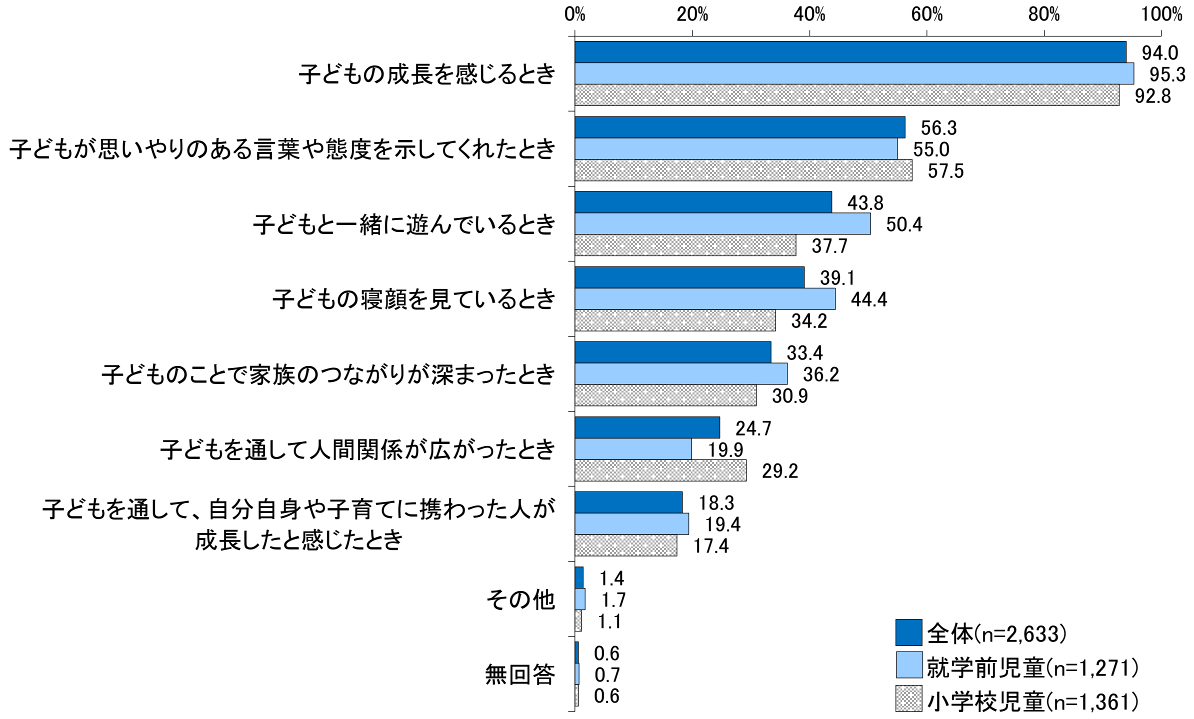
【子育てにおける楽しさと苦労の程度（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、大きな差はみられない。

問 25-1　子育てをしているときは楽しいこともあれば、そうでないときもあると思います。楽しいと思うとき、楽しくないと思うとき、それぞれの理由をお答えください。
（○は主なもの３つまで）

【子育てを楽しいと思うとき】



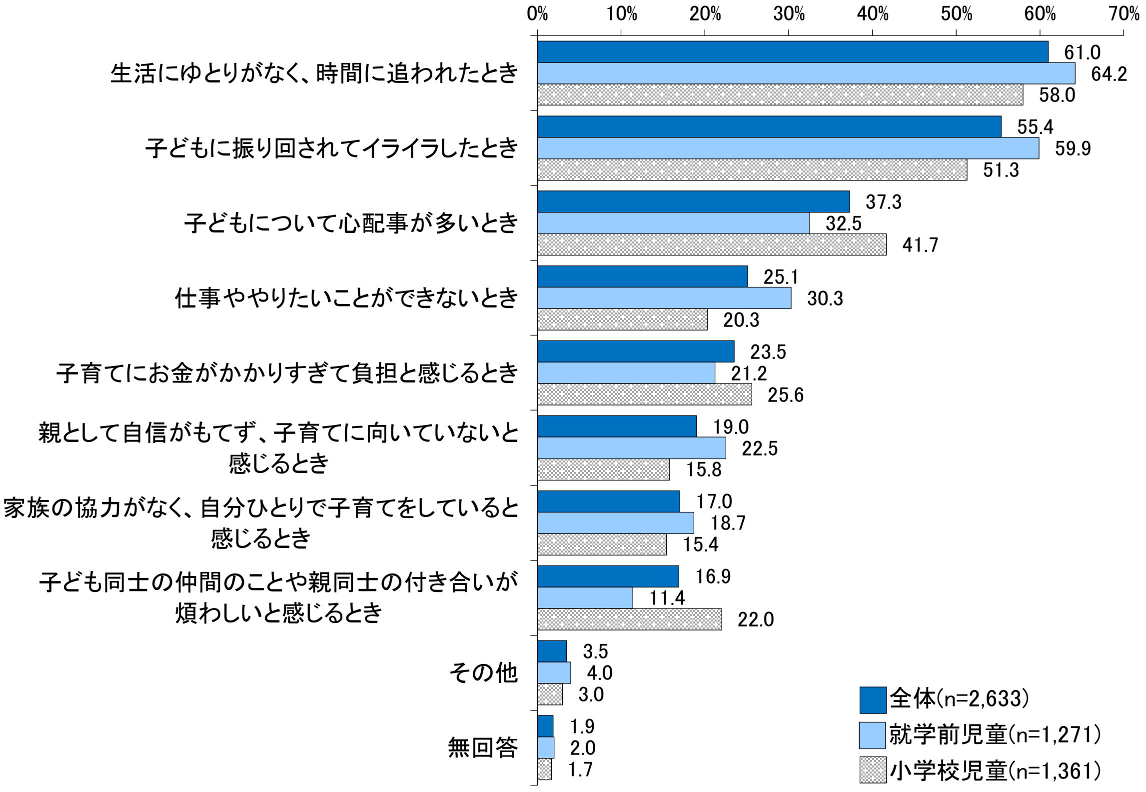
子育てを楽しいと思うときについて、「子どもの成長を感じるとき」と回答した割合が最も高く、全体で 94.0%、就学前児童で 95.3%、小学校児童で 92.8%となっている。

【子育てを楽しいと思うとき（年齢・学年別）】

		回答数	子どもの成長を感じるとき	子どもが思いやりのある言葉や態度を示してくれたとき	子どもと一緒に遊んでいるとき	子どもの寝顔を見ているとき	子どものことで家族のつながりが深まったとき	子どもを通して人間関係が広がったとき	子どもを通して、自分自身や子育てに携わった人が成長したと感じたとき	その他	無回答
就学前児童	0歳	307	97.4%	34.9%	56.7%	53.7%	41.4%	16.6%	17.3%	1.6%	0.7%
	1・2歳	373	95.2%	62.2%	55.0%	42.1%	31.1%	16.1%	17.2%	1.6%	0.3%
	3～5歳	588	94.2%	60.9%	44.4%	41.2%	36.6%	24.1%	21.8%	1.7%	1.0%
小学校児童	1～3年生	712	92.8%	55.8%	37.6%	37.4%	30.8%	29.1%	16.6%	1.1%	0.6%
	4～6年生	641	92.7%	59.0%	37.8%	30.6%	31.2%	29.2%	18.3%	0.9%	0.6%

年齢・学年別にみると、「子どもが思いやりのある言葉や態度を示してくれたとき」と回答した割合は、１・２歳、３～５歳、１～３年生、４～６年生で、「子どもの寝顔を見ているとき」、「子どものことで家族のつながりが深まったとき」と回答した割合は、０歳で高くなっている。

【子育てを楽しくないと思うとき】



子育てを楽しくないと思うときについて、「生活にゆとりがなく、時間に追われたとき」と回答した割合が最も高く、全体で 61.0%、就学前児童で 64.2%、小学校児童で 58.0%、次いで「子どもに振り回されてイライラしたとき」(全体 55.4%、就学前児童 59.9%、小学校児童 51.3%)となっている。

【子育てを楽しくないと思うとき（年齢・学年別）】

		回答数	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき	子どもに振り回されてイライラしたとき	子どもについて心配事が多いとき	仕事ややりたいことができないとき	子育てにお金がかかりすぎて負担と感じるとき	親として自信がもてず、子育てに向いていないと感じるとき	家族の協力がなく、自分ひとりで子育てをしていると感じるとき	子ども同士の仲間のことや親同士の付き合いが煩わしいと感じるとき
就学前児童	0歳	307	58.6%	48.2%	27.7%	31.9%	21.2%	16.6%	21.5%	8.1%
	1･2歳	373	66.8%	67.0%	33.0%	32.7%	22.0%	22.3%	18.8%	8.8%
	3～5歳	588	65.3%	61.2%	34.9%	27.9%	20.9%	25.7%	17.2%	14.8%
小学校児童	1～3年生	712	61.7%	53.7%	41.0%	21.9%	25.6%	18.1%	14.2%	19.8%
	4～6年生	641	53.5%	49.0%	42.7%	18.6%	25.0%	12.9%	16.7%	24.5%

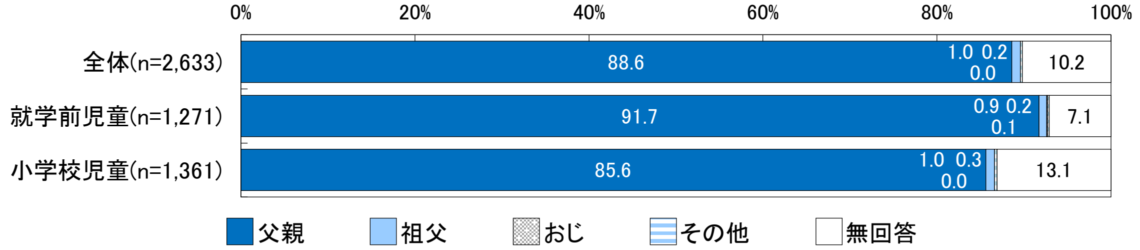
		回答数	その他	無回答
就学前児童	0歳	307	6.2%	2.9%
	1･2歳	373	2.7%	0.5%
	3～5歳	588	3.7%	2.6%
小学校児童	1～3年生	712	3.2%	0.7%
	4～6年生	641	2.7%	2.8%

年齢・学年別にみると、「子どもに振り回されてイライラしたとき」と回答した割合は、１・２歳、３～５歳で、「子どもについて心配事が多いとき」、「子ども同士の仲間のことや親同士の付き合いが煩わしいと感じるとき」と回答した割合は、１～３年生、４～６年生で高くなっている。

（2）家事や子どもと関わる時間

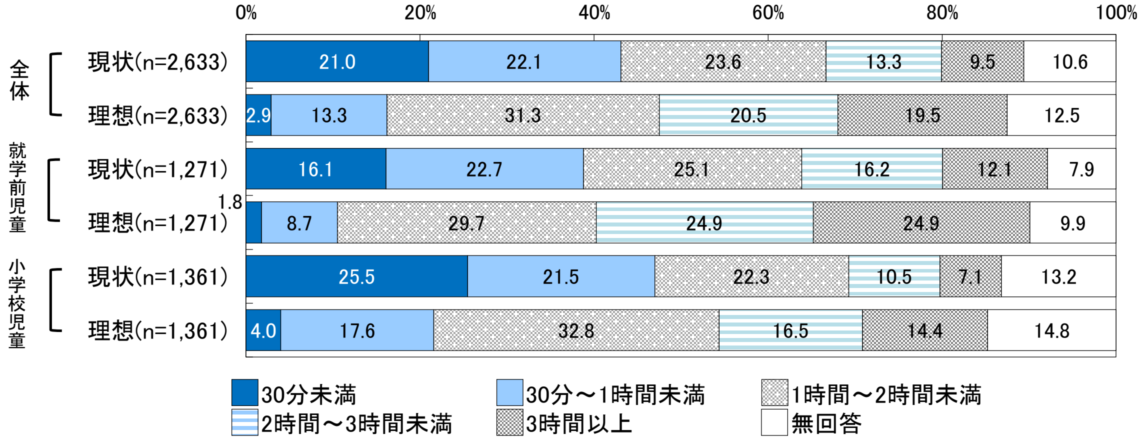
問 26　平日・休日について、一日のうち家事や子どもと関わる時間はどのくらいありますか。
（○はそれぞれ１つ）

【主な男性養育者】



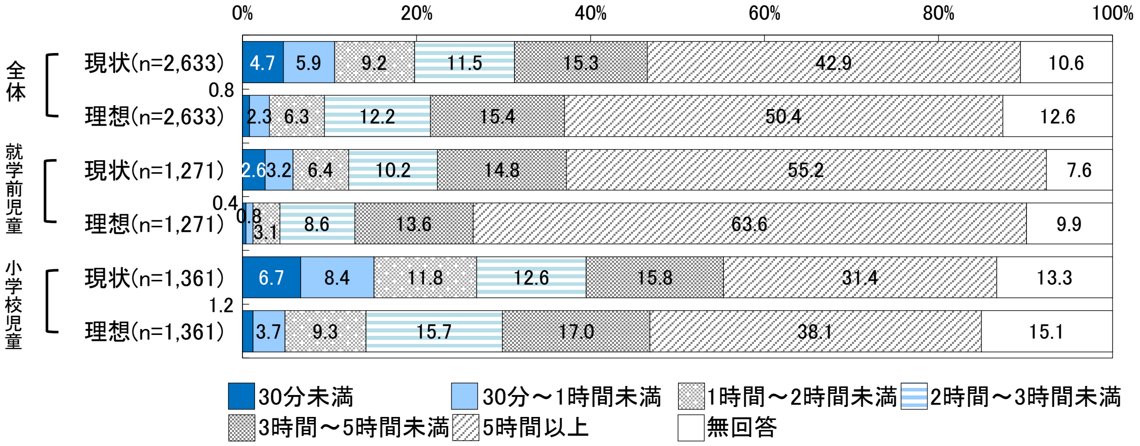
主な男性養育者について、「父親」と回答した割合が全体で 88.6%、就学前児童で 91.7%、小学校児童で 85.6%となっている。

【平日に子どもと関わる時間（男性養育者）】



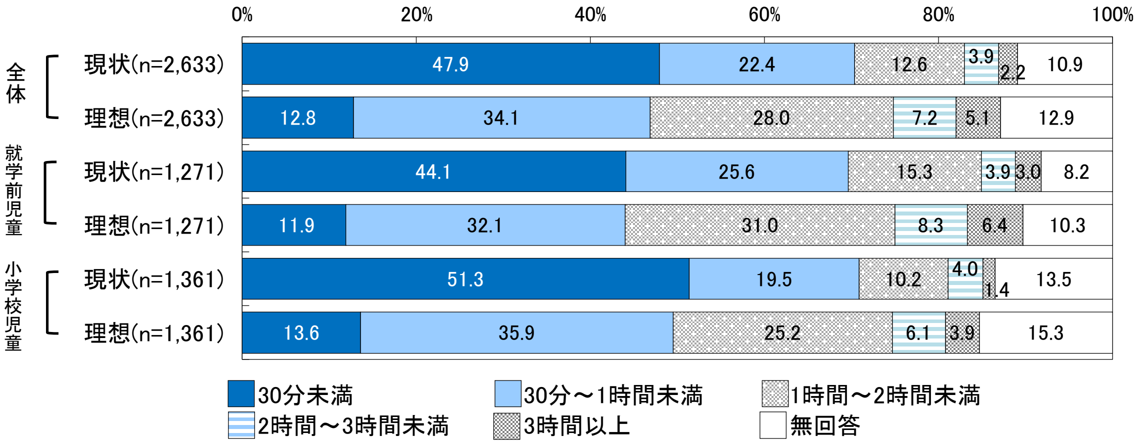
男性養育者の平日に子どもと関わる時間について、『１時間以上』と回答した割合は、全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても、理想が現状よりも高くなっている。

【休日に子どもと関わる時間（男性養育者)】



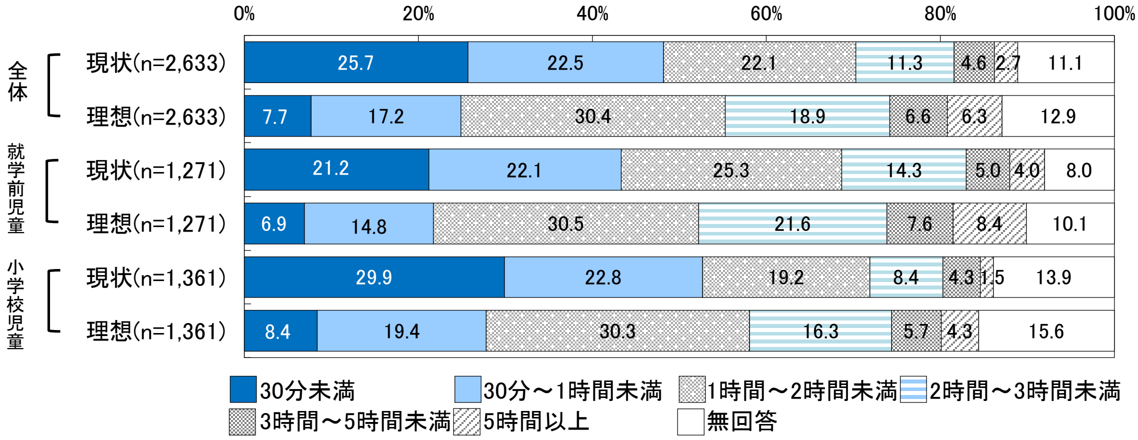
男性養育者の休日に子どもと関わる時間について、現状、理想ともに「５時間以上」と回答した割合は、全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても最も高く、理想が現状よりも高くなっている。

【平日の家事等の時間（男性養育者)】



男性養育者の平日の家事等の時間について、『１時間以上』と回答した割合は、全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても、理想が現状よりも高くなっている。

【休日の家事等の時間（男性養育者）】



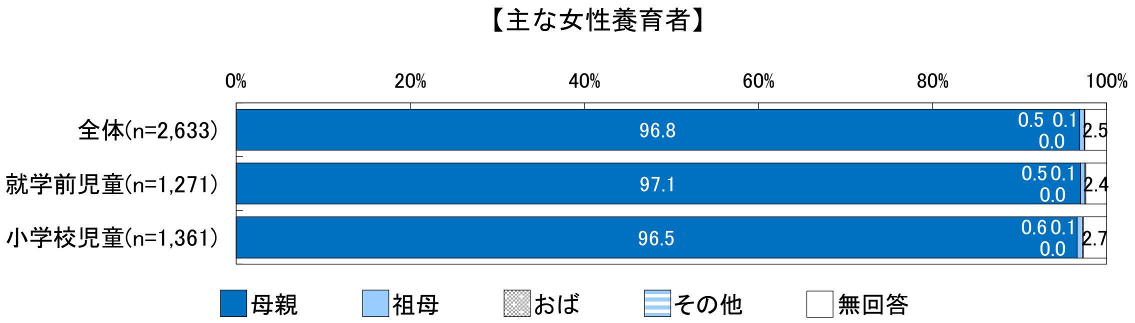
男性養育者の休日の家事等の時間について、『１時間以上』と回答した割合は、全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても、理想が現状よりも高くなっている。

【優先度（男性養育者）】

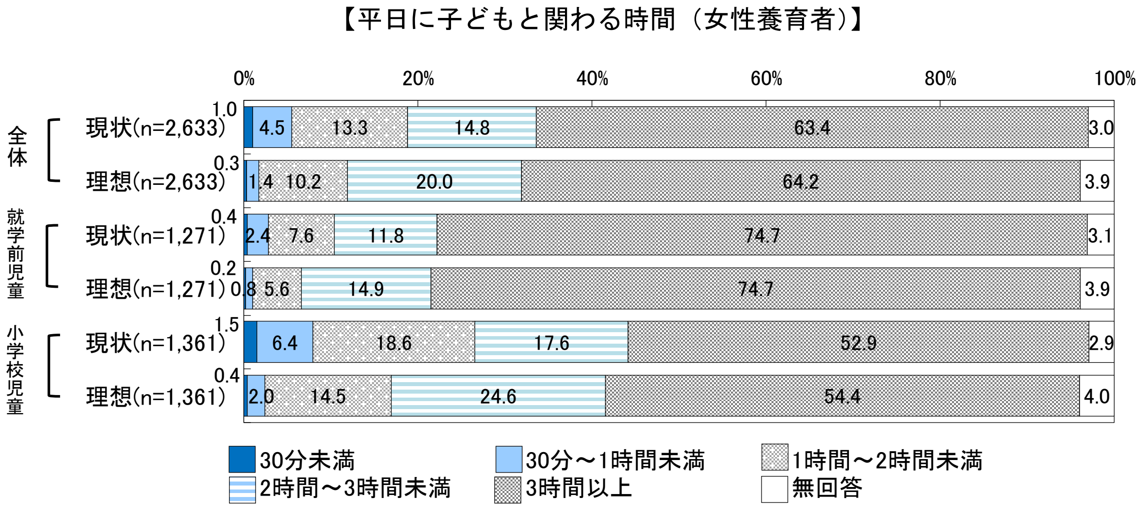
		回答数	仕事を優先している	子どもと関わる時間を優先している	家事等の時間を優先している	プライベートの時間を優先している	仕事、子育て、家事、プライベートの時間をともに大切にしている	特にない	無回答
全体	現状	2,633	42.0%	7.3%	2.1%	6.0%	29.7%	3.5%	11.0%
	理想	2,633	3.8%	15.8%	1.8%	3.9%	60.1%	4.3%	12.5%
就学前児童	現状	1,271	41.1%	8.3%	2.2%	5.2%	33.4%	3.4%	8.3%
	理想	1,271	3.3%	18.9%	2.3%	3.5%	62.2%	3.4%	9.8%
小学校児童	現状	1,361	42.9%	6.5%	2.1%	6.8%	26.2%	3.6%	13.6%
	理想	1,361	4.3%	12.9%	1.4%	4.3%	58.0%	5.1%	15.1%

＊ 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が 100.0%を超える。

男性養育者の優先度について、「子どもと関わる時間を優先している」、「仕事、子育て、家事、プライベートの時間をともに大切にしている」と回答した割合は、全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても、理想が現状よりも高くなっている。

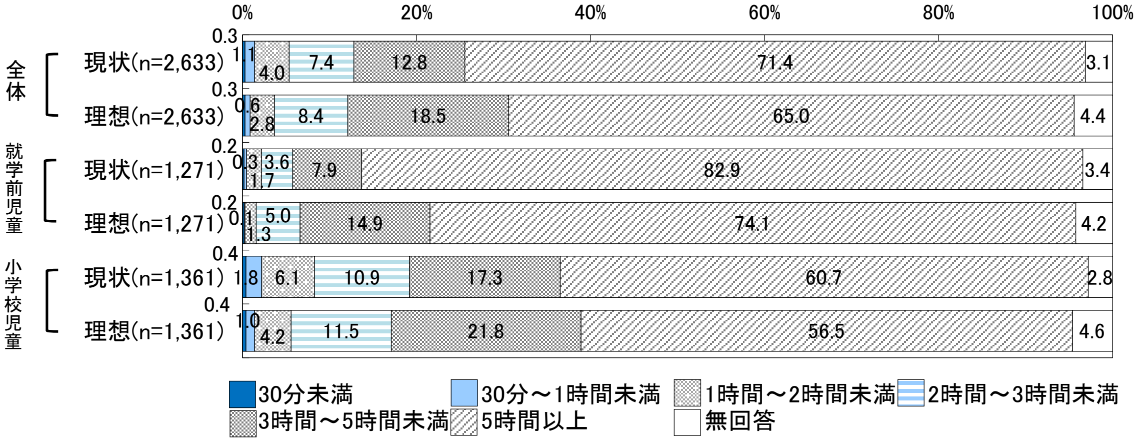


主な女性養育者について、「母親」と回答した割合が全体で 96.8%、就学前児童で 97.1%、小学校児童で 96.5%となっている。



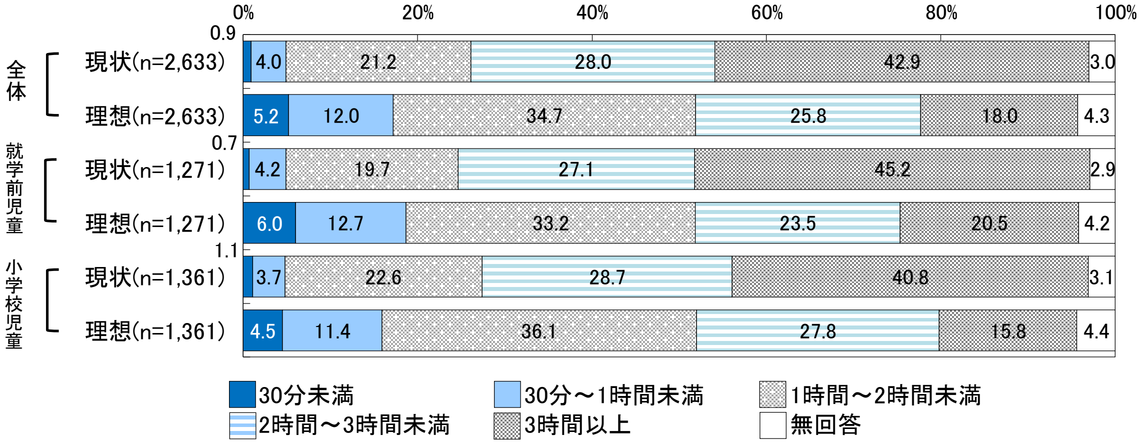
女性養育者の平日に子どもと関わる時間について、『２時間以上』と回答した割合は、全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても、理想が現状よりも高くなっている。

【休日に子どもと関わる時間（女性養育者）】



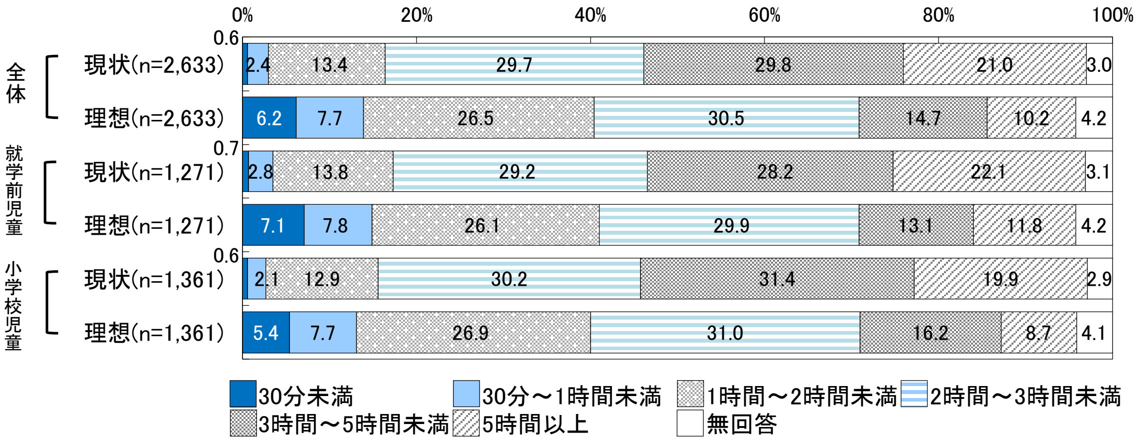
女性養育者の休日に子どもと関わる時間について、現状、理想ともに「５時間以上」と回答した割合は、全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても最も高く、現状が理想よりも高くなっている。

【平日の家事等の時間（女性養育者）】



女性養育者の平日の家事等の時間について、「３時間以上」と回答した割合は、全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても、現状が理想よりも高くなっている。

【休日の家事等の時間（女性養育者）】



女性養育者の休日の家事等の時間について、『３時間以上』と回答した割合は、全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても、現状が理想よりも高くなっている。

【優先度（女性養育者）】

		回答数	仕事を優先している	子どもと関わる時間を優先している	家事等の時間を優先している	プライベートの時間を優先している	仕事、子育て、家事、プライベートの時間をともに大切にしている	特にない	無回答
全体	現状	2,633	10.7%	32.2%	14.0%	0.6%	36.7%	4.4%	3.4%
	理想	2,633	1.2%	22.9%	1.1%	4.6%	65.5%	3.1%	4.0%
就学前児童	現状	1,271	9.0%	40.1%	12.0%	0.7%	32.6%	4.0%	3.4%
	理想	1,271	0.9%	27.4%	0.9%	4.6%	62.0%	2.8%	4.1%
小学校児童	現状	1,361	12.3%	24.8%	15.9%	0.6%	40.4%	4.8%	3.4%
	理想	1,361	1.5%	18.7%	1.2%	4.6%	68.8%	3.3%	3.9%

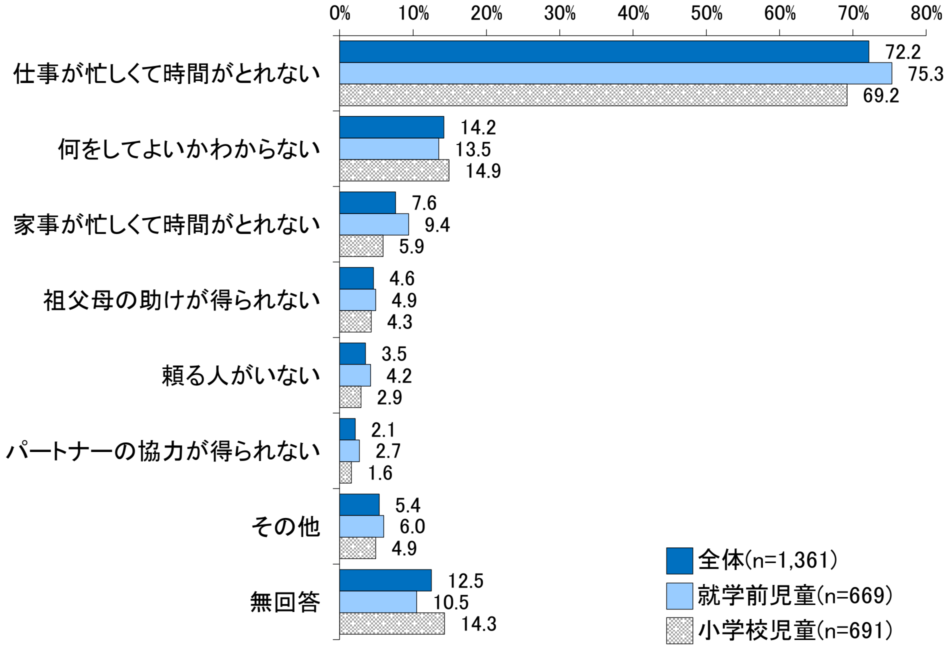
＊ 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が 100.0%を超える。

女性養育者の優先度について、「仕事、子育て、家事、プライベートの時間をともに大切にしている」と回答した割合は、全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても、理想が現状よりも高くなっている。

現状と理想の時間が異なっている人のみ回答

問 26-1　現状と理想の時間が異なるのは、何が原因であると考えられますか。
（〇はいくつでも）

【現状と理想の時間が異なる原因（男性養育者）】



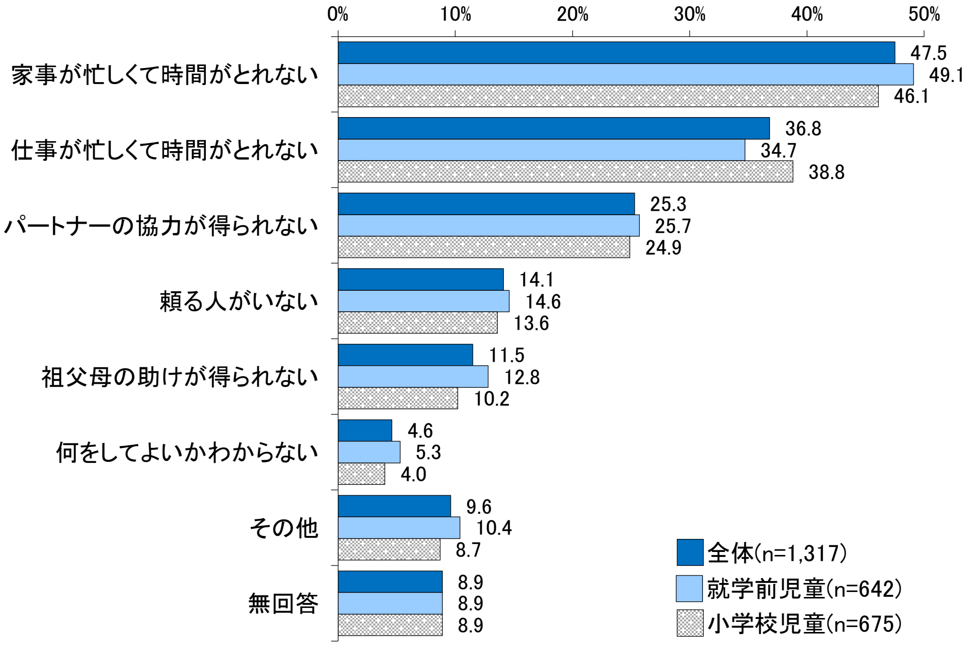
男性養育者の現状と理想の時間が異なる原因について、「仕事が忙しくて時間がとれない」と回答した割合が全体で 72.2%、就学前児童で 75.3%、小学校児童で 69.2%と最も高くなっている。

【現状と理想の時間が異なる原因（男性養育者）（年齢・学年別）】

		回答数	仕事が忙しくて時間がとれない	何をしてよいかわからない	家事が忙しくて時間がとれない	祖父母の助けが得られない	頼る人がいない	パートナーの協力が得られない	その他	無回答
就学前児童	0歳	173	72.3%	13.9%	8.7%	4.0%	2.9%	2.9%	5.2%	12.7%
	1・2歳	196	76.0%	15.3%	8.2%	4.6%	4.6%	2.6%	6.1%	10.2%
	3～5歳	297	76.4%	12.1%	10.8%	5.7%	4.7%	2.7%	6.4%	9.4%
小学校児童	1～3年生	363	67.8%	13.8%	5.8%	6.3%	2.5%	1.1%	6.6%	16.0%
	4～6年生	326	71.2%	16.0%	6.1%	2.1%	3.4%	2.1%	3.1%	12.3%

年齢・学年別にみると、「仕事が忙しくて時間がとれない」と回答した割合は、すべての年齢・学年で高くなっている。

【現状と理想の時間が異なる原因（女性養育者）】



女性養育者の現状と理想の時間が異なる原因について、「家事が忙しくて時間がとれない」と回答した割合が全体で 47.5%、就学前児童で 49.1%、小学校児童で 46.1%と最も高く、次いで「仕事が忙しくて時間がとれない」（全体 36.8%・就学前児童 34.7%・小学校児童 38.8%）となっている。

【現状と理想の時間が異なる原因（女性養育者）（年齢・学年別）】

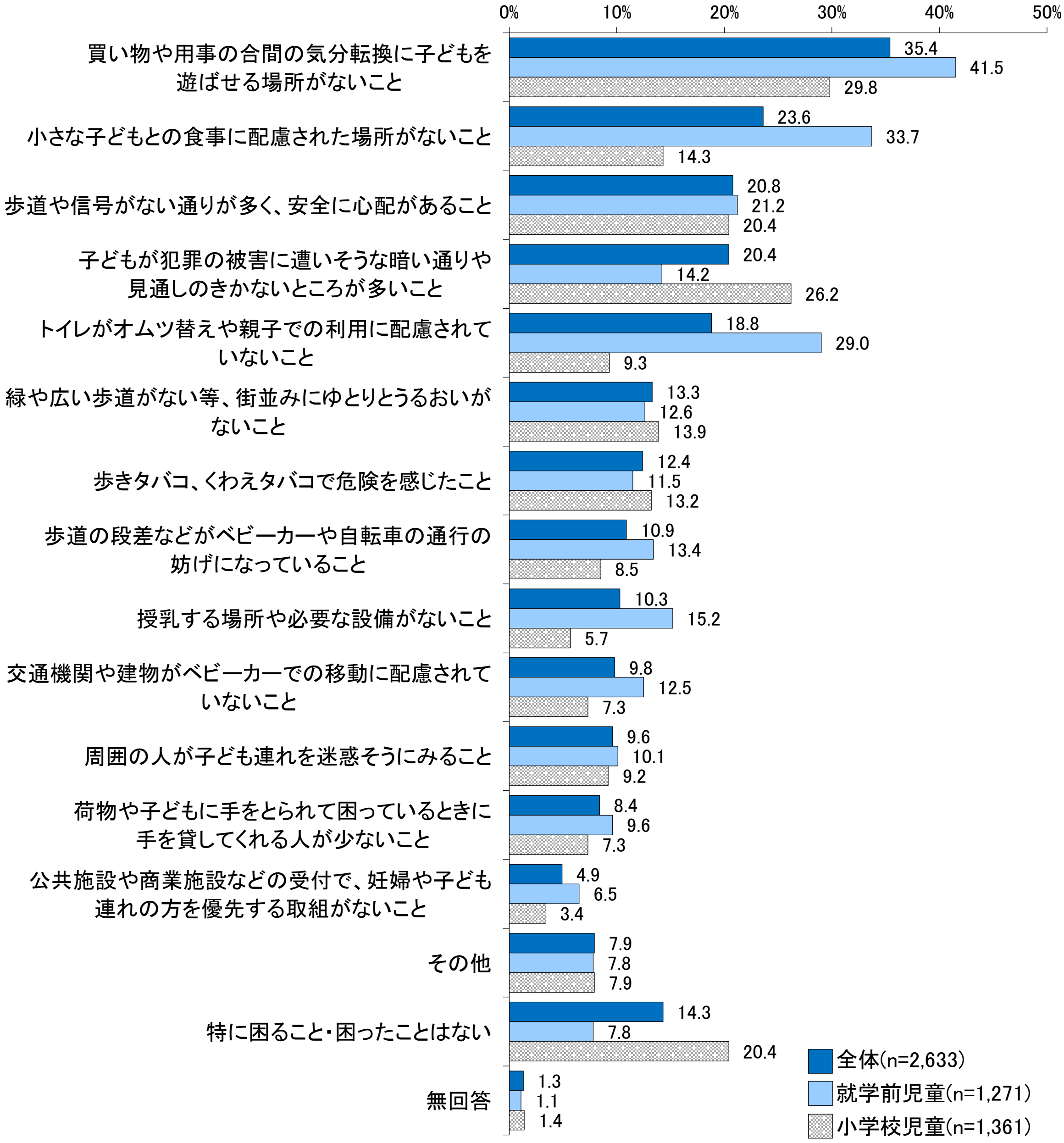
		回答数	家事が忙しくて時間がとれない	仕事が忙しくて時間がとれない	パートナーの協力が得られない	頼る人がいない	祖父母の助けが得られない	何をしてよいかわからない	その他	無回答
就学前児童	0歳	158	40.5%	13.9%	28.5%	13.3%	12.7%	5.7%	15.8%	12.7%
	1・2歳	186	49.5%	43.0%	20.4%	17.7%	15.1%	5.9%	9.7%	7.5%
	3～5歳	295	53.6%	40.7%	27.5%	13.2%	11.5%	4.7%	8.1%	7.8%
小学校児童	1～3年生	367	49.6%	38.4%	22.1%	16.1%	12.3%	4.9%	9.0%	8.7%
	4～6年生	302	42.4%	39.1%	28.1%	10.3%	7.6%	3.0%	8.3%	9.3%

年齢・学年別にみると、「仕事が忙しくて時間がとれない」と回答した割合は、１・２歳、３～５歳、１～３年生で高くなっている。

（3）子どもとの外出時に困ること・困ったこと

問 27　子どもと外出の際、困ること・困ったことは何ですか。（○は主なもの３つまで）

【子どもとの外出時に困ること・困ったこと】



子どもとの外出時に困ること・困ったことについて、「買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと」と回答した割合が全体で 35.4%、就学前児童で 41.5%、小学校児童で 29.8%と最も高く、「小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」（全体 23.6%・就学前児童 33.7%・小学校児童 14.3%）、「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」（全体 20.8%・就学前児童 21.2%・小学校児童 20.4%）、「子どもが犯罪の被害に遭いそうな暗い通りや見通しのきかないところが多いこと」（全体 20.4%・就学前児童 14.2%・小学校児童 26.2%）、「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」（全体 18.8%・就学前児童 29.0%・小学校児童 9.3%）が続いている。

【子どもとの外出時に困ること・困ったこと（年齢・学年別）】

		回答数	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと	歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること	子どもが犯罪の被害に遭いそうな暗い通りや見通しのきかないところが多いこと	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと	緑や広い歩道がない等、街並みにゆとりとうるおいがないこと	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと	歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること
就学前児童	0歳	307	30.6%	40.7%	15.3%	8.8%	35.2%	11.1%	11.1%	20.5%
	1・2歳	373	43.4%	37.8%	22.5%	12.3%	30.0%	11.5%	13.4%	12.1%
	3～5歳	588	46.1%	27.4%	23.3%	18.2%	24.8%	14.1%	10.5%	10.5%
小学校児童	1～3年生	712	36.4%	16.3%	19.5%	26.8%	10.7%	15.7%	14.0%	9.6%
	4～6年生	641	22.6%	12.0%	21.5%	25.7%	7.6%	12.0%	12.0%	7.3%

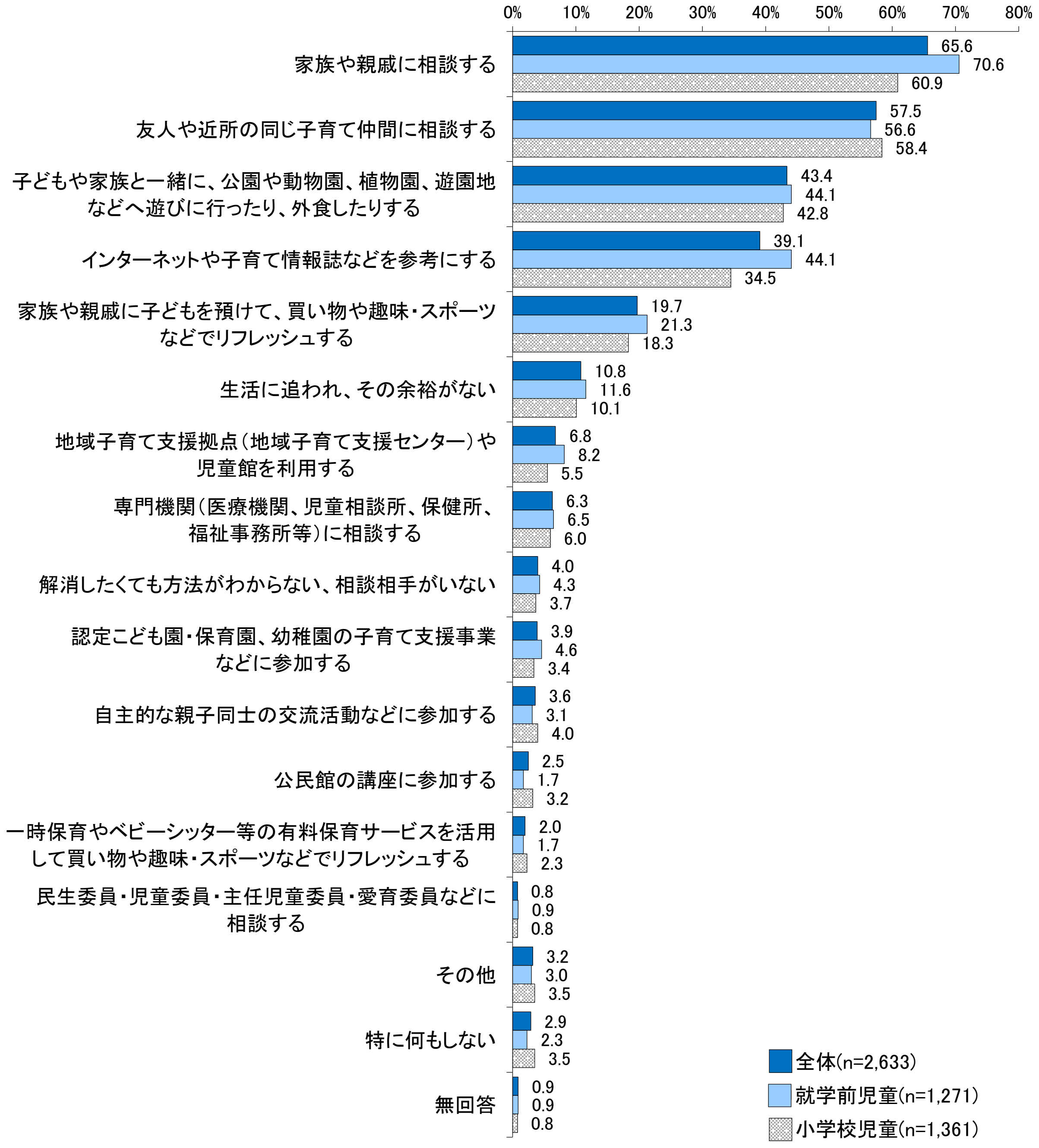
		回答数	授乳する場所や必要な設備がないこと	交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと	周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみること	荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ないこと	公共施設や商業施設などの受付で、妊婦や子ども連れの方を優先する取組がないこと	その他	特に困ること・困ったことはない	無回答
就学前児童	0歳	307	25.7%	20.8%	8.1%	9.8%	6.2%	9.1%	5.2%	1.0%
	1・2歳	373	13.7%	14.2%	10.2%	10.2%	6.7%	6.4%	6.2%	1.3%
	3～5歳	588	10.5%	7.0%	11.2%	9.2%	6.6%	8.0%	10.2%	1.0%
小学校児童	1～3年生	712	6.6%	6.9%	9.1%	9.1%	3.5%	10.1%	15.7%	1.1%
	4～6年生	641	4.7%	7.6%	9.2%	5.1%	3.3%	5.6%	25.3%	1.7%

年齢・学年別にみると、「買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと」と回答した割合は、１・２歳、３～５歳で、「小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」、「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」と回答した割合は、０歳、１・２歳で、「子どもが犯罪の被害に遭いそうな暗い通りや見通しのきかないところが多いこと」と回答した割合は、１～３年生、４～６年生で、「歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること」、「授乳する場所や必要な設備がないこと」、「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと」と回答した割合は、０歳で高くなっている。

（4）子育てに関する悩みやストレスの解消方法

問 28　子育てに関して、不安や悩み、ストレスを感じたときどのように解消していますか。または、解消しましたか。（○はいくつでも）

【子育てに関する悩みやストレスの解消方法】



子育てに関する悩みやストレスの解消方法について、「家族や親戚に相談する」と回答した割合が全体で 65.6％、就学前児童で 70.6％、小学校児童で 60.9％と最も高く、次いで「友人や近所の同じ子育て仲間に相談する」（全体 57.5％・就学前児童 56.6％、小学校児童 58.4％）となっている。

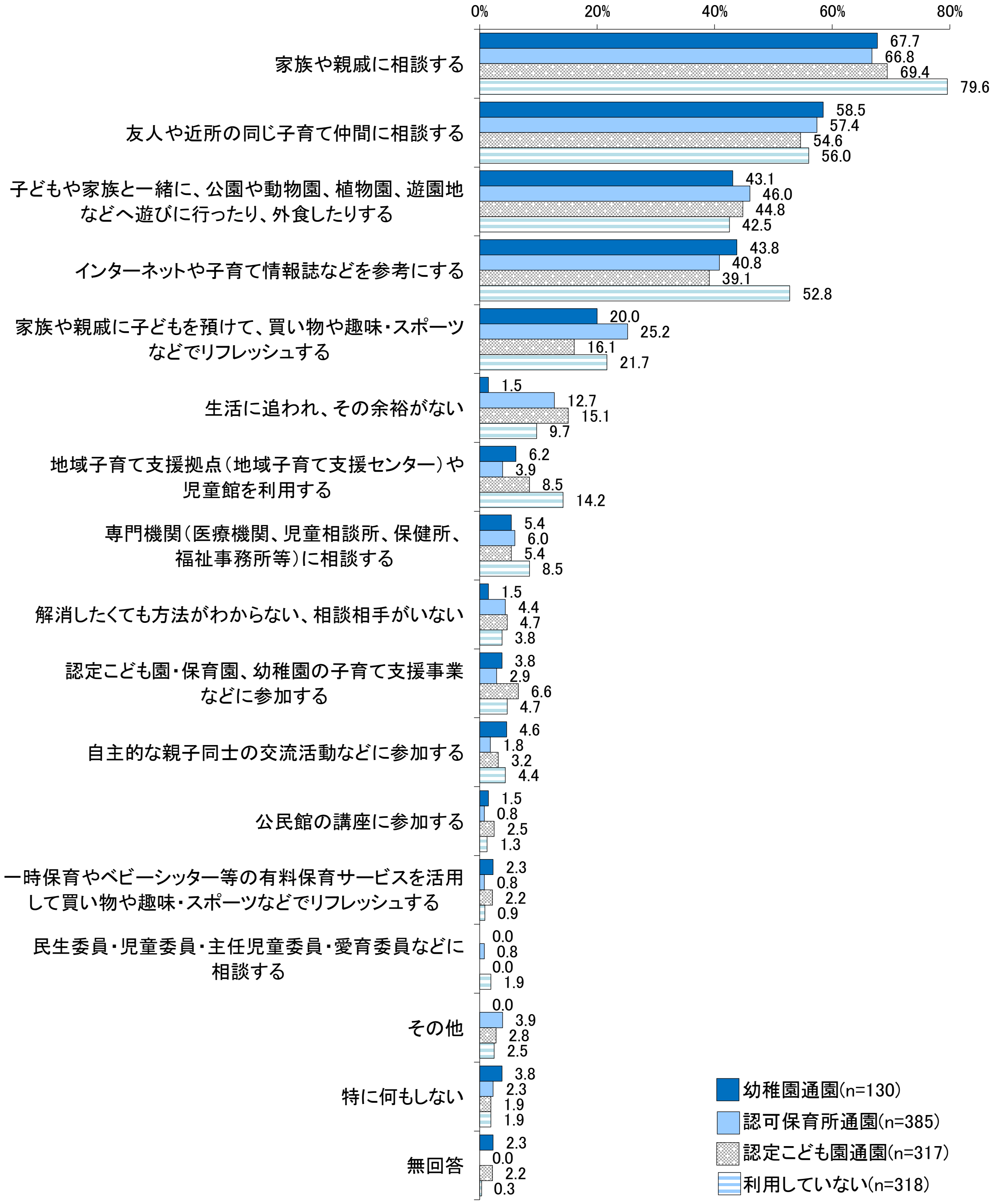
【子育てに関する悩みやストレスの解消方法（年齢・学年別）】

		回答数	家族や親戚に相談する	友人や近所の同じ子育て仲間に相談する	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、外食したりする	インターネットや子育て情報誌などを参考にする	家族や親戚に子どもを預けて、買い物や趣味・スポーツなどでリフレッシュする	生活に追われ、その余裕がない	地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター）や児童館を利用する	専門機関（医療機関、児童相談所、保健所、福祉事務所等）に相談する	解消したくても方法がわからない、相談相手がいない
就学前児童	0歳	307	75.6%	57.7%	39.4%	52.4%	22.8%	9.4%	12.7%	7.5%	3.9%
	1･2歳	373	71.6%	52.3%	46.9%	41.0%	23.3%	13.7%	8.0%	7.0%	4.0%
	3～5歳	588	67.3%	58.7%	44.7%	41.5%	19.2%	11.4%	6.0%	5.8%	4.8%
小学校児童	1～3年生	712	61.4%	57.7%	43.4%	36.0%	20.9%	12.1%	5.8%	6.2%	4.8%
	4～6年生	641	60.4%	59.3%	42.3%	32.9%	15.4%	8.0%	5.3%	5.8%	2.7%

		回答数	認定こども園・保育園、幼稚園の子育て支援事業などに参加する	自主的な親子同士の交流活動などに参加する	公民館の講座に参加する	一時保育やベビーシッター等の有料保育サービスを活用して買い物や趣味・スポーツなどでリフレッシュする	民生委員・児童委員・主任児童委員・愛育委員などに相談する	その他	特に何もしない	無回答
就学前児童	0歳	307	4.6%	4.2%	1.3%	1.3%	2.0%	2.9%	1.6%	0.7%
	1･2歳	373	6.2%	1.3%	1.6%	2.9%	0.3%	3.2%	2.1%	1.3%
	3～5歳	588	3.6%	3.7%	2.0%	1.0%	0.7%	2.9%	2.7%	0.9%
小学校児童	1～3年生	712	4.2%	4.8%	3.9%	2.2%	1.0%	3.9%	3.7%	0.7%
	4～6年生	641	2.5%	3.1%	2.3%	2.3%	0.6%	3.0%	3.3%	0.9%

年齢・学年別にみると、「家族や親戚に相談する」と回答した割合は、年齢・学年が低いほど高く、「インターネットや子育て情報誌などを参考にする」と回答した割合は、０歳で高くなっている。

【子育てに関する悩みやストレスの解消方法（定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況別）】

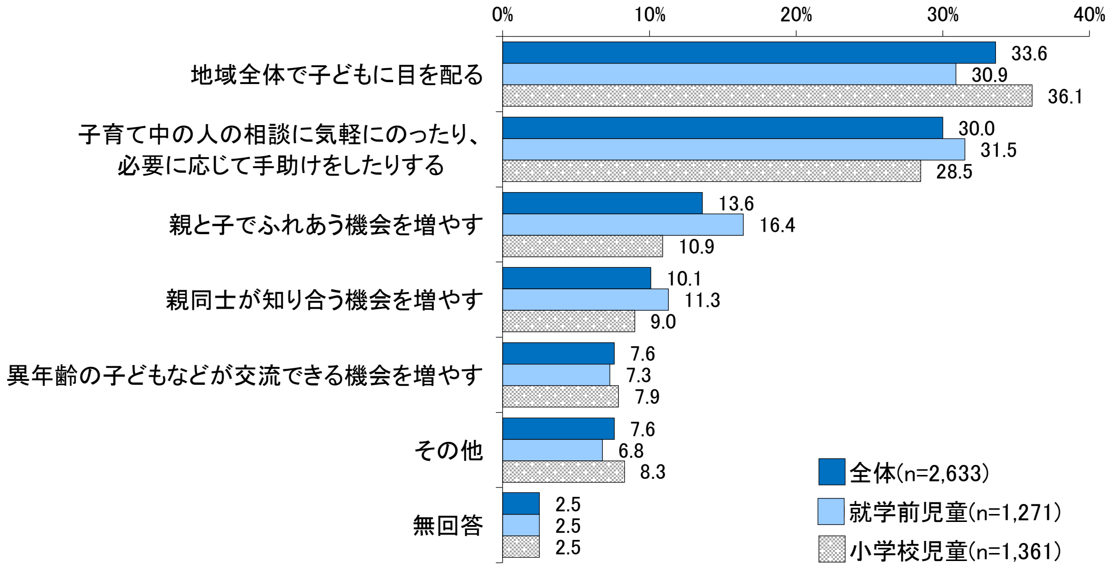


定期的な幼稚園・保育施設等の利用状況別にみると、「家族や親戚に相談する」と回答した割合が最も高く、幼稚園通園の保護者で 67.7%、認可保育所通園の保護者で 66.8%、認定こども園通園の保護者で69.4%、利用していない保護者で79.6%となっている。

（5）地域社会に望む支援

問 29　地域社会には、どのような支援を望みますか。（〇は１つ）

【地域社会に望む支援】



＊ 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が 100.0%を超える。

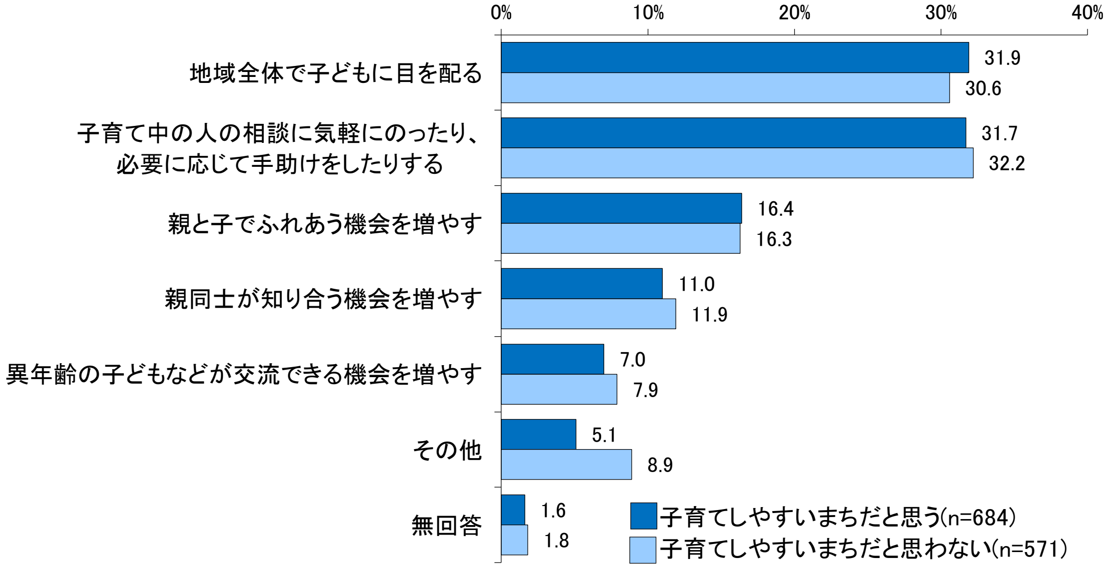
地域社会に望む支援について、「地域全体で子どもに目を配る」と回答した割合が全体で 33.6%、就学前児童で 30.9%、小学校児童で 36.1%、「子育て中の人の相談に気軽にのったり、必要に応じて手助けをしたりする」と回答した割合が全体で 30.0%、就学前児童で 31.5%、小学校児童で 28.5%となっている。

【地域社会に望む支援（年齢・学年別）】

		回答数	地域全体で子どもに目を配る	子育て中の人の相談に気軽にのったり、必要に応じて手助けをしたりする	親と子でふれあう機会を増やす	親同士が知り合う機会を増やす	異年齢の子どもなどが交流できる機会を増やす	その他	無回答
就学前児童	0歳	307	28.7%	34.5%	16.0%	12.4%	6.8%	7.5%	2.0%
	1･2歳	373	27.6%	32.2%	15.3%	11.3%	9.9%	6.7%	2.9%
	3～5歳	588	34.4%	29.6%	17.0%	10.9%	6.0%	6.6%	2.6%
小学校児童	1～3年生	712	35.5%	27.5%	11.9%	9.7%	8.6%	8.6%	2.8%
	4～6年生	641	36.7%	29.6%	10.0%	8.3%	7.2%	8.0%	2.0%

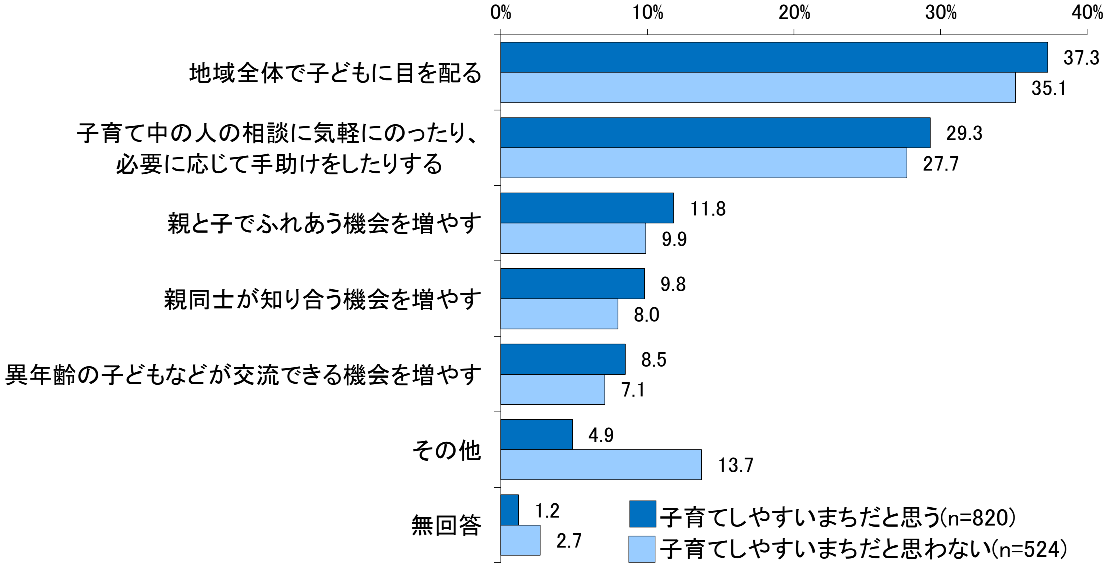
年齢・学年別にみると、「地域全体で子どもに目を配る」と回答した割合は、３～５歳、１～３年生、４～６年生で高くなっている。

【地域社会に望む支援（就学前児童・子育てがしやすいまちの評価別）】



子育てがしやすいまちの評価別にみると、就学前児童では、大きな差はみられない。

【地域社会に望む支援（小学校児童・子育てがしやすいまちの評価別）】

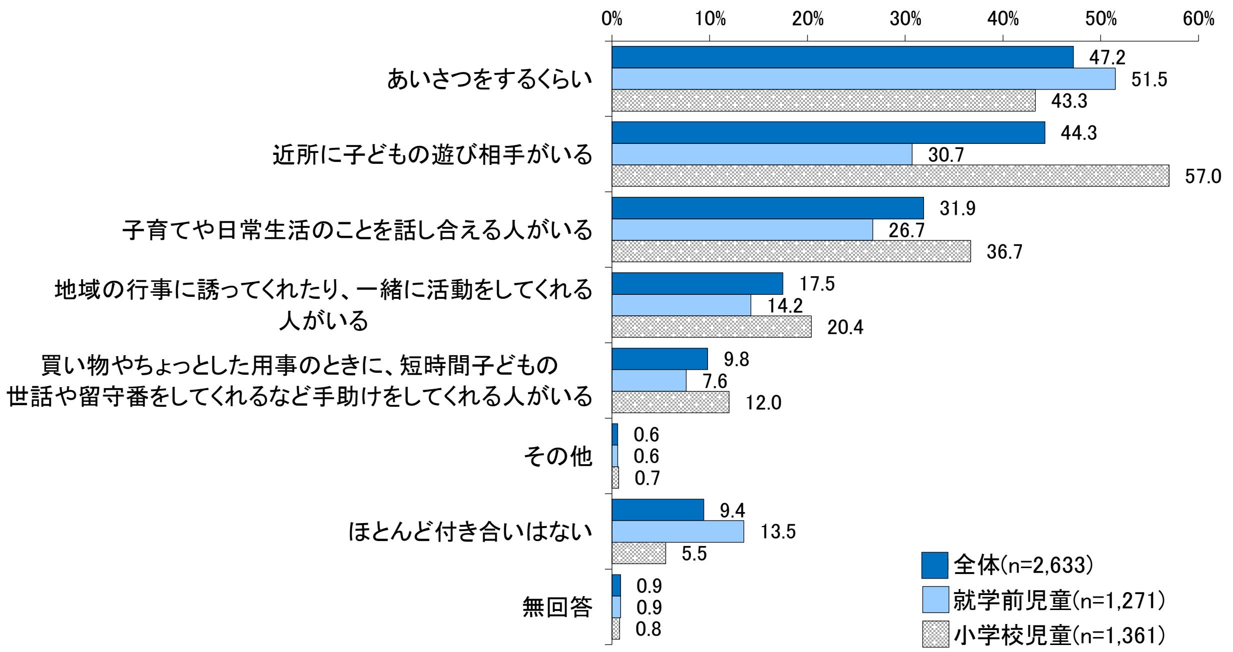


子育てがしやすいまちの評価別にみると、小学校児童では、大きな差はみられない。

（6）隣近所（地域）との付き合い

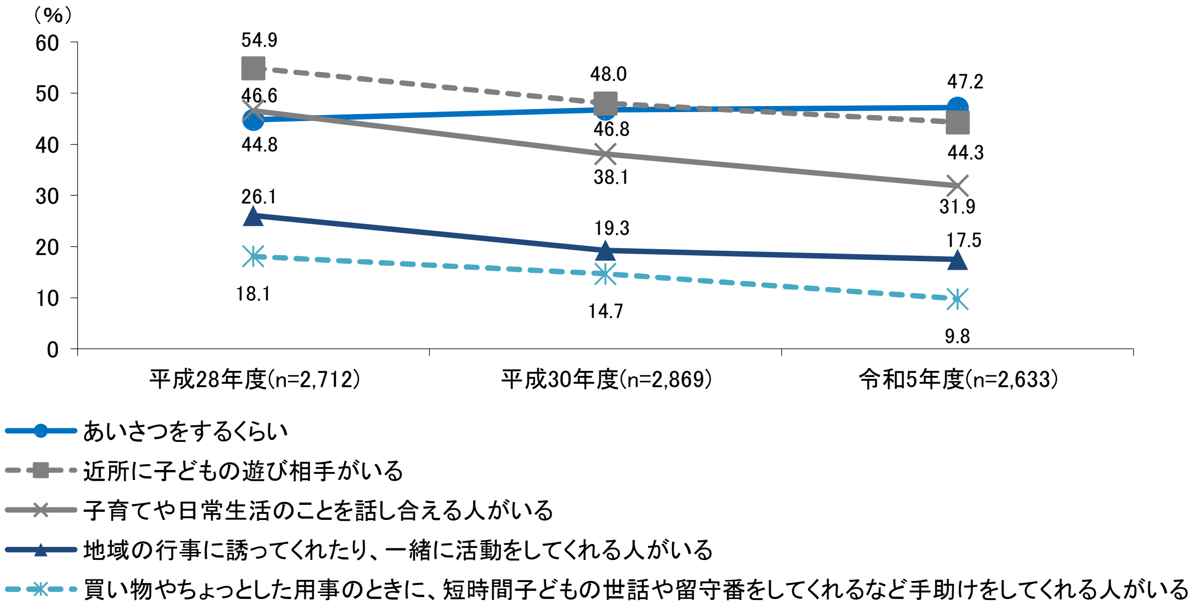
問 30　隣近所（地域）の方とのお付き合いについてうかがいます。（〇はいくつでも）

【隣近所（地域）との付き合い】

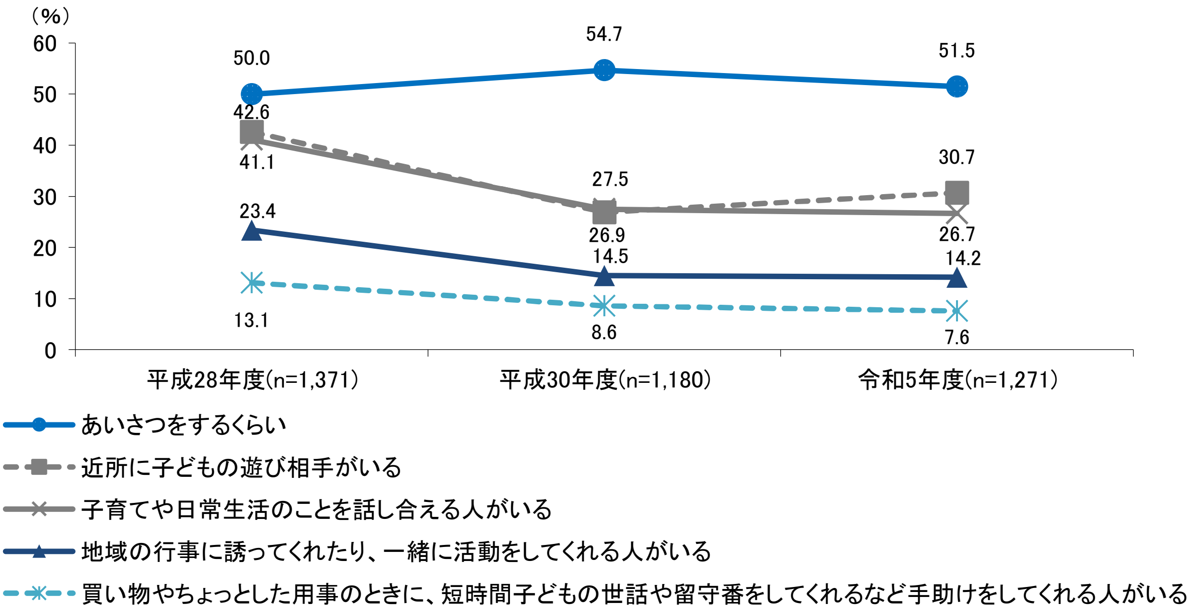


隣近所（地域）との付き合いについて、「あいさつをするくらい」と回答した割合が全体で47.2%、就学前児童で 51.5%、小学校児童で 43.3%、「近所に子どもの遊び相手がいる」と回答した割合が全体で 44.3%、就学前児童で 30.7%、小学校児童で 57.0%となっている。

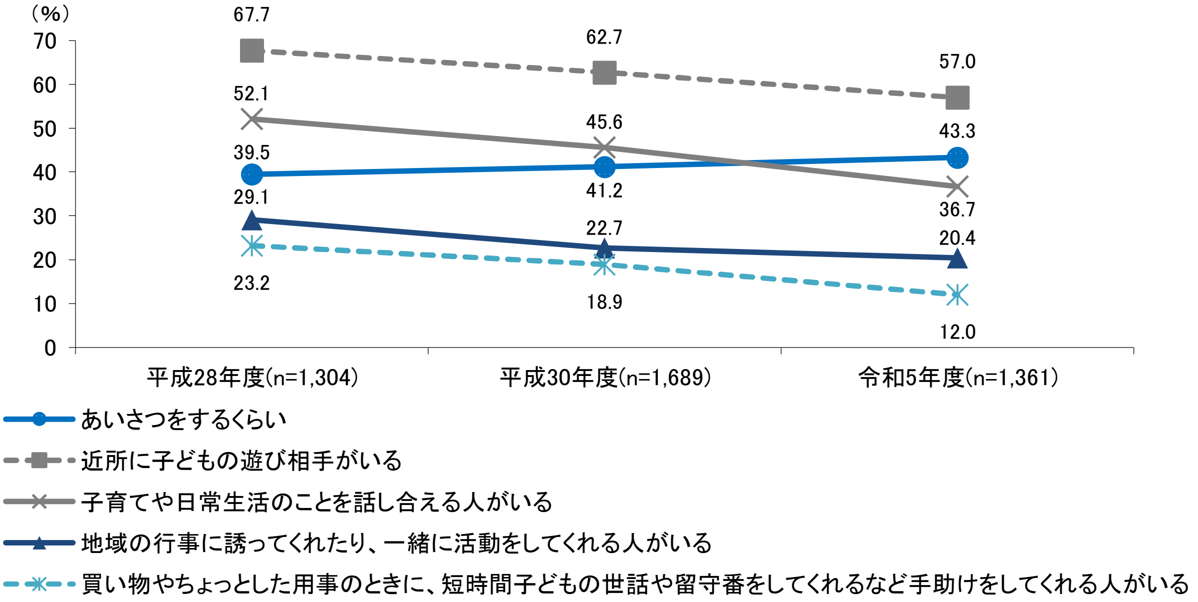
【隣近所（地域）との付き合い（上位５項目）（前回調査結果との比較）】
（全体）



（就学前児童）



（小学校児童）



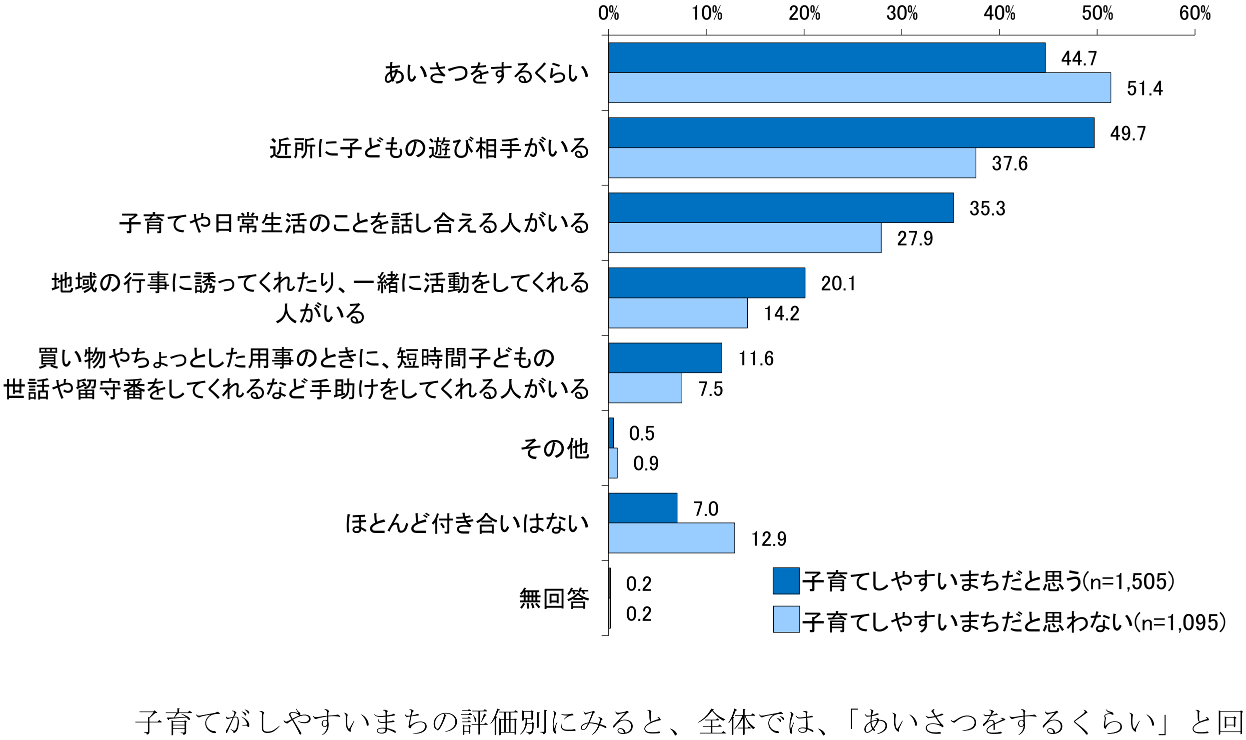
前回調査結果と比較すると、「子育てや日常生活のことを話し合える人がいる」と回答した割合は、いずれも低下している。

【隣近所（地域）との付き合い（年齢・学年別）】

		回答数	あいさつをするくらい	近所に子どもの遊び相手がいる	子育てや日常生活のことを話し合える人がいる	地域の行事に誘ってくれたり、一緒に活動をしてくれる人がいる	買い物やちょっとした用事のときに、短時間子どもの世話や留守番をしてくれるなど手助けをしてくれる人がいる	その他	ほとんど付き合いはない	無回答
就学前児童	0歳	307	53.7%	19.9%	19.2%	11.7%	6.2%	0.3%	21.5%	1.0%
	1・2歳	373	50.7%	24.4%	26.5%	13.7%	5.6%	0.8%	15.3%	1.3%
	3～5歳	588	51.0%	40.3%	30.6%	15.8%	9.5%	0.5%	8.2%	0.7%
小学校児童	1～3年生	712	45.6%	55.5%	35.5%	21.3%	12.4%	1.1%	4.9%	0.7%
	4～6年生	641	40.6%	58.7%	38.4%	19.5%	11.7%	0.3%	6.2%	0.9%

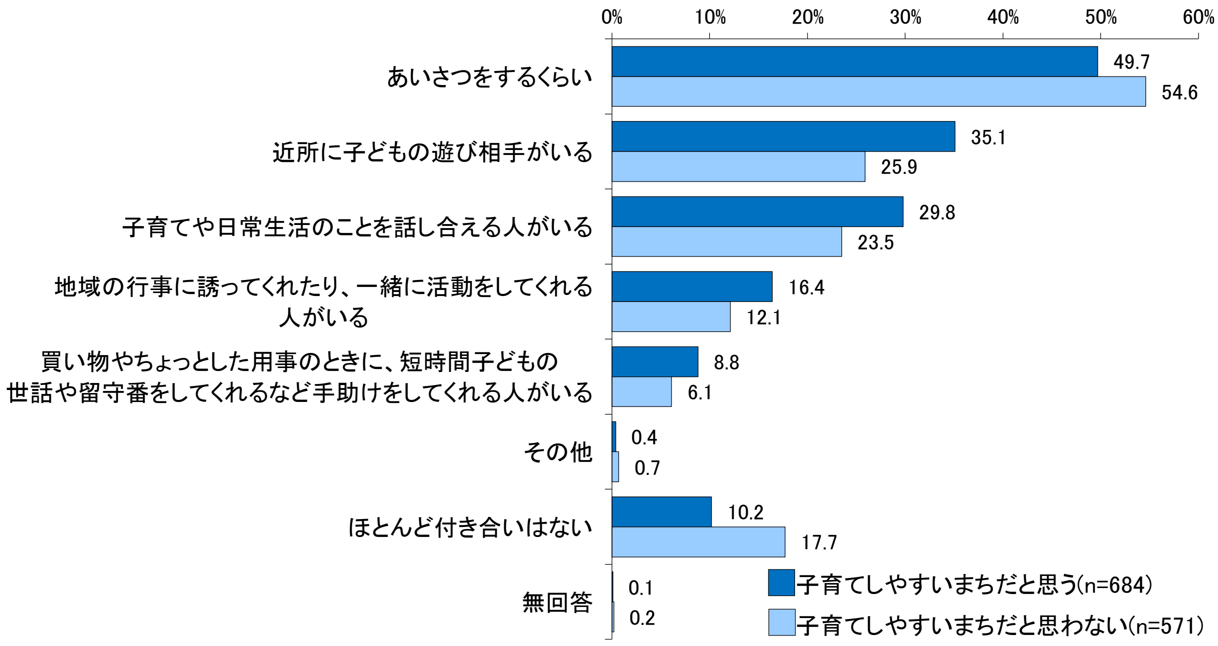
年齢・学年別にみると、「あいさつをするくらい」と回答した割合は、０歳、１・２歳、３～５歳で、「近所に子どもの遊び相手がいる」、「子育てや日常生活のことを話し合える人がいる」と回答した割合は、１～３年生、４～６年生で高くなっている。

【隣近所（地域）との付き合い（全体・子育てがしやすいまちの評価別）】



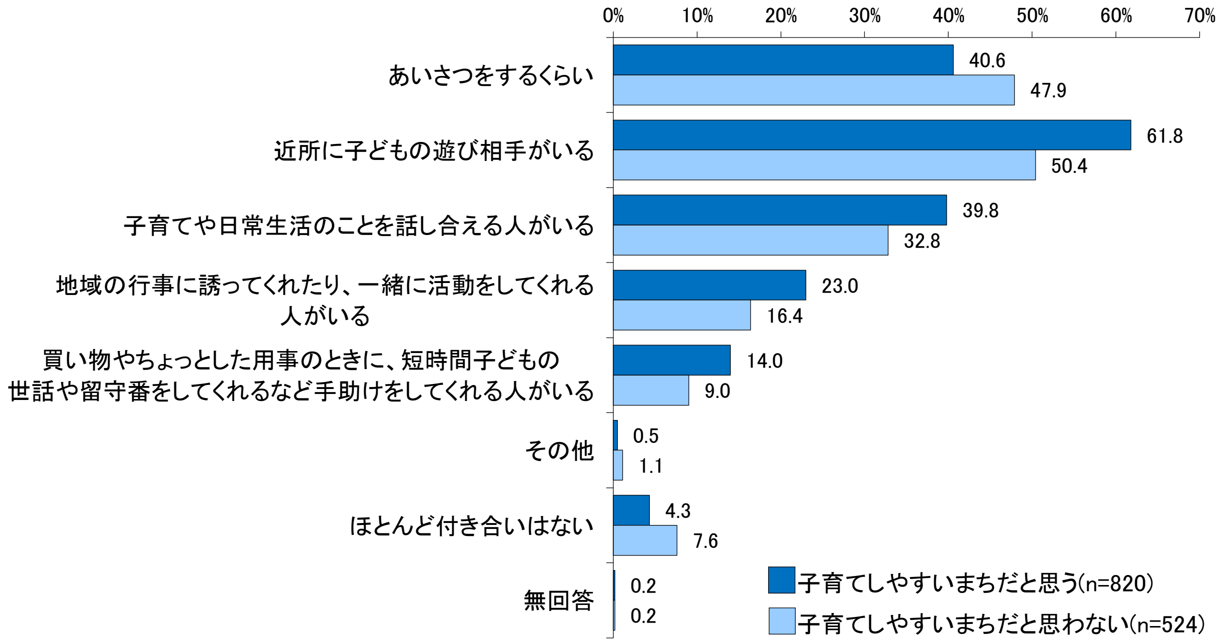
子育てがしやすいまちの評価別にみると、全体では、「あいさつをするくらい」と回答した割合は、子育てしやすいまちだと思わない層で、「近所に子どもの遊び相手がいる」、「子育てや日常生活のことを話し合える人がいる」、「地域の行事に誘ってくれたり、一緒に活動をしてくれる人がいる」と回答した割合は、子育てしやすいまちだと思う層で高くなっている。

【隣近所（地域）との付き合い（就学前児童・子育てがしやすいまちの評価別）】



子育てがしやすいまちの評価別にみると、就学前児童では、「近所に子どもの遊び相手がいる」、「子育てや日常生活のことを話し合える人がいる」と回答した割合は、子育てしやすい町だと思う層で高くなっている。

【隣近所（地域）との付き合い（小学校児童・子育てがしやすいまちの評価別）】

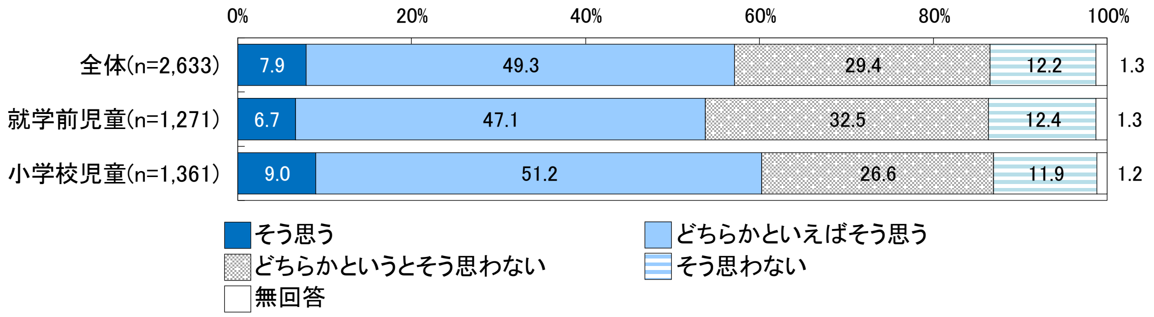


子育てがしやすいまちの評価別にみると、小学校児童では、「あいさつをするくらい」と回答した割合は、子育てしやすいまちだと思わない層で、「近所に子どもの遊び相手がいる」、「子育てや日常生活のことを話し合える人がいる」、「地域の行事に誘ってくれたり、一緒に活動をしてくれる人がいる」と回答した割合は、子育てしやすい町だと思う層で高くなっている。

（7）岡山市の子育てのしやすさの程度

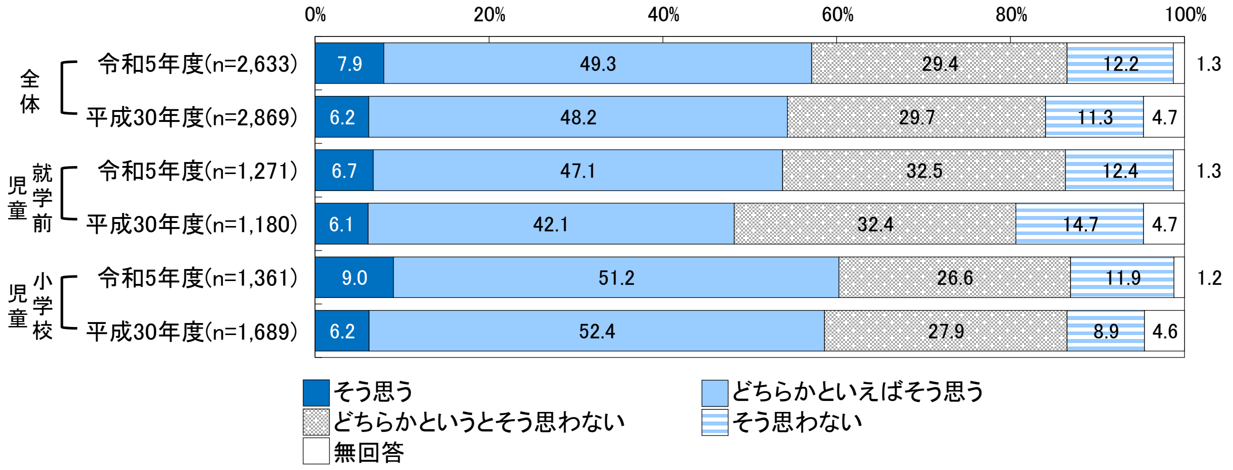
問 31　岡山市は子育てしやすいまちだと思いますか。（〇は１つ）

【岡山市の子育てのしやすさの程度】



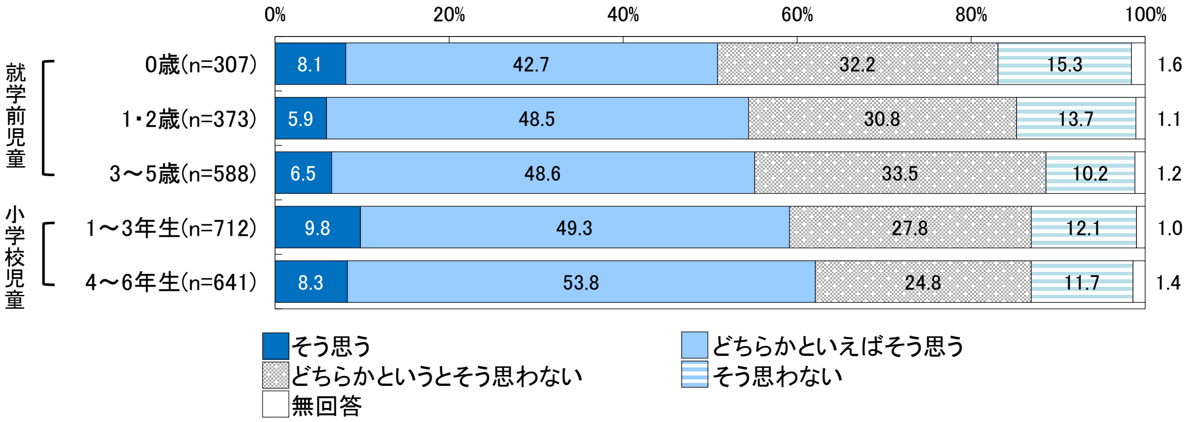
岡山市の子育てのしやすさの程度について、『子育てしやすいと思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）と回答した割合は、全体で 57.2%、就学前児童で 53.8%、小学校児童で 60.2%、『子育てしやすいと思わない』（「そう思わない」＋「どちらかというとそう思わない」）と回答した割合は、全体で 41.6%、就学前児童で 44.9%、小学校児童で 38.5%となっている。

【岡山市の子育てのしやすさの程度（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、『子育てしやすいと思う』と回答した割合は、全体、小学校児童では大きな差はみられないが、就学前児童では 5.6 ポイント上昇している。

【岡山市の子育てのしやすさの程度（年齢・学年別）】



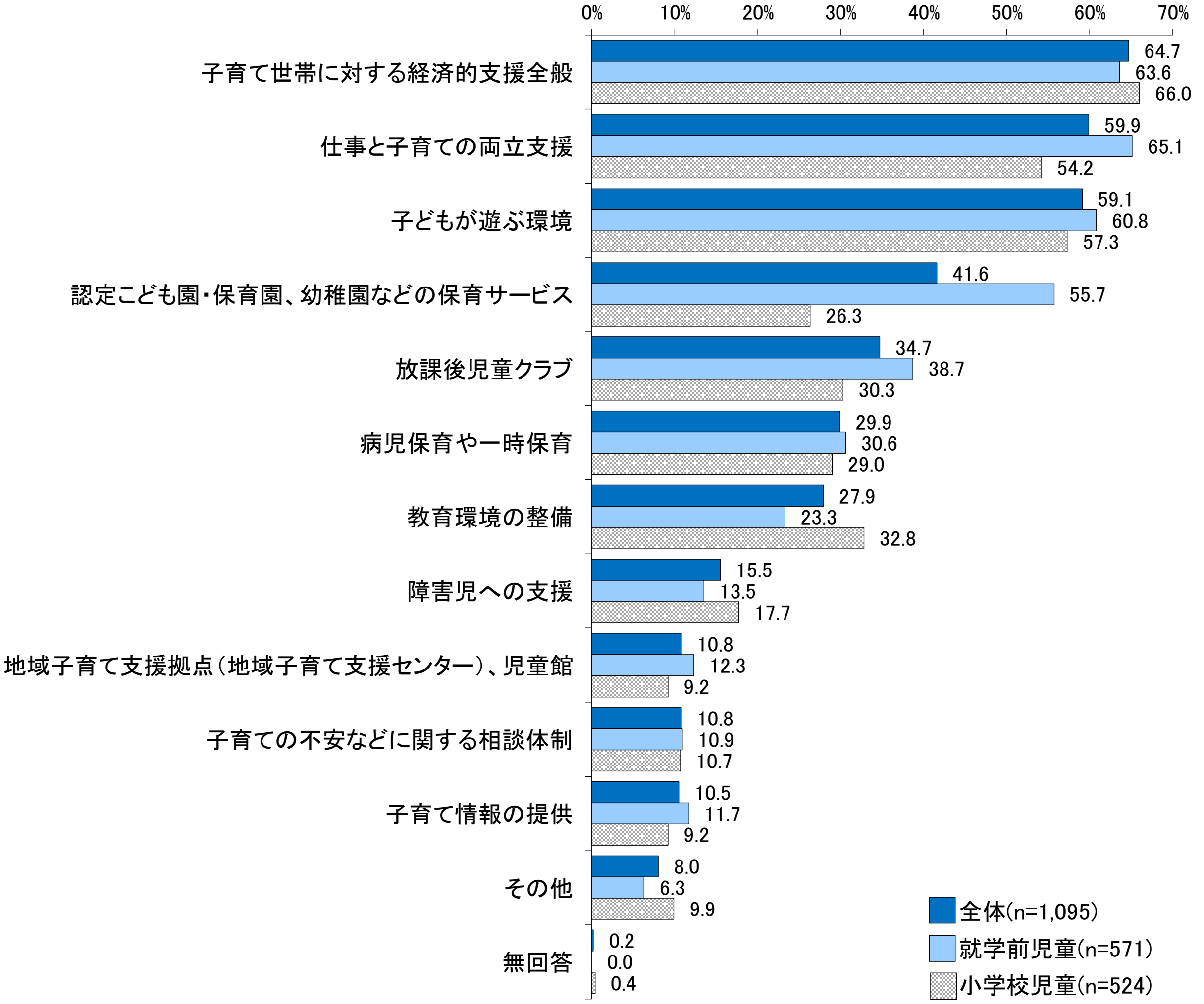
年齢・学年別にみると、『子育てしやすいと思う』と回答した割合は、年齢・学年が上がるほど高くなっている。

（8）子育てしやすいまちにするために充実が必要だと思うこと

問 31 で「３　どちらかというとそう思わない」「４　そう思わない」と回答した人のみ回答

問 31-1　もっと子育てしやすいまちにするために、どのようなことについて充実が必要と思われますか。（○はいくつでも・その中で特に必要と思われるもの３つまで）

【子育てしやすいまちにするために充実が必要だと思うこと】



子育てしやすいまちにするために充実が必要だと思うことについて、「子育て世帯に対する経済的支援全般」と回答した割合が全体で 64.7%、就学前児童で 63.6%、小学校児童で 66.0%、「仕事と子育ての両立支援」と回答した割合が全体で 59.9%、就学前児童で 65.1%、小学校児童で 54.2%、「子どもが遊ぶ環境」と回答した割合が全体で 59.1%、就学前児童で 60.8%、小学校児童で 57.3%となっている。

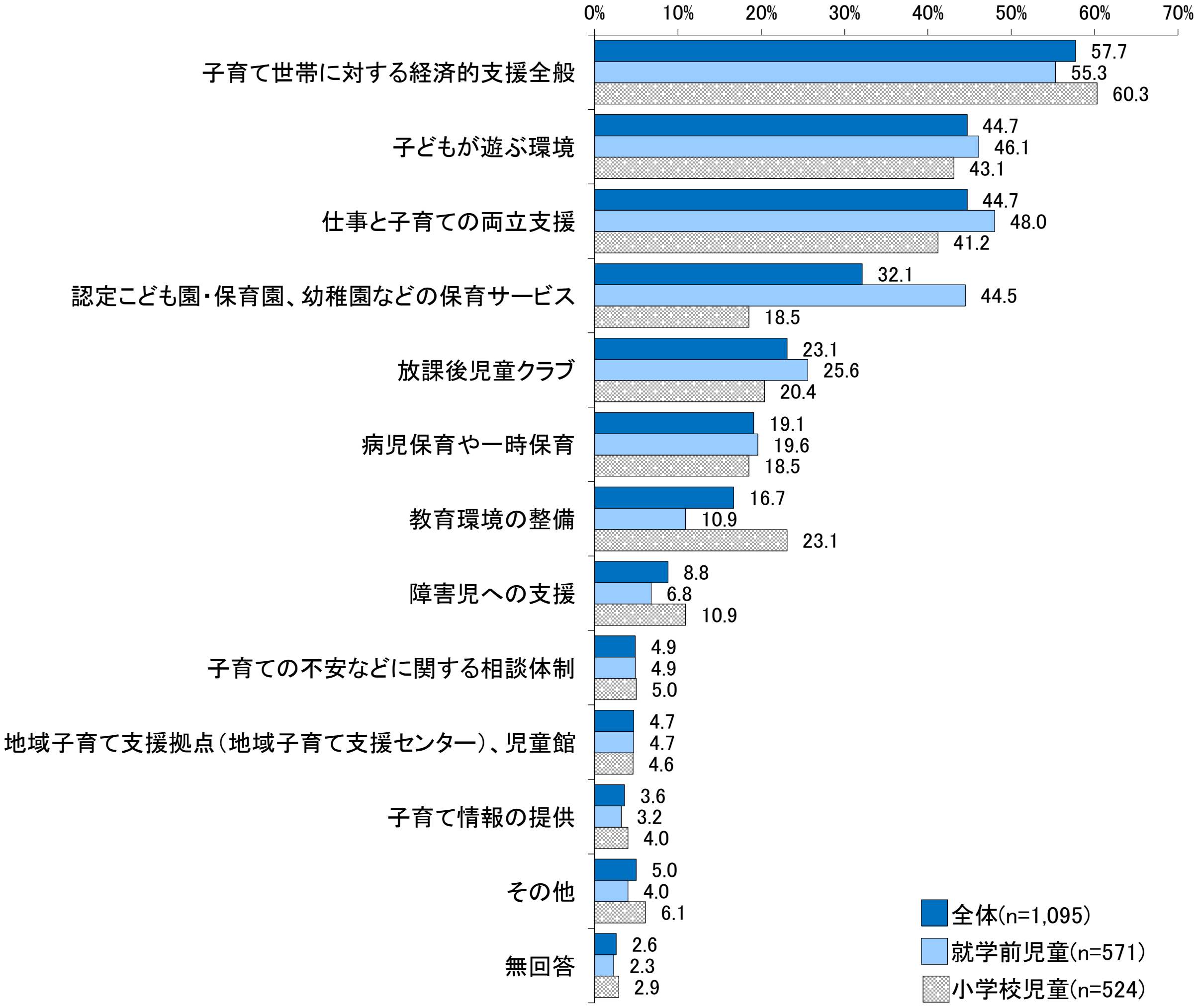
【子育てしやすいまちにするために充実が必要だと思うこと（年齢・学年別）】

		回答数	子育て世帯に対する経済的支援全般	仕事と子育ての両立支援	子どもが遊ぶ環境	認定こども園・保育園、幼稚園などの保育サービス	放課後児童クラブ	病児保育や一時保育	教育環境の整備	障害児への支援
就学前児童	0歳	146	67.1%	69.2%	58.9%	63.0%	26.0%	33.6%	17.8%	8.9%
	1・2歳	166	62.0%	69.9%	53.6%	60.2%	41.0%	32.5%	19.3%	8.4%
	3～5歳	257	62.6%	59.9%	66.5%	48.6%	44.0%	28.0%	29.2%	19.5%
小学校児童	1～3年生	284	64.8%	53.9%	59.2%	27.1%	32.0%	29.6%	32.7%	21.1%
	4～6年生	234	68.4%	55.6%	55.6%	25.6%	27.8%	28.6%	32.9%	14.1%

		回答数	地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター）、児童館	子育ての不安などに関する相談体制	子育て情報の提供	その他	無回答
就学前児童	0歳	146	15.1%	10.3%	8.9%	5.5%	－
	1・2歳	166	9.0%	8.4%	10.2%	4.8%	－
	3～5歳	257	12.8%	12.8%	14.4%	7.8%	－
小学校児童	1～3年生	284	10.9%	11.3%	9.2%	10.9%	0.4%
	4～6年生	234	7.3%	10.3%	9.4%	8.5%	0.4%

年齢・学年別にみると、「仕事と子育ての両立支援」、「認定こども園・保育園、幼稚園などの保育サービス」と回答した割合は、０歳、１・２歳で、「子どもが遊ぶ環境」と回答した割合は、３～５歳で、「放課後児童クラブ」と回答した割合は、１・２歳、３～５歳で、「教育環境の整備」と回答した割合は、３～５歳、１～３年生、４～６年生で高くなっている。

【特に充実が必要だと思うこと】



特に充実が必要だと思うことについて、「子育て世帯に対する経済的支援全般」と回答した割合が全体で 57.7%、就学前児童で 55.3%、小学校児童で 60.3%と最も高く、「子どもが遊ぶ環境」（全体 44.7%・就学前児童 46.1%・小学校児童 43.1%）、「仕事と子育ての両立支援」（全体 44.7%・就学前児童 48.0%・小学校児童 41.2%）が続いている。

【特に充実が必要だと思うこと（年齢・学年別）】

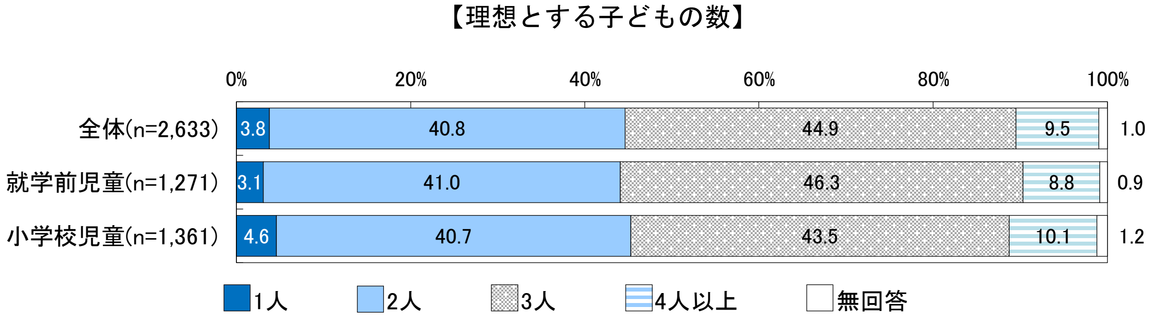
		回答数	子育て世帯に対する経済的支援全般	子どもが遊ぶ環境	仕事と子育ての両立支援	認定こども園・保育園、幼稚園などの保育サービス	放課後児童クラブ	病児保育や一時保育	教育環境の整備	障害児への支援
就学前児童	0歳	146	56.2%	43.2%	53.4%	54.8%	17.8%	20.5%	5.5%	3.4%
	1・2歳	166	56.0%	39.2%	54.2%	48.8%	26.5%	22.3%	7.8%	3.6%
	3～5歳	257	54.5%	52.1%	41.2%	36.2%	29.2%	17.5%	16.0%	10.9%
小学校児童	1～3年生	284	59.2%	43.7%	37.7%	19.0%	21.5%	19.4%	21.1%	13.7%
	4～6年生	234	62.4%	42.7%	46.2%	17.9%	18.4%	17.5%	25.2%	7.7%

		回答数	子育ての不安などに関する相談体制	地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター）、児童館	子育て情報の提供	その他	無回答
就学前児童	0歳	146	6.8%	6.2%	2.7%	4.1%	2.1%
	1・2歳	166	3.0%	5.4%	3.0%	3.0%	2.4%
	3～5歳	257	5.1%	3.5%	3.5%	4.7%	1.9%
小学校児童	1～3年生	284	5.3%	4.6%	3.5%	7.7%	3.5%
	4～6年生	234	4.7%	4.7%	4.7%	4.3%	2.1%

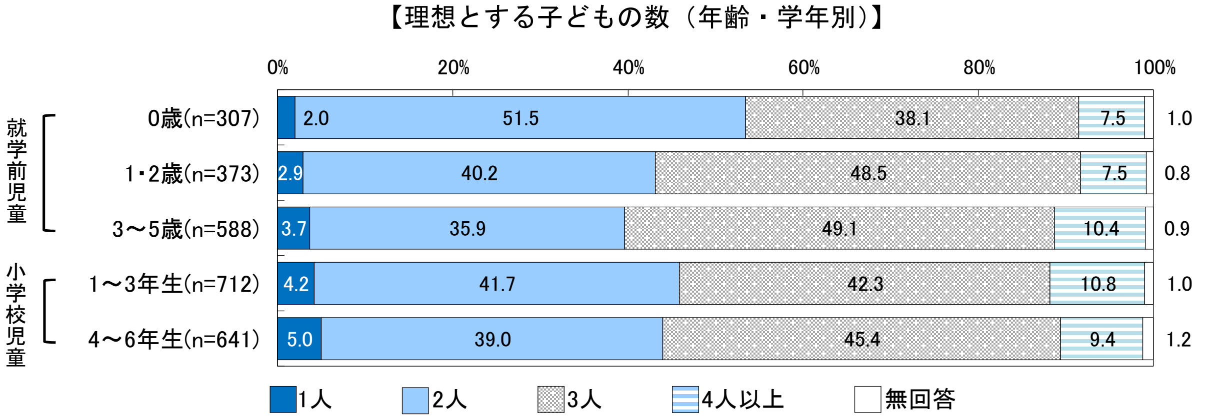
年齢・学年別にみると、「子育て世帯に対する経済的支援全般」と回答した割合は、４～６年生で、「子どもが遊ぶ環境」と回答した割合は、３～５歳で、「仕事と子育ての両立支援」と回答した割合は、０歳、１・２歳で、「認定こども園・保育園、幼稚園などの保育サービス」と回答した割合は、０歳で高くなっている。

（9）子どもをもつことの理想と現実

問 32(1)　理想とする子どもの数は何人ですか。（〇は１つ）



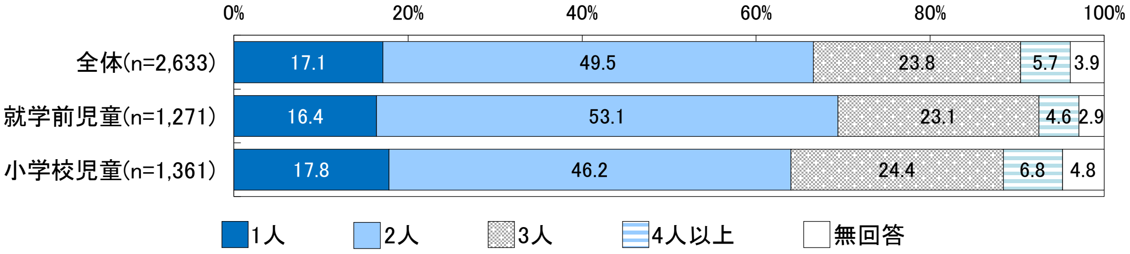
理想とする子どもの数について、「３人」と回答した割合が最も高く、全体で 44.9%、就学前児童で 46.3%、小学校児童で 43.5%となっており、次いで「２人」（全体 40.8%・就学前児童 41.0%・小学校児童 40.7%）となっている。



年齢・学年別にみると、『３人以上』と回答した割合は、０歳を除いた年齢・学年で高くなっている。

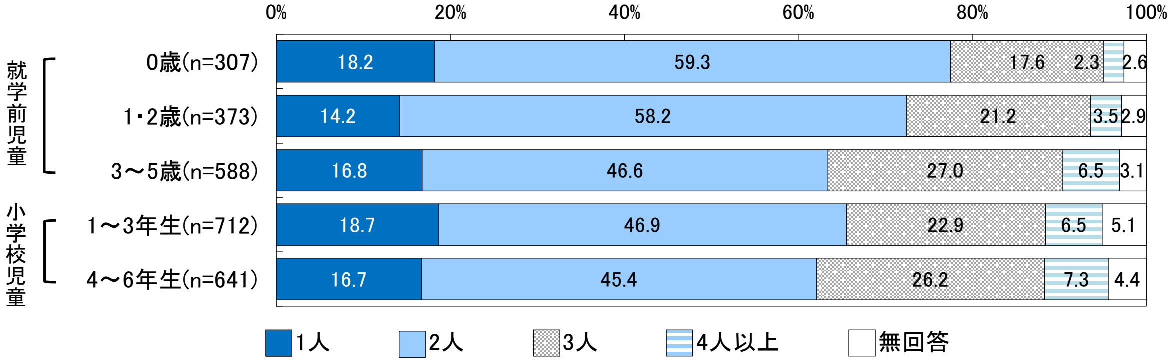
問 32(2)　理想とは別に、実際に予定している子どもの数は何人ですか。（〇は１つ）

【実際に予定している子どもの数】



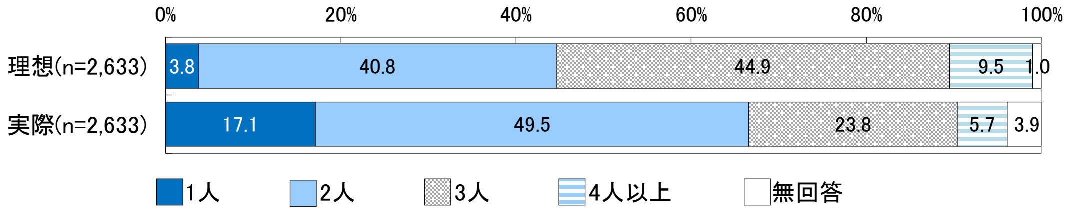
実際に予定している子どもの数について、「２人」と回答した割合が最も高く、全体で49.5%、就学前児童で 53.1%、小学校児童で 46.2%となっており、次いで「３人」（全体23.8%・就学前児童 23.1%・小学校児童 24.4%）となっている。

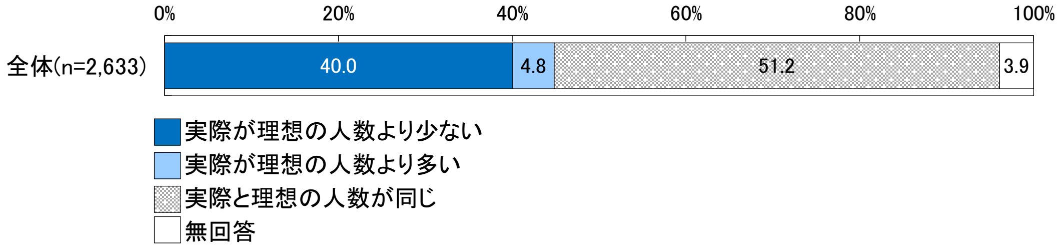
【実際に予定している子どもの数（年齢・学年別）】



年齢・学年別にみると、『３人以上』と回答した割合は、０歳を除いた年齢・学年で高くなっている。

【理想とする子どもの数と実際に予定している子どもの数】





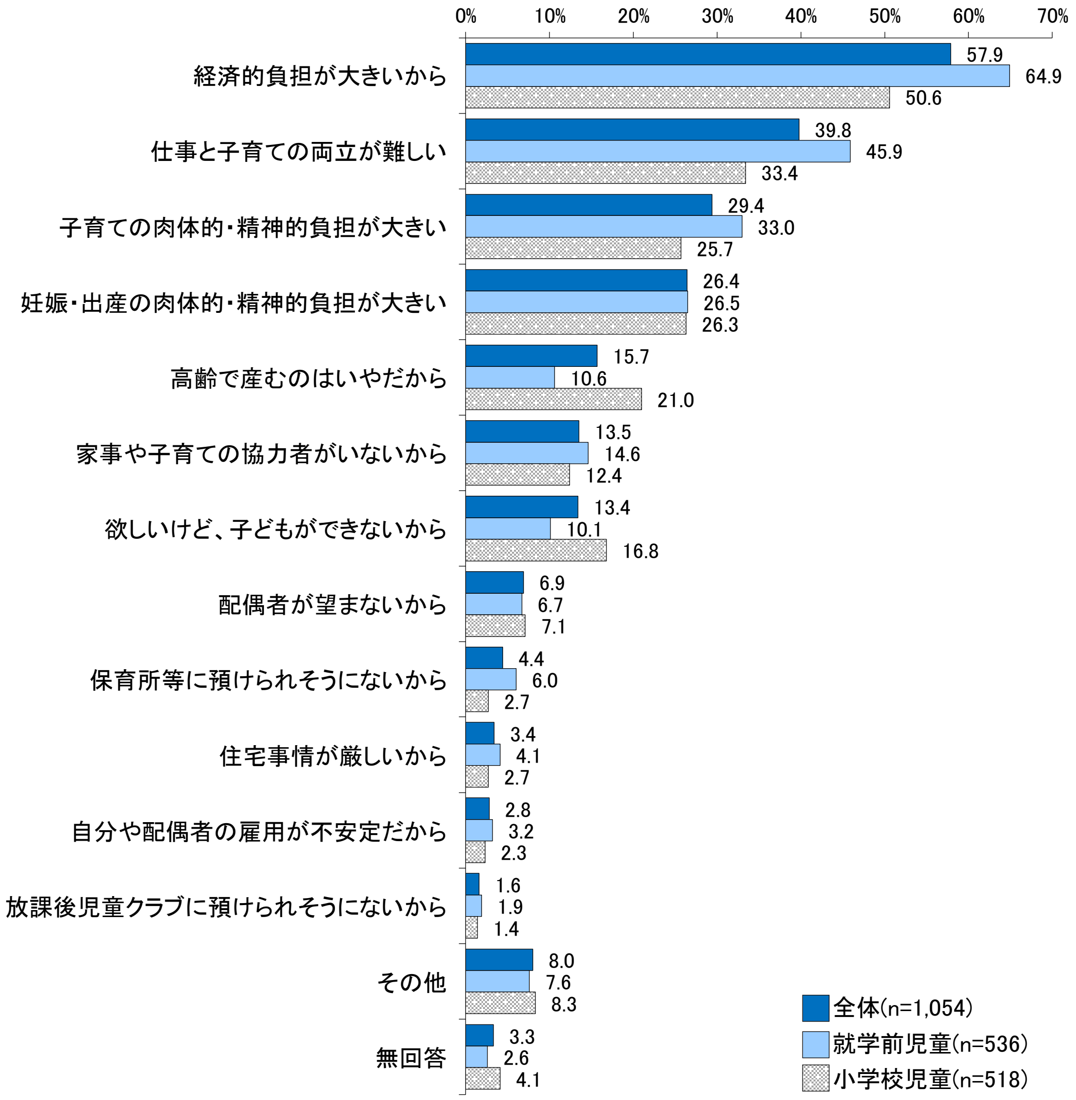
理想の子どもの数と実際に予定している子どもの数をみると、理想の子どもの数では「３人」と回答した割合が４割を超えているが、実際に予定している子どもの数では２割台となっている。

また、実際に予定している子どもの数が理想の子どもの数より少ない割合は 40.0％となっている。

問 32 の理想の数より、実際に予定している子どもの数の方が、少ない人のみ回答

問 32-1　その理由は何ですか。（○は主なもの３つまで）

【実際に予定している子どもの数が少ない理由】



実際に予定している子どもの数が少ない理由について、「経済的負担が大きいから」と回答した割合が全体で 57.9％、就学前児童で 64.9％、小学校児童で 50.6％と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」（全体 39.8％・就学前児童 45.9％・小学校児童 33.4％）となっている。

【実際に予定している子どもの数が少ない理由（年齢・学年別）】

		回答数	経済的負担が大きいから	仕事と子育ての両立が難しい	子育ての肉体的・精神的負担が大きい	妊娠・出産の肉体的・精神的負担が大きい	高齢で産むのはいやだから	家事や子育ての協力者がいないから	欲しいけど、子どもができないから	配偶者が望まないから
就学前児童	0歳	129	72.9%	41.9%	27.9%	31.8%	11.6%	10.9%	5.4%	7.8%
	1・2歳	156	61.5%	55.8%	35.9%	26.9%	5.1%	16.7%	7.7%	5.1%
	3～5歳	251	62.9%	41.8%	33.9%	23.5%	13.5%	15.1%	13.9%	7.2%
小学校児童	1～3年生	290	51.0%	34.5%	27.9%	27.6%	20.7%	12.8%	18.3%	6.2%
	4～6年生	226	49.6%	32.3%	22.6%	24.3%	21.7%	11.9%	15.0%	8.4%

		回答数	保育所等に預けられそうにないから	住宅事情が厳しいから	自分や配偶者の雇用が不安定だから	放課後児童クラブに預けられそうにないから	その他	無回答
就学前児童	0歳	129	9.3%	4.7%	3.9%	0.8%	7.8%	2.3%
	1・2歳	156	5.1%	6.4%	1.3%	2.6%	7.1%	3.2%
	3～5歳	251	4.8%	2.4%	4.0%	2.0%	8.0%	2.4%
小学校児童	1～3年生	290	2.8%	3.1%	2.8%	1.0%	7.2%	3.4%
	4～6年生	226	2.7%	2.2%	1.8%	1.8%	9.3%	4.9%

年齢・学年別にみると、「経済的負担が大きいから」と回答した割合は、０歳で、「仕事と子育ての両立が難しい」と回答した割合は、１・２歳で高くなっている。

Ⅲ　自由意見

市の子育て支援施策に関するご意見等ありましたら、自由にご記入ください。

大項目	小項目	件数
1　子育て支援について	①保育園、幼稚園などの保育サービスについて	117
	②放課後児童クラブ、学童保育、放課後の子どもの居場所について	69
	③病児保育、一時保育について	25
	④子育て支援センター、児童館について	34
	⑤ひとり親への支援について	17
	⑥障害のある子どもへの子育て支援について	33
	⑦多子世帯への支援について	20
	⑧その他子育て支援等について	69
2　相談、情報提供について	①情報提供について	41
	②子育ての不安と相談について	22
	③交流の場、イベントについて	25
3　経済的支援について	①医療費について	104
	②保育料・教育費について	90
	③経済的支援全般について	121
4　子育てと仕事の両立について		34
5　環境について	①施設、道路などハード面での整備について	56
	②子どもが遊ぶ環境について	143
	③文化面での子どもの環境について	6
	④教育環境の整備について	59
	⑤地域の環境について	34
	⑥保育士、教師の待遇改善について	24
6　親の子育てについて		9
7　市の対応、体制について		63
合計		1,215

主な意見

皆様から 1,215 件ものご意見(自由意見)をいただきました。主な意見を掲載します。

※ 文章は原文を基本とし、長文の場合などは一部省略しています。

1 子育て支援について

①保育園、幼稚園などの保育サービスについて

・周りでも仕事をしたくても保育園に入れない、保育園が決まっていないから雇用されないと困っている人の声をよく聞く。私自身、フルタイムで働いているのに認可に何年も入れなかった。国は女性に働けというのに子育てしている女性が働きやすい環境が岡山市には整っていないと思う。

・保育園の待機児童が多く、４月入園でないと保育園に預けられない可能性があるからと、職場の上司にも言われたため、育休を１年間取れず、子どもも早いうちから入園させなければならなくなり、さみしい思いをさせました。保育サービスをはじめとした子育て支援の充実を強く希望します。

・保育園に入れず困っています。どこでもいいのではなく、自宅・勤務地近くに入りたいが、兄弟加点がない限り幼いほど入ることはできず、夫婦とも企業主導型保育に入っていない企業勤務だと認可外でも決まらず非常に困っています。

②放課後児童クラブ、学童保育、放課後の子どもの居場所について

・パート勤務で、夏休みなど長期休みのみ学童保育を利用したいのですが、現在、空きがなくむずかしいと言われ、年間の利用をしています。学童にもっと利用できる幅が増えると利用しやすいです。

・土日に保育が延長できなかったり、学童が毎週開所されていないことは、土日に仕事のある保護者には死活問題です。8：00～17：00、土日休みの勤務体制の人ばかりではないことをご理解頂き見直しをご検討ください。

・小学校に入学してから仕事をどうするか今から悩んでいます。児童クラブも行き渋る子がいると聞きますし、時短で働いていると利用できないこともあると聞きました。希望者が利用しやすく、また、利用したいと思える場所を作ってほしいです。

・放課後児童クラブは、６年生まで使用できる状態を継続してほしい。

・学童が利用できなくて仕事時間を短縮せざるを得ない。働きたいのに働けない状態。就労時間が午前中のみだけど、夏休みだけの利用がむずかしいから通年利用をしているという人が多く、フルタイム就労なのに学年が上がれば学童利用ができないという不公平な問題があることを知ってほしい。

③病児保育、一時保育について

・もう少し一時保育を利用しやすいようにしてほしい。例えば、ネットで一覧で空き状況が分かるようにして予約もネットなどでできたら急な用事に預けやすいと思う。保育園側もいちいち電話対応しなくてよさそう。いつも８件ほど電話して断わられるので、その度に子育てしにくいなと思って悲しくなる。

・一時保育や１日だけの預かりや１日何円でとか、病気でも見てくれる場所があったらよかった。
・病児保育が少なすぎて予約の争奪戦となり、預けられないこともしばしばある状況。保育園内に病児室がほしい。小学校も同様。追加料金はかかっても構わないが、仕事を急に休まなければならなくなるのは職場に迷惑をかけるため働きにくい。
・病児保育の数が少ないし、地域ごとにないので利用しにくいです。その上、利用したことのある病児保育は予約も一般の患者と変わらず優先などがないので、大幅に遅刻することになったりしました。結局、利用料金とその日の稼ぎや移動時間等の負担を天秤にかけて利用はしなくなりました。
・働くようになってからは病児保育を頼りましたが、熱が出て数日預けるとなると費用負担がきついです。兄弟全滅だと更に負担が重なります。最悪その日働いた給料が病児保育料に消えていく場合もあります。ひとり親でなくても、休みにくさはみんな一緒だと思うので、保育料の補助があったらいいなと思います。

④子育て支援センター、児童館について

・街の中にもっと支援センターや児童館を作って交流の場をもたせてほしいです。
・児童館のクラブ行事を週１→週２にしてほしい。保育園に入れないかわりに親子で毎週通える保育園に代わるような施設があれば通いたい。岡山独自に作ってほしい。
・小学生が気軽に遊びや運動をしに通える、ふれあいセンターのような児童館を増やしてほしい。
・児童館などの親子広場等がもう少し少人数であればいいなと思う。多過ぎて他の母子とどう話していいか分からず交流しにくいと思う。
・生後３ヶ月から児童館にお世話になっています。相談できたり友達ができたりとたくさんの刺激を受け、孤立にならず助かっています。まだ知らない方もいるのでもっと認知度が上がればいいなと思います。

⑤ひとり親への支援について

・シングルマザーにもう少し支援してほしい。光熱費の免除や住宅ローンの免除などしてほしい。子どもを育てやすい環境は、金銭面も必要です。
・家庭環境、支援者がいるか、いないかでひとり親でも子育てのしやすさは違うと思うし、個々の環境にもっと配慮して、個別対応や支援をしてほしい。経済的な面も所得制限が低すぎて、支援金がもらえない。子の人数で金額の変化をつけることもやめてほしい。教育・学費に対してもっと手厚い支援がほしい。(無料化など)
・母子家庭で夫とは別居中で就労証明書がもらえなくて児童クラブを断わられた。今は親に預けているが、高齢のため難しい。
・男の子３人を育てるシングルマザーです。小学生になると急に学童費や、学童の延長保育費、学童の土曜日利用料がのしかかり、２人分は払えず、上の子の学童利用を辞めさせたりしました。学童費がもう少し預けやすい金額であると助かります。
・シングルマザーで、非課税世帯です。学童無償化や、習い事や利用施設の割引など希望します。頑張って働いていても、有給が少なく子どもや自分の病気で休んでいたらお給料が少なく、生活が安定しません。周りのお友達が習い事をしていて、自分もしたいと言っていますがやらせてあげられないので親としてとても辛いです。

⑥障害のある子どもへの子育て支援について

・障害のある子が学びやすい、遊びやすい環境づくりをしてほしいです。放課後デイ、日中一時支援、児童発達支援など療育を受けさせる環境が住んでいる地域にはありません。支援学校に通っていても、不登校になってしまい、子どもの学ぶ場もありません。支援学校にも学童を作ってください。

・不登校、発達障害についての支援を充実させてほしい。医療任せや保護者の話を聞いてどこかに紹介するだけではなく、専門的な支援をしてほしい。学校の先生が忙しすぎて相談する時に気が引けるのでどうにかしてほしい。

・ことばの教室や療育（子ども相談所も予約が取りずらい）の空きがないなど、周囲から聞く事が多いです。心理師さんが少ない現状もあると思いますが、希望する親に待てということは、苦痛だろうと思います。市と民間で協力して、より子育てをサポートできる環境づくりを期待しています！

・発達障害児が暮らしやすい環境。小さいうちは、療育や送迎付きの放課後デイサービスなど支援もありますが、中学高校となると、頼れる場所がないです。不登校の子への支援が本当に薄い。家から遠く金額も高い場所しかない。働かないと食べさせていけないし遠くまで送迎もできない。もっと子ども自身が相談できる場所や子どもの拠り所が近くにほしい。

・重度障害児を預かってくれる施設が少なすぎる。

⑦多子世帯への支援について

・多子世帯向けの施策が不十分。保育所利用の制度も双子や年子向けで、多くの兄弟にはメリットが感じられない。歳の差があったとしても複数人子どもがいたら利用料軽減があったり、次子が同じ保育所を利用できる点数を上げたり、多子世帯は子ども手当上乗せする、などがあれば、新たに子どもを生むことを考えられる。

・第三子以降の子どもについて色々免除があったりしますが、歳の離れた兄弟がいるところは上の子の成長に伴い第一子扱いになってくるので不利だと思います。

・保育料も兄弟の年が離れていると半額、免除がなくなるということはやめていただきたいです。多子世帯にもっと手厚い支援をお願いします。

⑧その他子育て支援等について

・不妊治療に関して、もう少しサポートしてほしい。（補助金等）

・こんにちは赤ちゃん事業、とてもありがたいのですが、知らない人が急に訪ねて来られる場合、応答しないことが多いので（最近物騒なので）あらかじめ訪問する日や訪問して来る方の特徴などを教えておいてもらえると助かります。明石市のようにおむつ等をいただけるとよりうれしいです。

・頼れる人、預けられる人がいないので、一時的に預けたいときに予約なしで、保育資格や教員免許を持たれている方が、0歳～10歳位までの子どもを見てくれる施設があれば利用したい。

・就園前に親子クラブ、園庭開放、保育園の子育て講座、ふれあいセンターの託児付き講座など、いろいろな子育て支援に本当に助けられました。保育園や学童など働く保護者に対しての支援もとても大切だと思いますが、家で、一人で子育てをしている保護者に対しての支援も大切だと思います。

・妊娠・出産時から乳幼児期・学童期・それ以降ももっとお金をかけずに安心して子育てができるようにしてほしい。医療面でも教育保育面でも経済的な理由から妊娠することをためらったり、子育てに不安を感じることのないようにしてほしい。親の経済状況によって、子どもたちの育つ環境の格差があるととても感じている。

2 相談、情報提供について

①情報提供について

・児童手当、扶養等、分かりにくいものが多い。育児に関する制度や申請について、ライフサイクルセミナーのような講演会をするなど、もっと知る機会があってもよいと思う。
・転入してきた時、子どもが１歳で、どういった支援や施設があるか等、情報が少なく、自分で、調べるのが大変だった。情報発信を増やし、使いやすく、分かりやすいようにしてほしい。もったいないと思います。
・今後、中学生、高校生についてイベントなどの情報もあるとうれしいです。もう小学５年生なので現在はあまり関係ありませんが振り返ってみると子どもが小さい頃にもっと身近に子育て情報があればありがたかったかなとは思います。こちらから探さなければ情報がキャッチできなかったので、当時はなかなか情報が分からず苦労しました。
・こんなに色々な支援サービスがあることを初めて知りました。出産前にもっと周知してもらえるとうれしいです。（出産後は無理です）
・子育て支援としてどんなサービスがあるか分かりづらい。申し込みが基本的にどれも面倒。各種利用料金は特に分かりやすく明示してほしい。高いと使えないから、お試しクーポン券の配布などにしてもらえると助かる。

②子育ての不安と相談について

・いじめなど相談だけでなくきちんと対処してくれる施設。
・子どもの発達の相談等気軽に相談できるところが分からなかった。母親の負担が大き過ぎ。子育てを楽しめなかった。もっと気軽に相談できたり、子どもの様子を見てアドバイスしてくれる人がほしかった。
・岡山市内でも子育てに関するさまざまなサービスや相談窓口があるようだが、知らないこともたくさんあった。出生届を出す時や、愛育委員さんの訪問、何ヶ月検診や予防接種に行った時などに、一時預かりや病児保育などの情報を簡単にでも口頭で直接案内していただける機会があればありがたいなと思う。いろいろと自分で調べて情報をうまく取り入れられる方はよいのですが。頼れる場所があることを知らなければ、できなくはないので一人で頑張ってしまうことになる。

③交流の場、イベントについて

・おやこクラブを利用していました。引っ越してきてお母さん友達がいませんでしたが、気軽に相談できる人ができました。あまり食事の量が増えず悩んでいましたが、「うちもそうだよ！！でもこんなに大きくなってるよ」と声をかけてくれてすごく助かりました。働くお母さんが増えておやこクラブもなくなっていると聞きました。お休みの日に行ける場所が増えるといいなと思います。

・他のご家庭のお子様とふれあう機会があればうれしいです。毎日育児・家事のワンオペに追われているので、リフレッシュできる機会があれば余裕のある理想の生活になれるかもしれません。

・子育て支援センターが少なく、親子の合流があまりできないと感じた。子育てママと知り合いたいが、そういう場がなく、岡山に引っ越してきてから友達がほとんどできない。大きいイベントではなく、近くにある幼稚園や公民館で、子連れも大丈夫な茶話会や、ヨガ、フラダンス、裁縫、フラワー教室など気軽に参加できるママが楽しむ講座があったら、地域の人と知り合いができるし、リフレッシュになると思う。

・現在、子育てをしている母たちの意見を聞く場を作ってほしい。

3 経済的支援について

①医療費について

・子どもの医療費助成を拡充して頂き、本当にありがとうございます。お金の問題も大きいですが、病院で会計の手間が省けることは、子ども連れの親にとってとても助かります。また、０～３歳の働いていない家庭の子どもの預かり先がもっとあれば、親も就職に前向きになれたり、自分の体調を気にして、病院に行くこともできると思いました。

・小学生の医療費負担が今年 1 日からなくなり、とても助かりました。ありがとうございます。

・小学生までの医療費は無料になったのでありがたいですが、岡山県の他の市町村では中学生や高校生まで医療費が無料の所もあり、不平等さを正直感じています。岡山市も子どもの医療費無料化の年齢の引き上げをお願いしたいです。

②保育料・教育費について

・保育料の無償化に期待します。保育園への送り迎えの時間の都合と通勤の時間の都合上、母親は時短勤務をする必要があり、給与も下がるが、保育料が月５万円程度…。物価高騰などもあり、この先の子育てに不安がある。お金と時間にもう少し余裕があればもう１人子どもがほしいです。

・小、中の給食費を全額無償化にして負担を減らしてほしい！

・少子化であるがゆえ、子どもたちにかけるお金が増えているように思います。高校まで授業料無償化を希望します。

・保育料２人目以降半額等の制度を上の子が小学生に上がっても対象としてほしい。仕事と子育ての両立のためにはある程度の年の差の兄弟が望ましいと感じている。３人目、４人目と考えた時にそこがとても、ネックになっている。

・小学校、中学校、高校それぞれの学費、制服代、体操服代、給食代、毎月支払う細々とした学年費等を一覧で見せてほしい。大学の学費や生活費は目安がつくが、小学校から高校卒業までの費用がいくら必要なのかという目安がなく、不安しかない。

③経済的支援全般について

・低所得世帯への支援ばかりでなく、子育て世帯全般に経済対策をしてほしい。

・非課税世帯だけでなく、全ての子育て世帯に、支援をお願いしたい。物価高で生活は苦しく、朝から晩まで働き、子どもと過ごす時間は、少ししかとれません。他の市町村のように、子育て世帯への給付金や税の優遇など検討してください。

・他の市がしているように主体的に子育て支援（主に経済面）を行なってほしい。出産費用や産後の入院費用、子育てグッズ費用、入園・入学後の教材費用が少しでも免除されれば、子どもの習い事や経験などのためにお金をもっと費やせるので、尽力していただけると大変ありがたいです。

・経済的な負担を軽減する施策をお願いします。特に子どもが大きくなればなるほどお金がかかり、教育格差が生じるのは日本国にとって損失です。義務教育は中学までですが、ほとんど高校・大学まで行くご時世なので、国を挙げて教育無償化に近づける努力をしていただきたいです。

・子育て世帯向けへの減税をしてほしいです。一生懸命働いても税金で取られていきます。その割にはあまり社会保障に使われている恩賜を受けられていないように感じます。物価高に続く増税で生活は苦しいと感じることが増えました。長時間働いてもゆとりはないし、子どものためと働いていても子どもと過ごす時間もないです。非課税世帯にばかり給付金や支援が厚いように感じます。きちんと税金を払って暮らしているのに悔しく思います。

4 子育てと仕事の両立について

・子どもが増えるたび、仕事より育児になってしまい自分の理想ほど仕事ができなくなっています。転職すればよいのかもしれませんが、なかなか探せずにいます。子育て世代にやさしい職場をもっと手軽に探せたらなと思います。

・保育園等への入園が厳しくなるため、育休を早めに終えて仕事に復帰したという声を聞くことがあります。そのような心配をすることなく安心して育休期間を過ごすことができるとありがたいです。

・子育てにはお金も必要ですが、人手も必要です。労働時間の短縮や急な欠勤のできる体制がほしいと思います。また、男性が子育てや家事にもっと取り組める環境や、当人たちへの意識づけが必要だと感じます。

・男性は一時の育休よりも、ノー残業やいつでも休める体制を長期に渡り確保することが重要。

5 環境について

①施設、道路などハード面での整備について

・歩道と自転車道、車道の区別や整備を中心地以外の学区内にも進めてほしい。子どもの通学路に道路との境に白線しかなく危険に感じる。また、幅の狭い水路にもポールや進入できないように対策してほしい。県外から転入したが、大きな用水路以外には柵がなく子どもがのぞき込むので大変危険だと思った。もっと道路の安全整備を進めてほしい。

・通学路にある側溝が危ないので、ガードレールを付けるなど、道を補正してほしい。

・公共施設のトイレに、おむつ替えスペースはよくあるが、幼児の補助便座を使う期間の方が実際は長く、便座を置いてもらえるとありがたいと子育てをしてみて感じました。

・登下校時に地域の高齢者の方達が、交通安全の黄緑の服を着て横断歩道等に立ってくださっています。このことは交通安全だけでなく、防犯にも役に立ってくださっているはずで本当にありがたいです。事故や犯罪者から子ども達を守る地域の方達の目、防犯対策の設備（街灯、用水路のガードレール、明るい公衆トイレ等）をもっと充実していただけたらと思います。
・児童館と公園などがもっと充実するとよい。老朽化しているものが多い。他の自治体で育ったので余計にそのように感じる。アリーナよりももっと小さな施設の改修を優先してほしい。

②子どもが遊ぶ環境について

・小学校の校庭開放をお願いしたいです。ボールで遊べる場所がなく、結局、静かに遊べること→ゲームになってしまいます。身体を思いきり動かせる場所を作ってあげてください。
・本当に大型公園が少なすぎると思います。休日に連れて行く所がなさすぎます。無料で遊べる大型遊具がある公園を作ってほしいです。
・大きな公園の遊具をもっと増やしてほしい。県外、市外の公園の方が子どもが楽しんで遊んでいる。
・雨の日でも子どもが思いっきり遊べる施設がほしい。近県にくらべて、子どもが一日中身体を思いっきり使って遊べる大型遊具がない。
・子どもが自由に集まり遊べる場が少ないと感じている。保護者同伴等の条件付きでよいので学校（小・中学校）の体育館が空いている夜間や休みの日は自由に使える日があればよいと思う。
・公園の遊具の総点検が一時あったと思うが、なかなか新しいものに変わっていない。安全性と楽しさ両方大切だと思う。
・障害児や赤ちゃんも安心して遊べる遊具のある、インクルーシブ公園を身近な場所に作ってほしい。

③文化面での子どもの環境について

・子どもと一緒に行ける美術の展示や街中で歴史を学べるものなど親子で一緒に学んだり、体を動かしたりできるところがもっとあればうれしいです。特に駅近であればいろんな方が参加しやすいと思います。
・毎週図書館に通って楽しく子どもと一緒に本を選べるのでありがたいです。
・文化施設等への入場料等について、軽減があると親としては連れて行きやすく、さまざまな体験をさせてやりやすい。

④教育環境の整備について

・もっと教育に予算を組んでください。少人数クラス、先生を増やすなど。正直、岡山市に住み続けるか迷っています。公立中への魅力がなく、受験させるのも嫌で…公立中できちんと学ぶ環境を作ってください。
・不登校支援。学校内に不登校児の居場所になる別室や先生の配置、多様な学びの場の提供、スクールカウンセラーの各小学校への常時配置など。

・公立の保育園・幼稚園・小学校・中学校の設備を改善してほしい。エアコンのない教室に早急に設置、冬はお湯が出る水道、冬場は氷水のように冷たい水で手洗いをしたり、掃除をしたりしていると聞きます。温かい便座。体育館にもエアコン設置。災害時、地域の避難場所にもなることを想定してください。
・子どもが通っている小学校は、勉強が得意な子どもと、そうでない子どもが二極化しているように強く感じる。レベル分けをしてそれぞれの特性に合わせた授業をしてほしい。特に算数は基礎ができていないと進級するたびに苦しくなるので、低学年のころから、子どもの学習レベルに応じたクラス分けをしてほしい。
・小１のサポートにつく方を、１クラスの人数に関係なく、つくようにしてほしいです。国からの援助にならなければ岡山市での雇用にするなど。雇用の安定につながり、また教員、子ども共に負担軽減されます。保育園や幼稚園と違う環境の中で、子どもの不登校対策にもつながると思います。

⑤地域の環境について

・子どもが小学生になるとどんな支援があるか不明になります。色々行っていることを今回のアンケートを通じて知りました。小学生になっても支援してもらえるならうれしいです。長男が赤ちゃんの頃、公民館に行ったことがありますが、他の方がわきあいあいとされていて疎外感を覚えました。それから他の施設に行くこともなかったです。話すことが好きな方はよいですが、初めての人にはもう少し話しやすい環境があるとよいかもしれません。
・近所には、子どもに対する温かい眼差しを向けてくださる方が多く、これまでたくさん助けていただきました。主に高齢の方です。こうした方々の力を借りて、見守る目が増えるといいなと思っています。逆にそういった方々の声や視線を煩わしく感じているお母さんたちもいるので、サービスは多様で選択肢があること、また情報は分かりやすく、あらゆる人に届くことを望みます。理想ですが、理想に近づくようよろしくお願いします。
・子どもがのびのびと遊べる環境及び教育環境の充実（教育現場の人員増員や教育内容の充実）、子ども達が日々安心安全に過ごせる地域を作っていただきたいです。
・数年前に他県から転居してきました。岡山市は児童館や支援センター、親子クラブなど、身近な子育て支援がとても充実していて、また分かりやすく広報もされていて、子育てしやすい環境だと思います。北公民館をよく利用していますが、公民館の職員の方は親子連れにもとても温かく対応してくださいますし、図書コーナーや子育て支援のクラブも充実していてとても居心地がよく感謝しています。
・子育て世代に対する町内会活動の負担軽減やＰＴＡ活動の簡略化をしてほしい。

⑥保育士、教師の待遇改善について

・子どもに関わるお仕事（先生、保育士さん、学童の支援員さんなど）の人の待遇を上げて（休みを増やし、お給料を上げること）、働きやすい環境にしてあげて、配属人数を増やしてあげてください。いくら施設だけ増えても、無資格の大人がひどい待遇で運営しているようなら、とても安心して子どもを預けられません。子どもと関わるお仕事の人、皆さんに、余裕を持って働いてもらえることが、私たち預ける側の望みです。

・やはり保育士を増やして保育園に入りやすくすることは大切だと思います。資格があっても給料が低かったり、持ち帰りの書類があったり、サービス残業が多かったり、配置基準通りだと普段子どもを見るのが大変だったりするから保育士にならなかったり辞めてしまったりする人が多いのだと思います。
・子育て支援で最も大切だと思うのは、子どもに関連する人材の充実です。幼稚園・小学校・中学校教諭や保育士の待遇を改善し、優秀な人材が多く集まるようにしてほしいです。教諭も保育士も多忙だというイメージです。給料を増やすことと、１クラスの担任の数を増やして、お休みを取りやすくしてほしいです。
・早朝、時間外保育時、保育士の人数がギリギリだと聞きました。保育士さんの処遇改善・働き方を改善し、私達も安心して預けられるようにしてほしいです。

6 親の子育てについて

・教育（しつけも含め）をきちんと親から受けていない子どもが多いため、そういった子ども達をどうにかしてほしい。自分の子どもへの影響が心配。
・男女差別や女性活躍を否定するわけではないが、女性がこれだけ忙しくしていたら、せっかく生まれてきた子どもを大切に育ててあげられないと思ってしまう。父でも母でもどちらでもいいが、しっかりと子どもや家庭の方を向き、大切にしなければ、子どもがさみしい思いを抱えながら育っていくのではないかと悲しい気持ちになる。子ども真ん中、というよりは、子ども優先の世の中を望む。
・両親共働きの家庭が多く、親に余裕がない。→子どもが我慢をすることが増える。→心と身体の健康が損なわれる。親への支援が重要だと感じる。週１回家事代行をお願いできる制度やご飯に気軽（安い、栄養バランスがよい）に行ける場が増えるととても助かります。片親の家庭も増えているので、一人で孤独な育児をしている人が少しでも楽に楽しく子育てできたり、自分の時間を楽しんだりできたらいいなと思います。
・子育てが孤独で精神的にも辛い。家事や子育ての協力者がほしい。子どもが風邪を引くばかりで、余計に人に頼れない。(病児保育も制限があったり、ベビーシッターも利用不可)

7 市の対応、体制について

・他の市町村に比べて子育てがとてもしにくいのが、岡山市の現状。仕事の利便性がいいから住んでいるが、子育てを考えると他の市町村に移りたい。他の県の市町村が本当にうらやましい。どうでもいいことにお金を使わず、子育て世代や高齢者が住みやすい市にしてほしい。低所得者ばかり得をしている市はおかしいと思う。子育てしやすい町は人が集まると思うので、もっと子育て世代の意見を聞くべき。
・人手、人の目不足があると思います。一人ひとりの負担を軽くしつつも、手厚い支援を願うのは、むずかしいことだと思いますが、公平にいろいろな取り組みをしてほしいと思います。
・ひとり親や、共働きなど家庭によりさまざまな子育て環境があります。地域と企業とが連携しながら、子育てしやすい施策が必要となります。
・格差社会を助長させないような、底辺～中間層の底上げを考えた支援をしてほしい。

・子どもを産みたいと思っても、経済的事情や頼れるところがないなどで諦めることが多いです。特に、岡山市は子育て事業、施策に対してとても遅れていると思います。商業施設や高齢者ばかりに目を向けるのではなく、未来がある子どもやこれから子どもを育てるであろう若者、婚姻関係の方に対して、経済的にも身体的にも精神的にも安心して子育てができる市にしてほしいです。
・各種書類の記入が負担なのでデジタル化してほしい。マイナンバーと紐づけるなどして省略化してほしい。